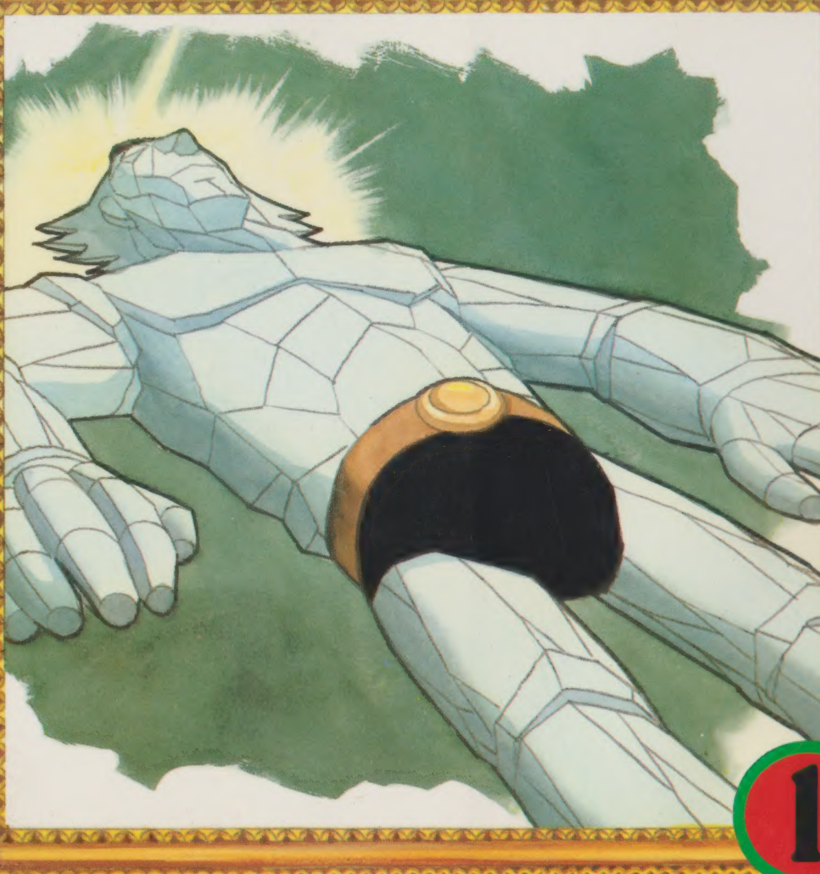
手塚治虫 漫画全集

魔神ガロン



1

手塚治虫漫画全集　266

魔神ガロン①

講談社

手塚治虫漫画全集　266

魔神ガロン　1

THE DEVIL GARON (I)

One night, two meteorites from space fell on earth. The larger one was brought to the research institute headed by Prof. Tawara of Tokyo University. It was discovered that the meteorite was a giant robot created by specemen. The robot "Garon" was dispatched to earth as a challenge to human beings by the men in outer space. A mismanipulation of the robot could result in the earth being shattered into skeethereens, so powerful it was.

Meanwhile, the smaller meteorite fell on the remote mountain village of Muichimon. In it was a strang child called "Pikku" who was saved by the teacher of the village school called Higeoyaji. Pikku was brought up as the brother of Kenichi, Higeoyaji's son.

Five years elapsed and Pikku, who had been brought up as a human being, begins to hear voices in her heart calling his name. Pikku was a creation of the spacemen and was a "component" comparable to the heart of Garon. Only after Pikku had entered the chest of the robot Garon, could the robot function in a right way.

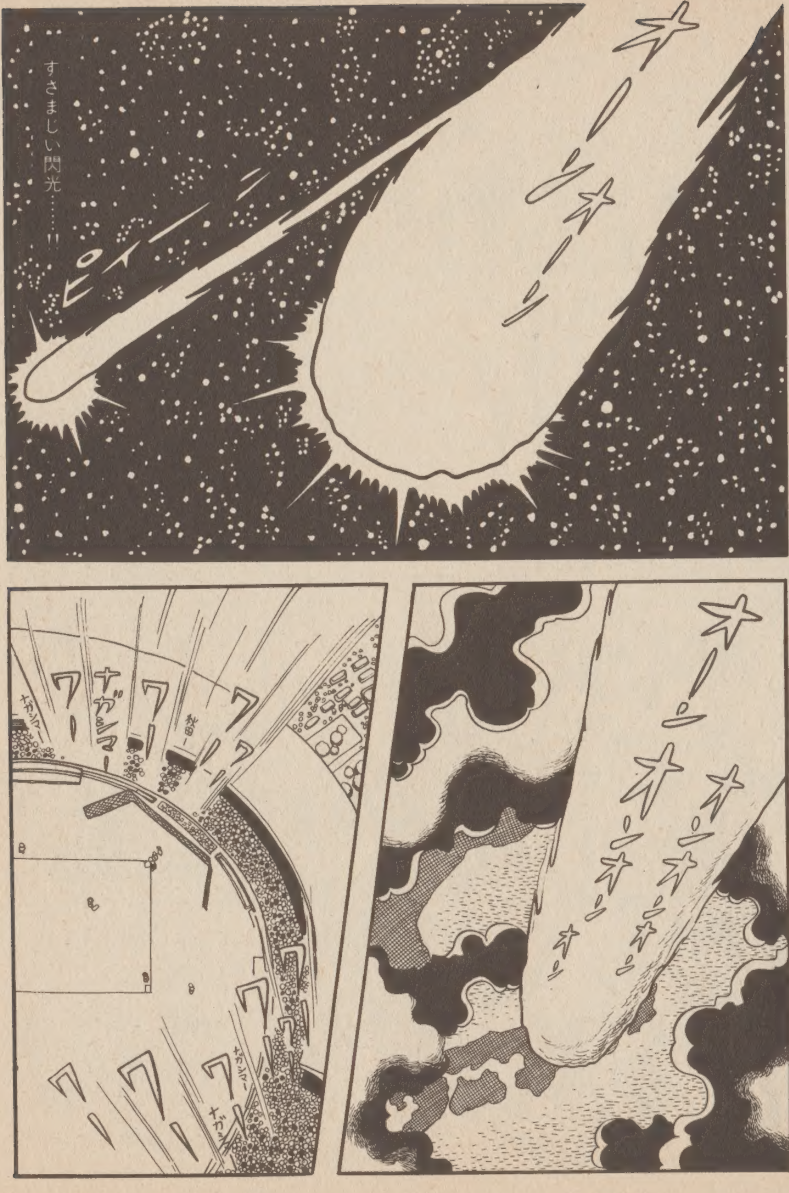
The robot Garon and Pikku, as a consequence began to attract each other. In Tokyo, Garon demolished Prof. Tawara's research institute and ran amock in the city. The Professor was killed. On the other hand, Pikku comes to know of the origin of his birth from Prof. Shikishima, an assistant to Prof. Tawara. However, Pikku cannot approach Garon because of the existence of the "Tarantela", a group which was intent on conquering the world after getting control of the robot Garon. Prof. Shikishima is finally captured by the Tarantela and Garon and Pikku are driven into a dangerous position. (To be continued in Vol. II).

魔神ガロン

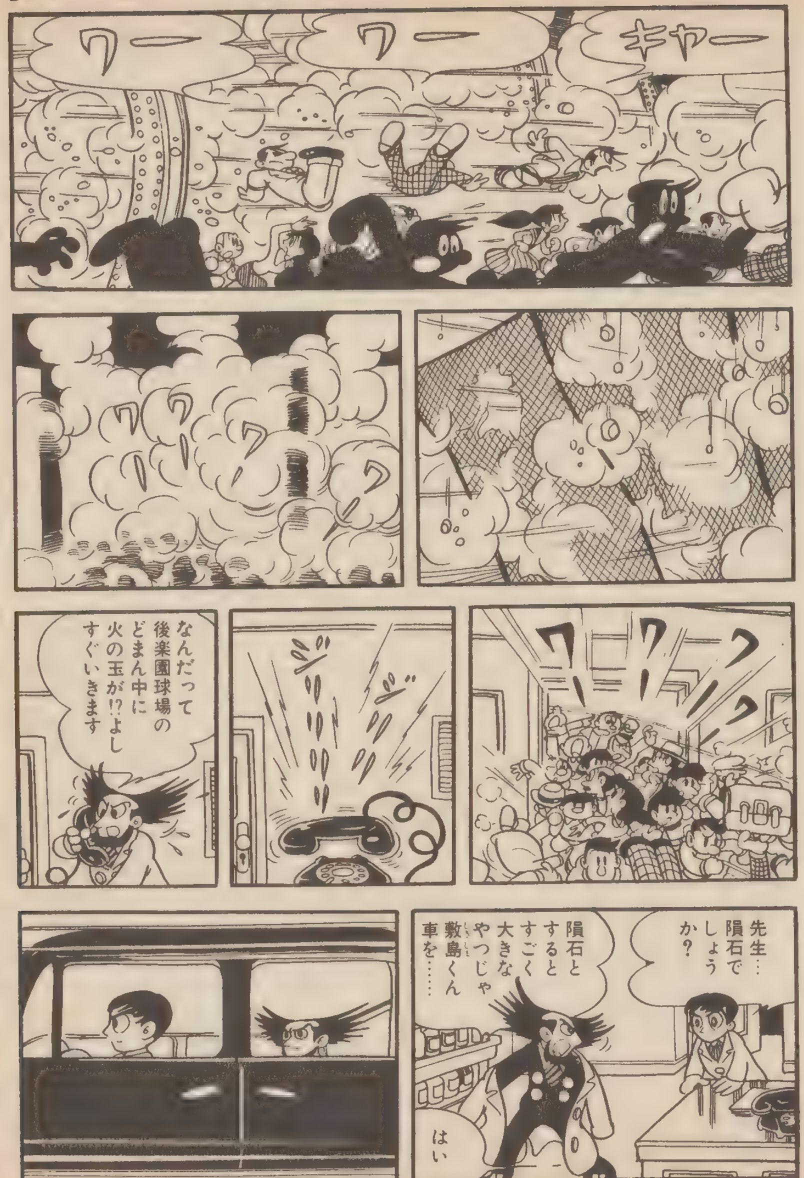

むかしから　世界じゅうには　巨人伝説（大男のいい伝え）が　かぞえきれないほどたくさんあります
あるときは　巨人は人間の敵です
あるときは　巨人は人間の救い主です
そして　人間のようにやさしく親切だったり　悪魔のように恐ろしい怪物だったりします……


これから 私が始めようとする物語も そのひとつです そして……その巨人は 地球の人間ではありません といっても 宇宙人でもないのです でも とにかく それは空から慧星のようにとんできました


それがやってきたときは
日本は午後二時でした


オーンオーン
ピィーン
すさまじい閃光……!!
オーンオーンオンオーン
オンオーンオーン
ワーワー
ナガシマー
ナガシマー
ワーワー
秋田ー
ワーワー
ナガシマー
ナガシ


またもや長島の痛烈なあたり……
ホームランになるかはたしてホームランか……
ワッ！
キャーアアア……
ゴー
なんでしょうボールのゆく手に大きな火の玉がグングン近づきます……あっどうやらグラウンドに落ちるものと思われます
お客さんは大騒ぎ……
あぶないあぶない！ああ落ちますっ
長島にげろっ

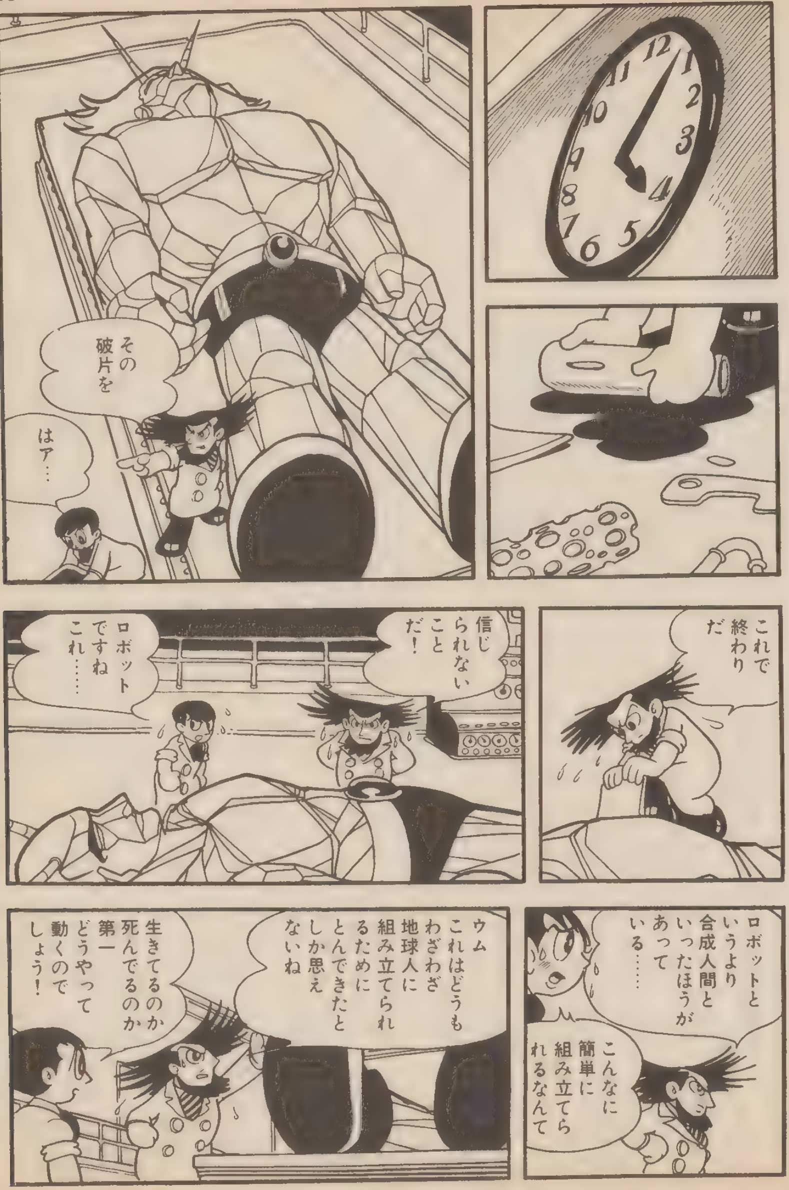

キャー
ワー
ワー
ワー
ワー
ワー
ワー
ワー
ワー
ワー
なんだって
後楽園球場の
どまん中に
火の玉が!?よし
すぐいきます
先生…
隕石でしょうか?
隕石とすると
すごく大きな
やつじゃ
敷島くん
車を……
はい


入場券は持っとらんよ
ごじょうだんでしょう 野球は中止です はいらないでください
きみ この先生は東大の俵教授ですよ
あれマ…
失礼をばいたしました さあどうぞ!
ウーム こりゃひどい
やっぱり隕石だな 放射能をはかってくれたまえ
わずかにありますが 危険なほどじゃありません
フム ひえるのを待ってほりだそう
みなさん手伝ってください 東京大学へ運びます
グラウンドの修理代がたいへんだい



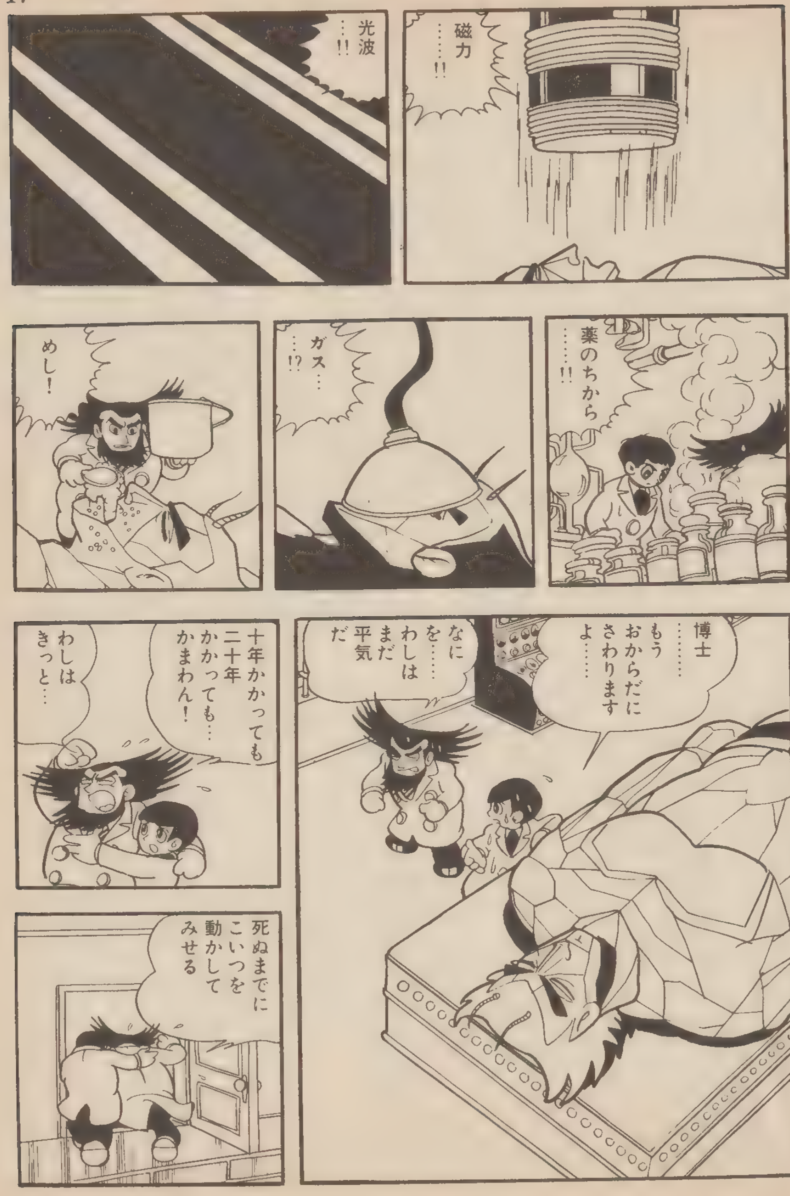
その夜……
もうチョイ…もうチョイ…オーライオーライ
東大はときならぬ報道陣の騒ぎです
赤新聞
研究室には俵博士ほか二・三人しかはいれません
怪物の正体は何か？ただいまのところ何も発表はありませんが……
ア〜アねえのかあ〜
NHK


パッ
パッ
諸君 発表はさしひかえてくれたまえ
都合により発表はできません
なぜですか
なぜだ?
ある理由によりあれの正体がなんであるかはいえぬ ただ あれは人間のつくったものですでに危険はないから安心してください
へんだなキツネにつままれたみたいだね
ぼくはこう思うんだ人工衛星かミサイルのかけらが落ちたんじゃないかな
敷島くん容易ならぬ事件だ これは地球上のものじゃないよ
バラバラ事件ですね
材料といい形といいたしかに宇宙人のつくったものだ
ええっ宇宙人?
組み立ててみよう今夜はきみ徹夜だぞ
はあラーメンでもたべてがんばりまあす


その破片を
はア…
これで終わりだ
信じられないことだ!
ロボットですねこれ……
ロボットというより合成人間といったほうがあっている……
こんなに簡単に組み立てられるなんて
ウム これはどうもわざわざ地球人に組み立てられるためにとんできたとしか思えないね
生きてるのか死んでるのか第一どうやって動くのでしょう!



敷島くん わしは なんとかして これを 動かして みせるぞ！
はい 先生！
まず 電気で ためす
電気は だめだ 今度は 放射能だ！
熱！
もしか したら…宇宙線じゃ ないかな………？


磁力……!!
光波……!!
薬のちから……!!
ガス……!?
めし!
博士……もうおからだにさわりますよ……
なにを……わしはまだ平気だ
十年かかっても二十年かかっても…かまわん!
わしはきっと…
死ぬまでにこいつを動かしてみせる


一方 それと おなじ頃……
東北のある山奥の村…
無一文村
ザ
ザ
ゴーー
なんだろう?
こ〜こわいい〜〜
カミナリだよ 三太よ! カミナリってなんだか知ってるか
ハアーイ うちのおとっつあんのこってす
ええっ
みんながうちのおとっつあんのことをカミナリオヤジっていうでし!
シーッ! おとっつあんがきたわよ!
イッ


先生さま 先生さま おめでとう ござんす
ワーイ 窓から はいっちゃ いけない よ
先生さま お生まれです だよ 玉のような 男のぼっ ちゃんですだ
ほんとう かい 男の子 かい！
へい たスか女の子 でねえから 男の子だべ
先生 バンザ アイ
ありがとう 先生は 家へ帰る きょうは これで おしまい
男の子 男の子 男の子 だあい
れれっ 地すべり かな？
山火事 かな …？


何か落ちたんだ カミナリじゃなさそうだぞ
あっ赤ん坊だーっ
捨て子かな だれがこんなとこに…… おお よしよし かわいそうなことをする親だなア
オー ヨチヨチ ヨチヨチ
いま帰ったぞオ
あれさ 先生さま 早く赤ん坊をだいてあげなんしょ
もうだいてるよ
あんれンまあ
そういうわけだ 双子が生まれたと思って この子もそだててみないかね
そうね でもそだつかしら……
ABCD
じょうぶそうだねえ おまえの子はケン一 この子はケン二ってつけようか…… どう?
この子の目は生き生きとしてる…… きっとりこうな子になるよ


おおよしよし……
五年たちまし
ふしぎなことにひろった子どものケン二のほうは…
おーいせがれやーい
ケン一ケン二やーい
はーい……
ケン二ちゃんこいよー
ケン二ちゃ〜ん
ピーック!
ハーイ
おかしな子だなケン二と呼ぶとこないでピックというと返事をする…

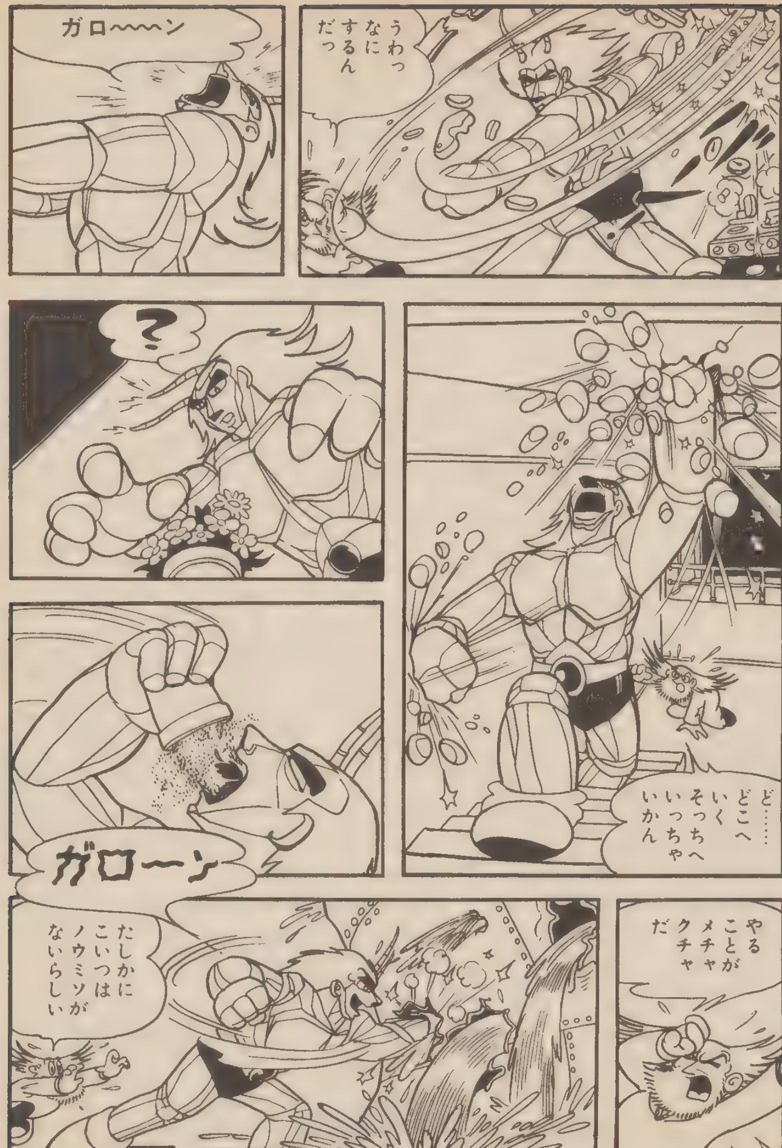

やい弟をいじめるない
ピックどうしてもっと強くならないんだい
うんぼくは……
おにいちゃんははずかしいぞ
ぼくちからがないでしょ
そんなよわむしでどうする さあいっちょうもんでやるっ
だらしがないぞよわむしだ
どうしたの?
だれかがぼくを呼んでるよ……
だれも呼んでやしないよ
呼んでるよっ
ピクッ
ピックピックピックってどこかで……
だれが呼んでるんかしら……
だれが…

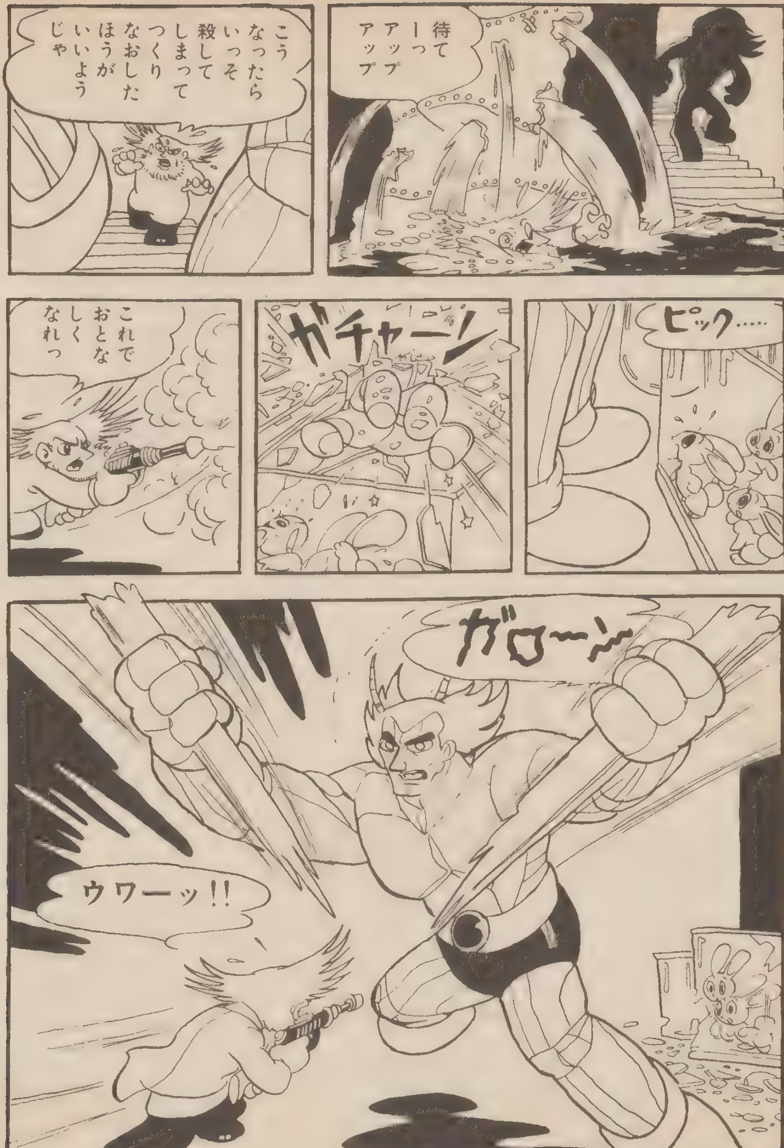

先生 先生っ
また例の地下室かな?
先生はこの五年間あの化け物を動かそうとそればっかりにかかって……
先生お客さまですが…
だれにも会わんっ
いま出てはゆけんことわりなさい きみは知ってるはずだっ
先生はこの五年のあいだにすっかり変わってしまったなあ
先生はお留守ですってば
そうかねイルスかね!?
イじゃないオです オ…ル…ス…
きみの顔にイルスとかいてあるよ
ははは
えっ

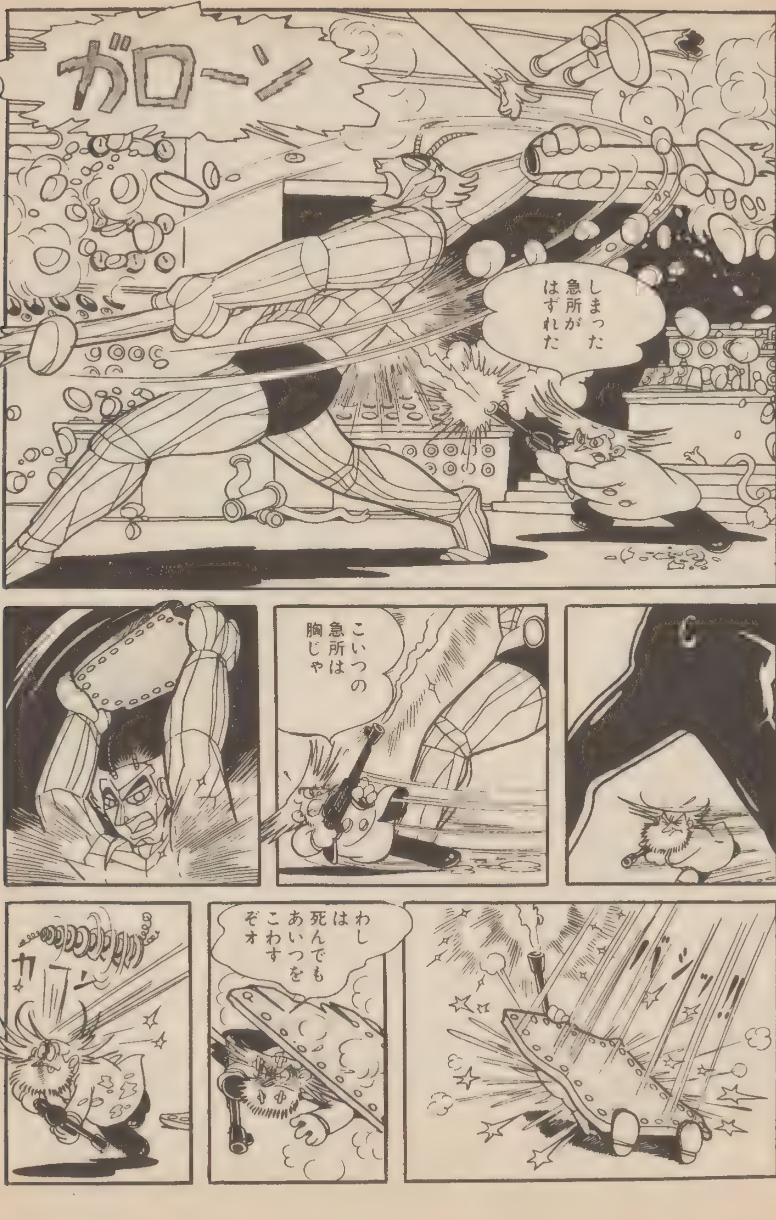

ガチャリ
ギィ
いけませんっ
先生っ
かってにはいってきました失礼
だれだっきみは
名刺をどうぞ…
タランテラつまり毒ぐものしるしですそれがわしの名でして……フフフ…
なんの用だ！
例の人間をみせてください
例の人間？なんのことじゃ
五年前組み立てた合成人間のことですよ
かくしても知ってます私の耳はクモの糸のようにビンカンですからなハハハハ
まだ動きませんか？
きみい失敬じゃないか

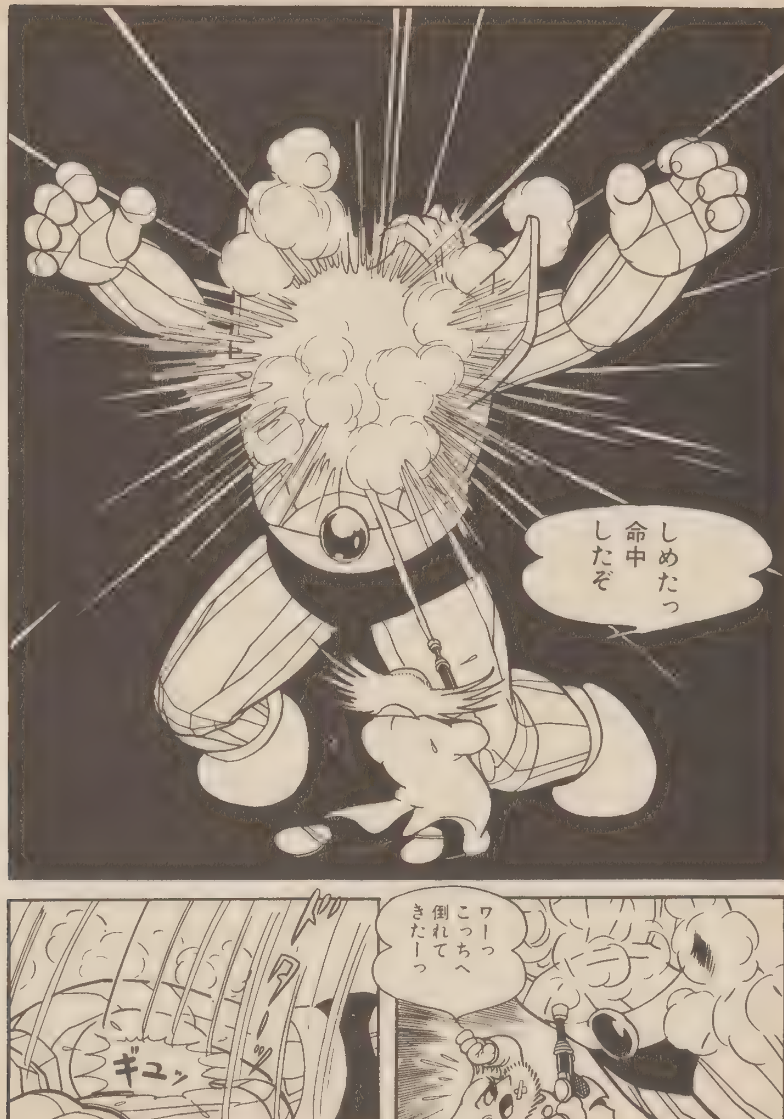

いやご心配なく…極秘ということは存じていますもらしたりしません
きみはこれになんの用が…
ただいまのところは無用いずれ動けばあらためて参上しましょう
帰れっ帰ってくれ!!
帰りますよ帰りゃいいんでしょ
出てけっ
ではご成功を……
敷島くんきみも出てってくれっ
わしはもうだれも信用しないぞ絶対にだれにもわたさんぞ
わしひとりでこいつを動かすんだっ
先生は悪魔にとりつかれていらっしゃるみたいだ
ああまちがいが起こらなけりゃいいけどな

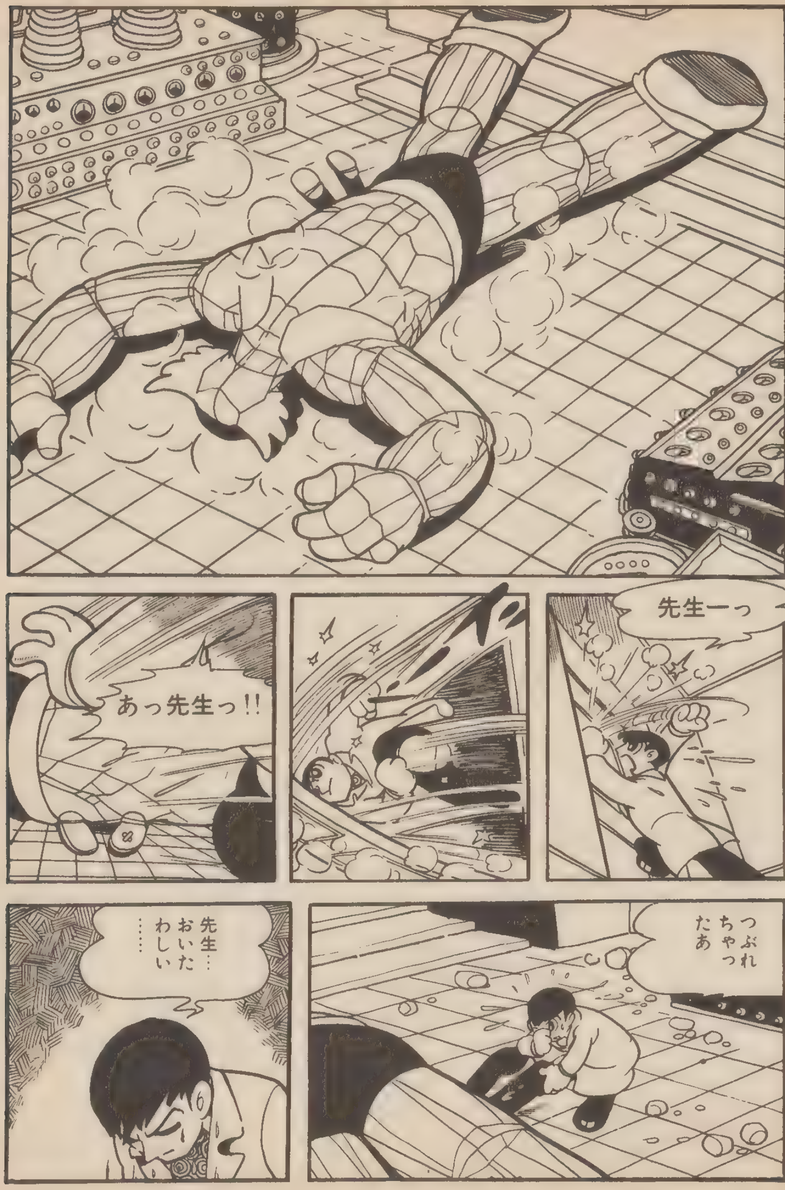

十年……たちました
クロレラを鼻から流しこんで…電流をとおす……
ピックピックピック
動くぞ今度こそ動くぞ
わしは十年もこの日を待っておった
おおっうごいたっ立ったぞ！
わしがわかるかこっちへこいこっちへこい


うわっ なにするんだっ
ガロ〜〜ン
？
ど…… どこへいく そっちへいっちゃいかん
ガローン
やることがメチャクチャだ
たしかにこいつはノウミソがないらしい


待てーっ アップアップ
こうなったらいっそ殺してしまってつくりなおしたほうがいいようじゃ
ピック….
ガチャーン
これでおとなしくなれっ
ガローン
ウワーッ!!


ガローン
しまった急所がはずれた
こいつの急所は胸じゃ
わしは死んでもあいつをこわすぞオ
カーン

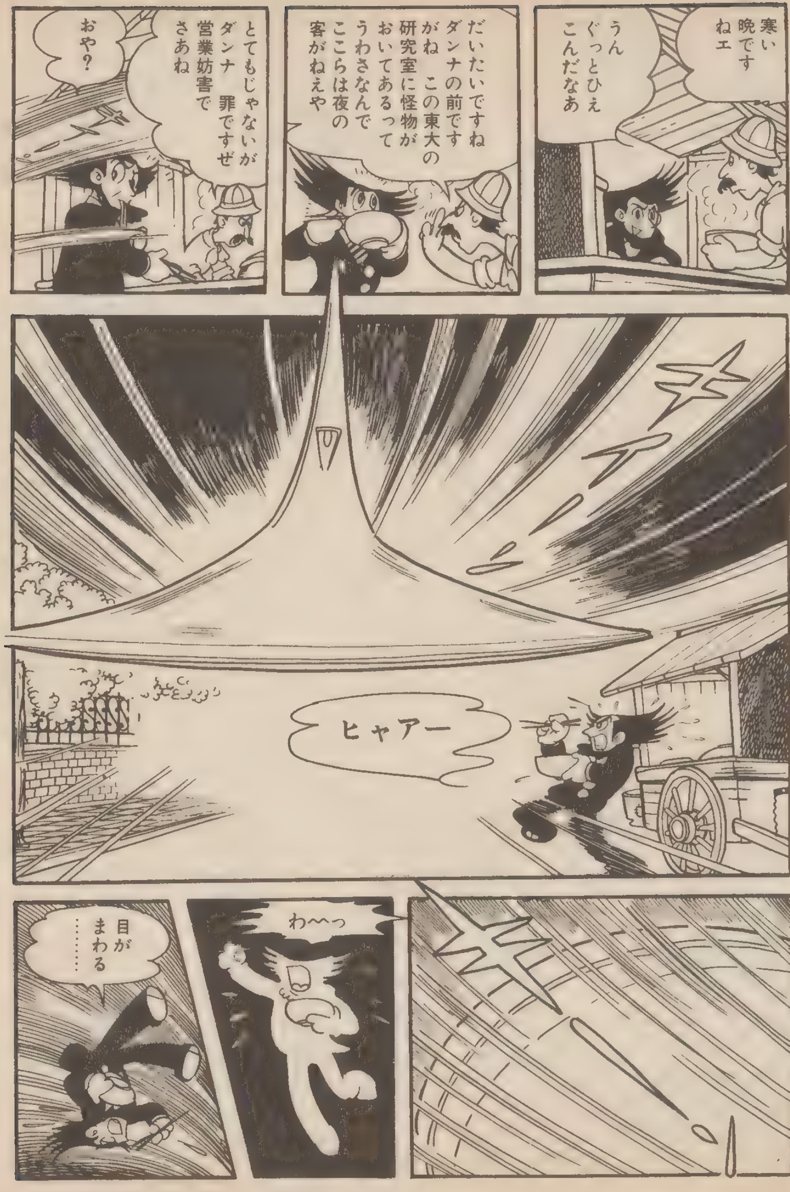

しめたっ命中したぞ
ワーっこっちへ倒れてきたーっ
ギュッ


先生ーっ
あっ先生っ!!
つぶれちゃったあ
先生…おいたわしい……


俵教授の死は　あまり世間に知られませんでしたが人におしまれながらしめやかにお葬式がすまされました
もう　あれから　ひと月だ
えらい先生だったなあ
こんなにたくさん研究の記録を残していかれた
あのバケモノさえなかったらなあ
おや
録音テープだぞ
?
敷島山人くんにおくる
ぼくにおくるって……
へんだぞ　かけてみよう


先生の遺言かもしれない
………
ア
イーラ
ッチャウチャーン
スッチャカチャーン
たんばァ〜
さしさしやまァ〜
山がのサルがァ〜
ワッハハハ
ヒヒヒヒヒ
ヘラヘラヘラ
ポカー
ドスー
チリ・ンチリー
ガチャー
ガリガリ
………敷島くん聞いてるか……聞いてるか……
博士のお声だ
すまなかった あんな音をたてたのは悪いやつの目をごまかすためだよ
きみたけにはぜひ話したいことがあるのだ
聞いているか……
きみはたぶんわしをうらみあの怪物をうらんでいることだろう
たかあの怪物はたいへんなやつなのたいや…地球の運命にかかわる一大事なのた
聞いてくれこういうわけたよ

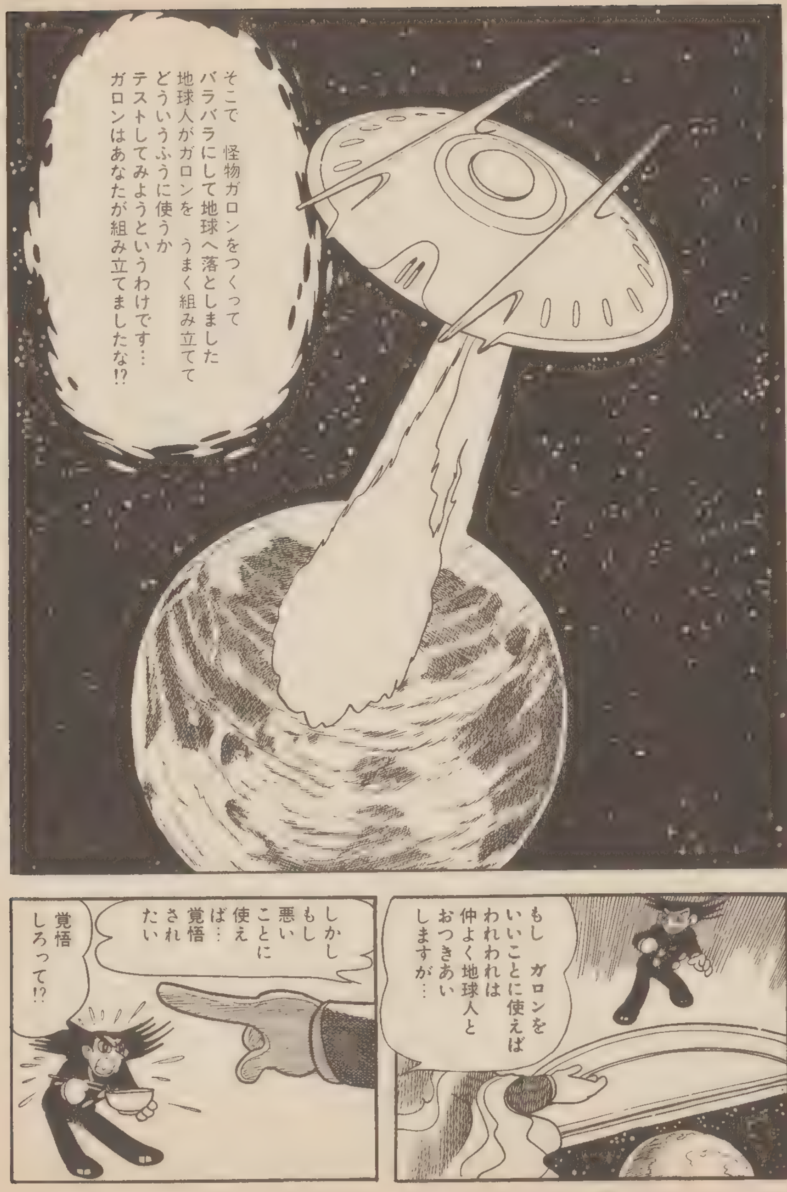

テープの話を…
いま絵にしてかいてみましょう
どうやら話は十年前にさかのぼるようです
それはちょうど怪物が組み立てられてから一週間ほどあとのできごとでした
コッ
コッ
夜なきそば〜うえーい
おやじさんあついのをたのむよ
へいまいどありい…


寒い晩ですねエ
うん ぐっとひえこんだなあ
だいたいですね ダンナの前ですがね この東大の研究室に怪物がおいてあるってうわさなんでここらは夜の客がねえや
とてもじゃないがダンナ 罪ですぜ営業妨害でさあね
おや？
キイー
ヒャアー
わ〜っ
目がまわる………


上だか下だかわかんない
わしが気が狂いそうだっわーっあいたっ
ここはどこだわしはいったいどうなったんだ？
お呼びしたのは私ですハハハハ
まあおらくに…たべながら聞いてくださいおソバはあついうちにめしあがったほうがよろしい
やっ？何者だ！わしをここへつれてきたのはきみかっ

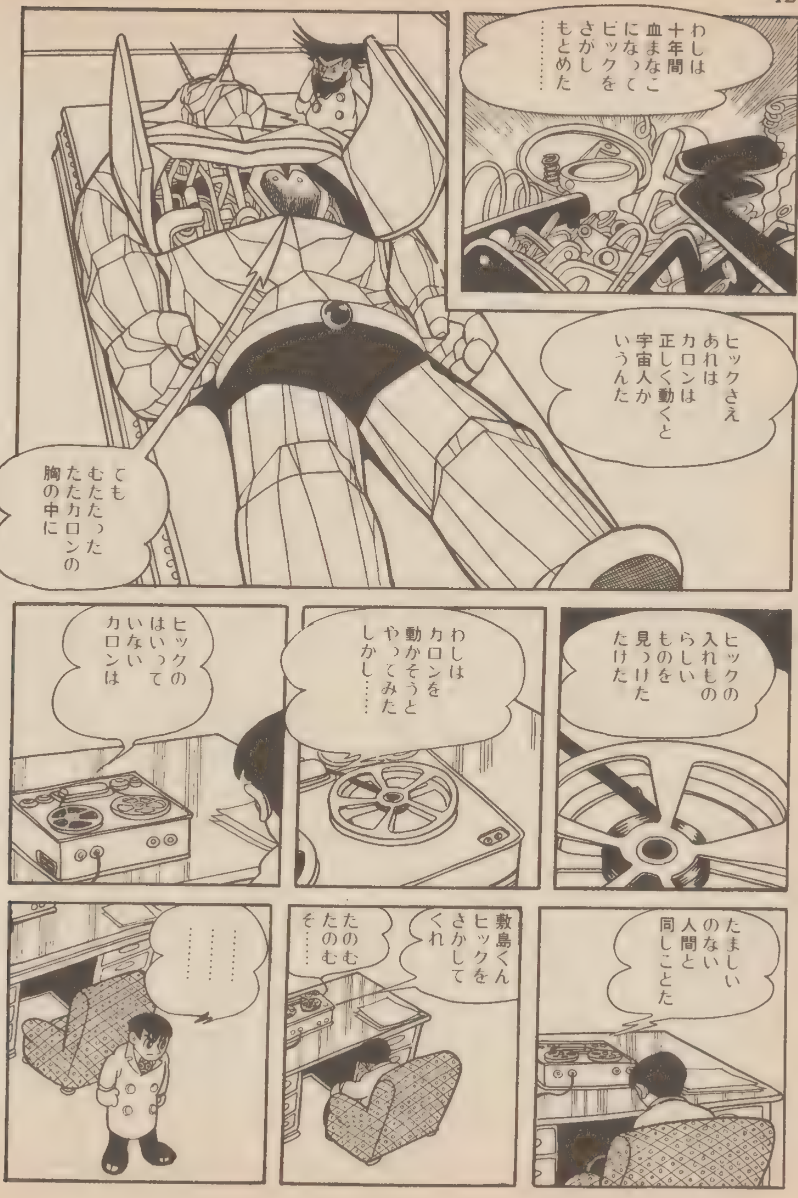

上だか下だかわからないソバがよくこぼれないもんだ
なるほどさかさまでしたなもとどおりにしましょう
あらためて聞こう名前をいいたまえっ
私は三十四号宇宙王の使いです
ウフフ……宇宙王の使いばかいえツルツル……きみは人間じゃないかツルツル……
アハハ…礼儀を守って地球人の姿をしているのです
これが私のほんとうの顔
オバケ〜〜
ほらごらんなさいところで博士……
あなたをお呼びしたのはほかでもない
カチッ
ギッ
あっ!! 地球だっ
ここはロケットの中らしいぞ

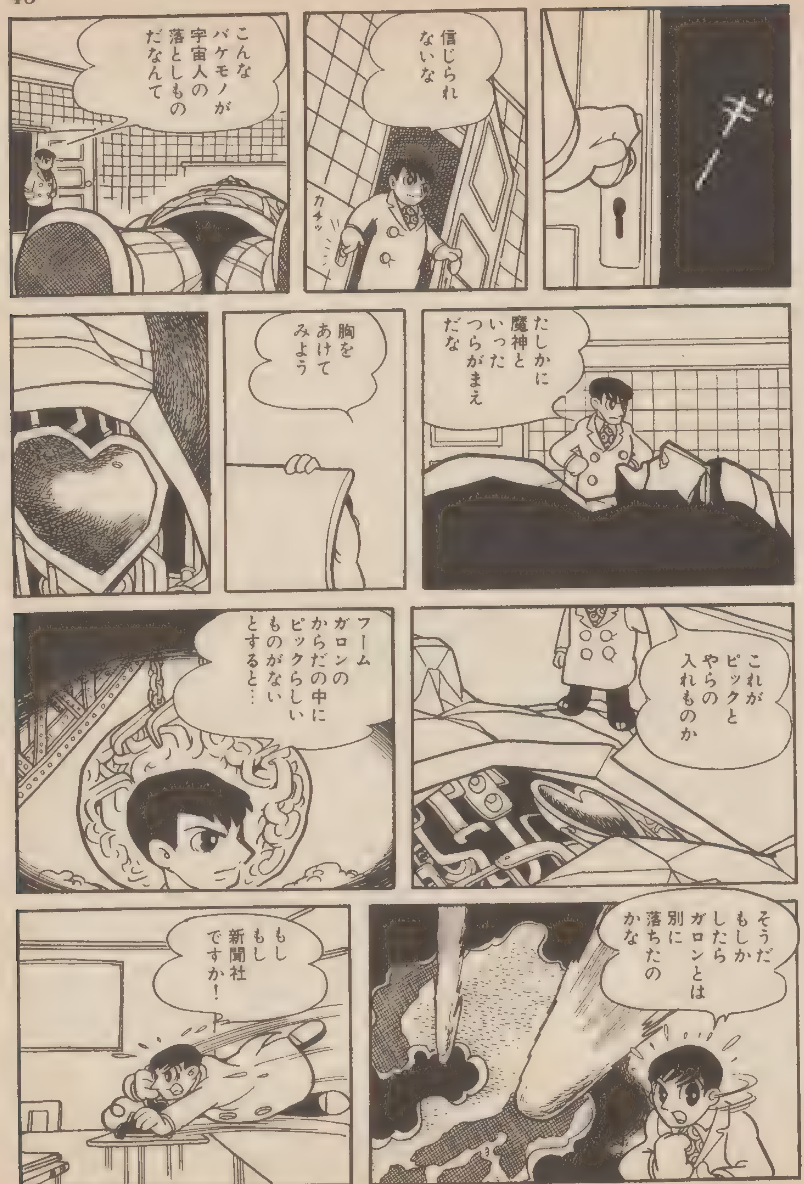

帰してくれっ わしをとって食おうというんなら食えっ
ハハハ…鬼じゃない 私は宇宙人だ
宇宙人!?
さよう あの組み立て人間ガロンを持ってきたものですよ
組み立て人間!? ガロン? ウーム…あの怪物の名はガロンというのか… なんのためにそれを…
地上へ落としたかというのですな よろしい それを申しあげるために あなたにおいで願った
どこかの宇宙のはての遠い星…なんなりとお考えください その星の人間たちは地球人の一千倍も
すぐれていて 悪い生きものの住んでいる星はかたっぱしから滅ぼしているのです われわれは地球のことも知っていました だが 地球人の心やちからをよく調べたうえでどうするかを決めようということになりました

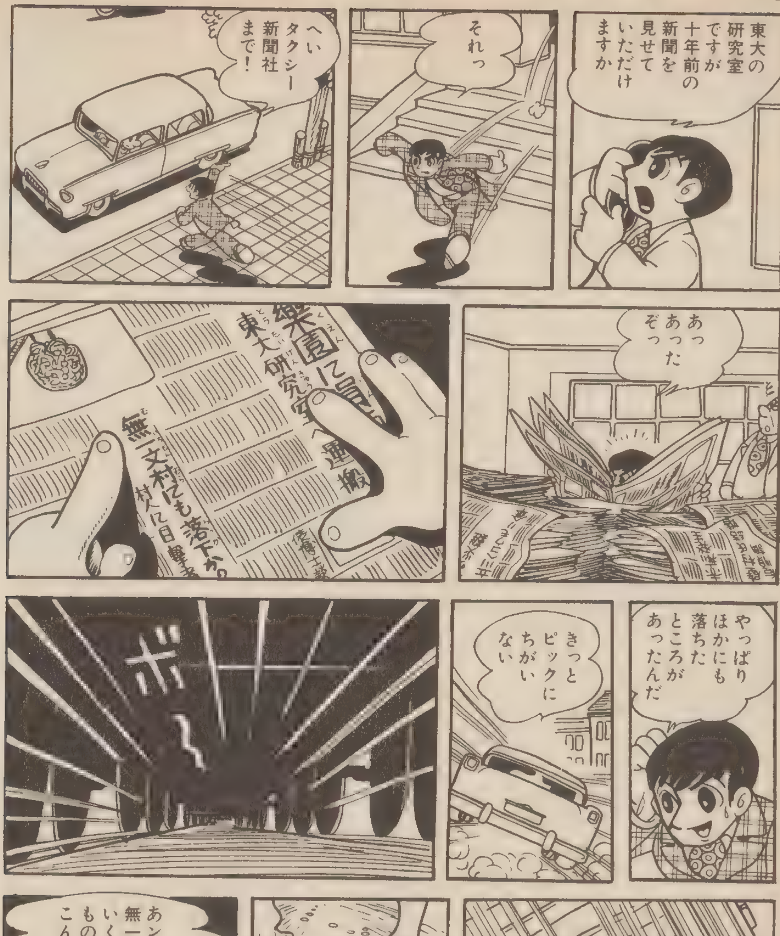

そこで 怪物ガロンをつくって
バラバラにして地球へ落としました
地球人がガロンを うまく組み立てて
どういうふうに使うか
テストしてみようというわけです…
ガロンはあなたが組み立てましたな!?
もし いいことに使えば
われわれは
仲よく地球人と
おつきあいしますが…
しかし
もし
悪い
ことに
使え
ば…
覚悟
され
たい
覚悟
しろって!?


そのときは
われわれは
地球人を
悪い生物と思って
攻撃しますぞ……
いいですか博士
おわすれなく
わああっ!
バシャッ!
どうしな
すったね
急にドン
ブリの中へ
顔をつっこん
だりして
あれっ
もとの
場所だ
どうしたん
ですね
おやじさん
わしはさっき
から ここに
いたのかい?
イタイ
イタイ
いたーあい
何か
変わった
ことは
なかっ
たかね
ウーム
そう
いえば
なんだか
あんたの
ようすが
へんだった
ほんの
一瞬
フッと消え
ちまった
ようでした
ほんの
一瞬!?
ウーム
奇怪だ!
先生っ
おかん
じょう
!


それ ヒー フー ミー ヨー なん時だ
へい 六時で
ややっ
サイフの裏に……
ガロン は ピックによって正しくうごく
やっぱり夢じゃなかった
わしはやっぱり宇宙人に会ったらしい……
お……おかんじょうっ
六か それ 七 八 九と
ごまかしたーっ 一枚たりないぞーっ
あの宇宙人は親切にもわしのサイフの裏にヒントをかいておいてくれたのた
ピック……いったいこれはなんたろう部分品たろうか
それとも何かの記号か…
宇宙語,なのか…
謎だ


わしは十年間血まなこになってピックをさがしもとめた……
ヒックさえあれはカロンは正しく動くと宇宙人かいうんた
てもむたたったたたカロンの胸の中に
ヒックの入れものらしいものを見つけたたけた
わしはカロンを動かそうとやってみたしかし……
ヒックのはいっていないカロンは
たましいのない人間と同しことた
敷島くんヒックをさかしてくれ
たのむたのむそ……
…………

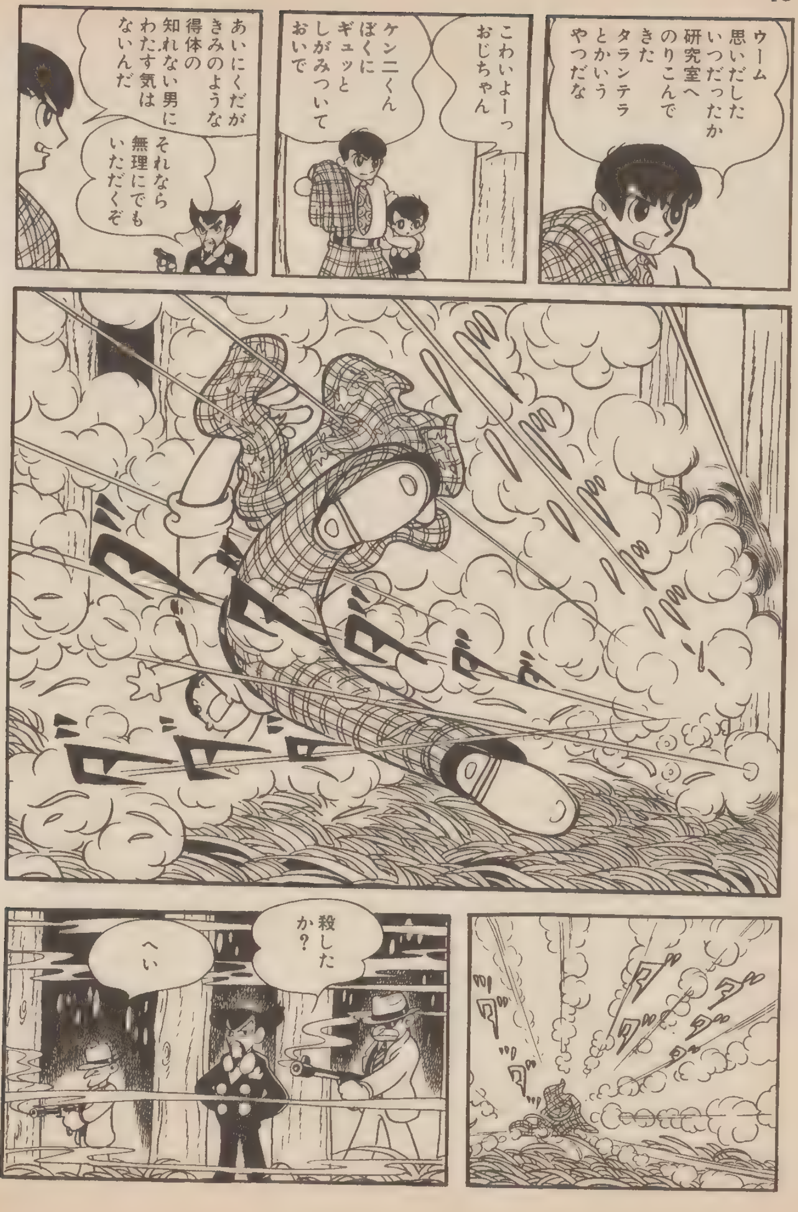

ギー
信じられないな
カチッ
こんなバケモノが宇宙人の落としものだなんて
たしかに魔神といったつらがまえだな
胸をあけてみよう
これがピックとやらの入れものか
フーム ガロンのからだの中にピックらしいものがないとすると…
そうだ もしかしたらガロンとは別に落ちたのかな
もしもし新聞社ですか!


東大の研究室ですが十年前の新聞を見せていただけますか
それっ
へいタクシー新聞社まで！
あっあったぞっ
東大研究室へ運搬
無一文村にも落下か。
やっぱりほかにも落ちたところがあったんだ
きっとピックにちがいない
ボ〜
ポ
ポ
あンさま無一文村へいくだかねものずきなこんだ


無一文村は見るもんなんかねえでがんす
ぼくは見物じゃないよ
おやじさん十年前無一文村に何か落っこちやしなかった？
へえ……でがす？
そうカミナリみたいなもんだが
あーん！わかったぞ知ってるだ
しめたっ
そこへつれていってくれ
あいよ案内すべえ
あんさまもものずきなこったね…
三太やーいおとっつあんいるだかね
うんいるだ
あんさまこれが村じゅうで有名なカミナリオヤジでがんすよ
十年前柿の木から落っこっただ
ちがうちがうぼくのいったのは…
空から何か落ちてこなかったかというんです


あーっ そらあ きっと 分教場の 先生が 知ってる ぞーっ
アハー きっと 知ってる だな
そこらに 先生の 子どもが 遊んで たっけ
おーい ケン二よー
おめえンち にお客 さんだよー
ありゃ 先生の 二番めの子で ケン二って てんだ
かわいいね きみ……
案内して おくれ ケン二くん
すると にいさんも いるって わけかい
うん 双子さ ケン一って いうんだ
きみが 生まれる 頃だ… ここらの 村に 火の玉が 落ちたって こと 聞かないか
ああ 知ってるよ 落ちた穴も あるよ
なにっ 穴も あるって? よしそこへ つれてって くれ
こっち だい!

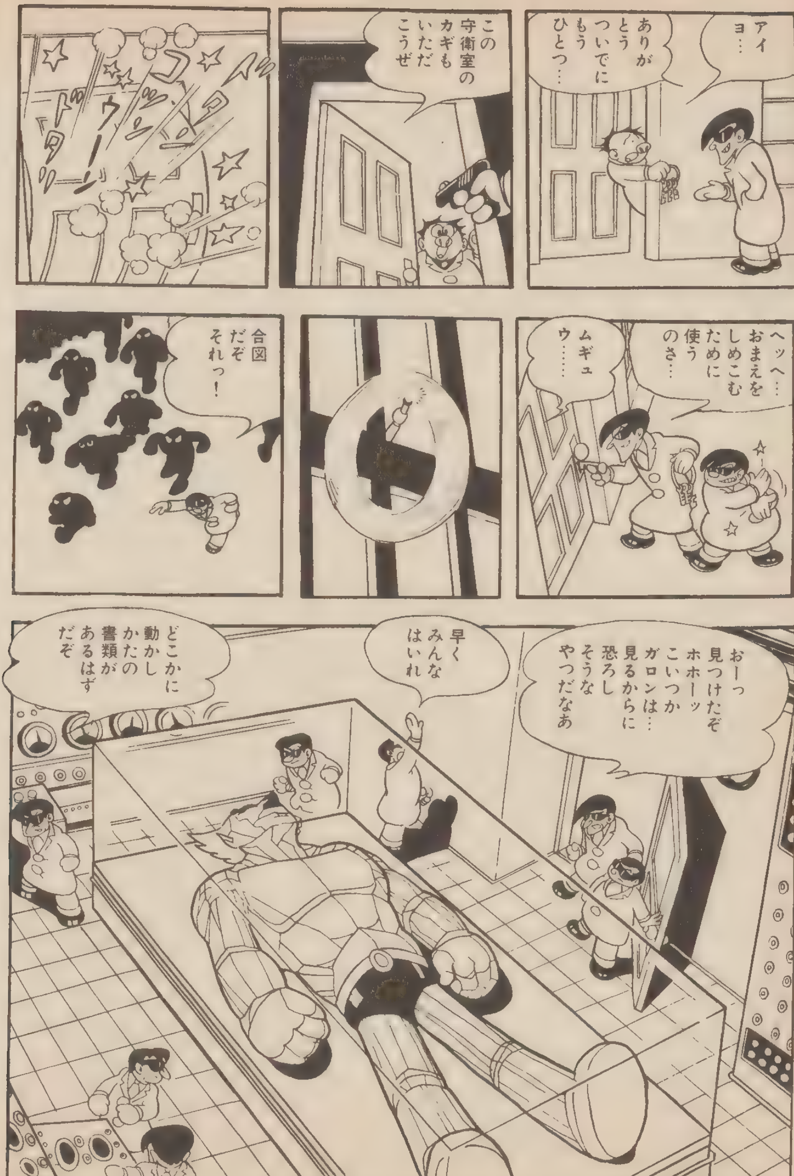

フーン この穴か…
ぼくの生まれる晩にここへすごい火の玉が落ちたんだって……とうちゃんに聞いたよ
火の玉……？ それこそガロンと同じように空から落ちてきたピックってやつにちがいない…… それはどうなったんだ
おやっ
あぶないっ
なんだっきみたちは……
なんのためにぼくを撃つんだ
きみのあとをつけてきたんだよ敷島くん
とうとうガロンをいただくときがきたようだなまさかいやとはいうまいね
………
………

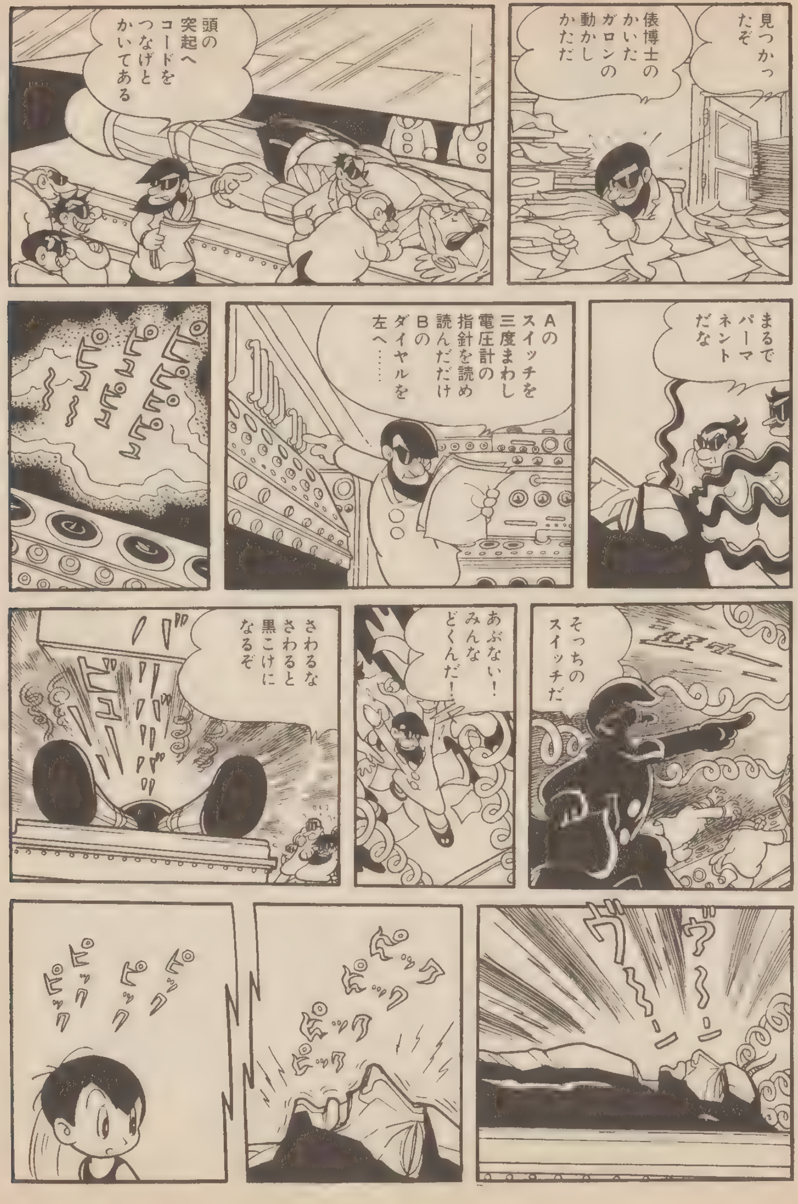

ウーム
思いだした
いつだったか
研究室へ
のりこんで
きた
タランテラ
とかいう
やつだな
こわいよーっ
おじちゃん
ケン二くん
ぼくに
ギュッと
しがみついて
おいで
あいにくだが
きみのような
得体の
知れない男に
わたす気は
ないんだ
それなら
無理にでも
いただくぞ
殺した
か?
へい

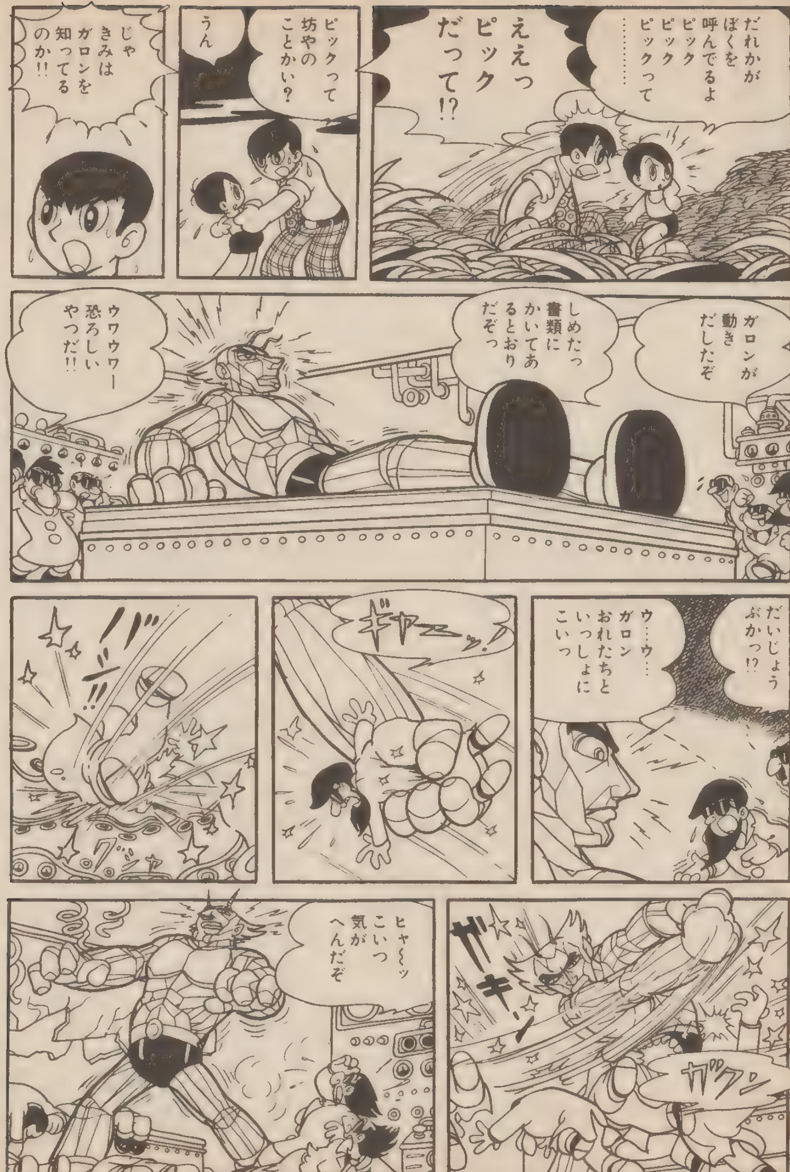

よしっ
みんな
ひとまず
姿をかくせ
がってんだ
おじちゃーん…!
シーッ
静かに
静かに
……
ありゃ!?
こいつは
服だけだ
中身はどうし
たのだ?
中身は
ここだぞ!!
わあっ
ギャッ
おじちゃん
だいじょう
ぶ?
ちょっと
した
けがさ

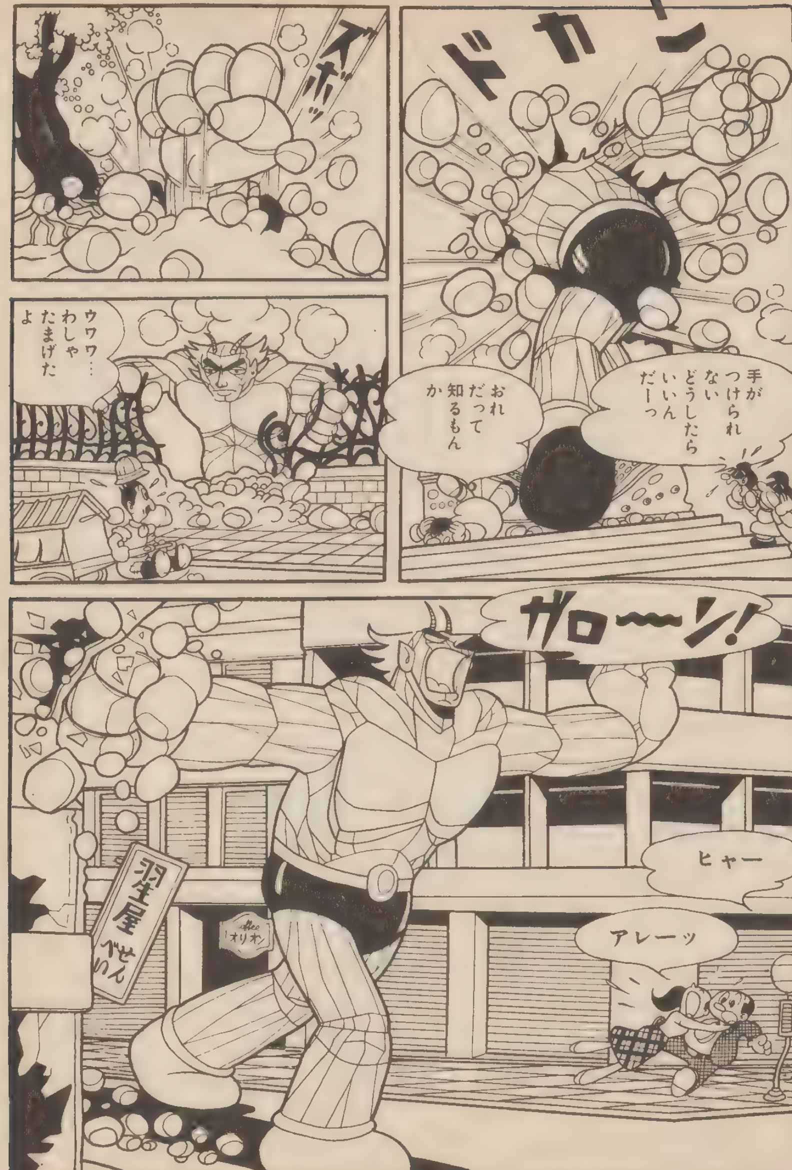

やっ　あれは　なんだ　ろう
すぐ　東京の　部下へ　連絡しろっ　今夜東大の　研究室を　おそって　ガロンを　運び出せ　といえっ
ＯＫ
もしもし　ＸＱ八六八　ああ東京の　かくれがか
こちらは　首領　今夜東大の　地下研究室を　おそえ
ウーム　やつらの　のりもの　らしいぞ

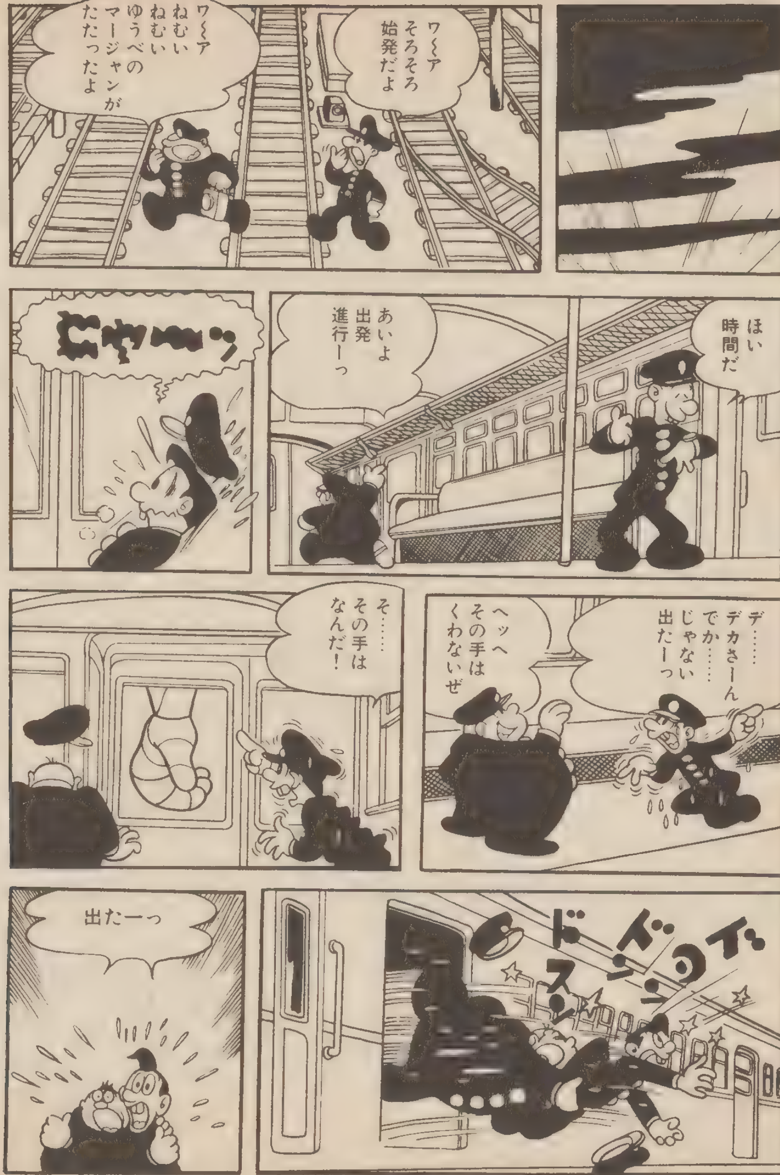

暗くなるのを待とうあいつらの一味はまだ近くにいるかもしれない
おじちゃんけがしたのいたいかい
いたいともちくしょうめなんてやつだ
いまにみろよこのお礼はきっとしてやるぞ
ここが東大だ
おっみんなぬかるなっ
さりげなく……みんな研究生のようなふりをしてろ
なんだこんな夜ふけに……
地下室のカギを貸してくれ


アイヨ…
ありがとう ついでに もうひとつ…
この守衛室のカギもいただこうぜ
ヘッへ… おまえをしめこむために使うのさ…
ムギュウ……
合図だぞ それっ！
おーっ 見つけたぞ ホホーッ こいつか ガロンは… 見るからに恐ろしそうなやつだなあ
早くみんなはいれ
どこかに動かしかたの書類があるはずだぞ

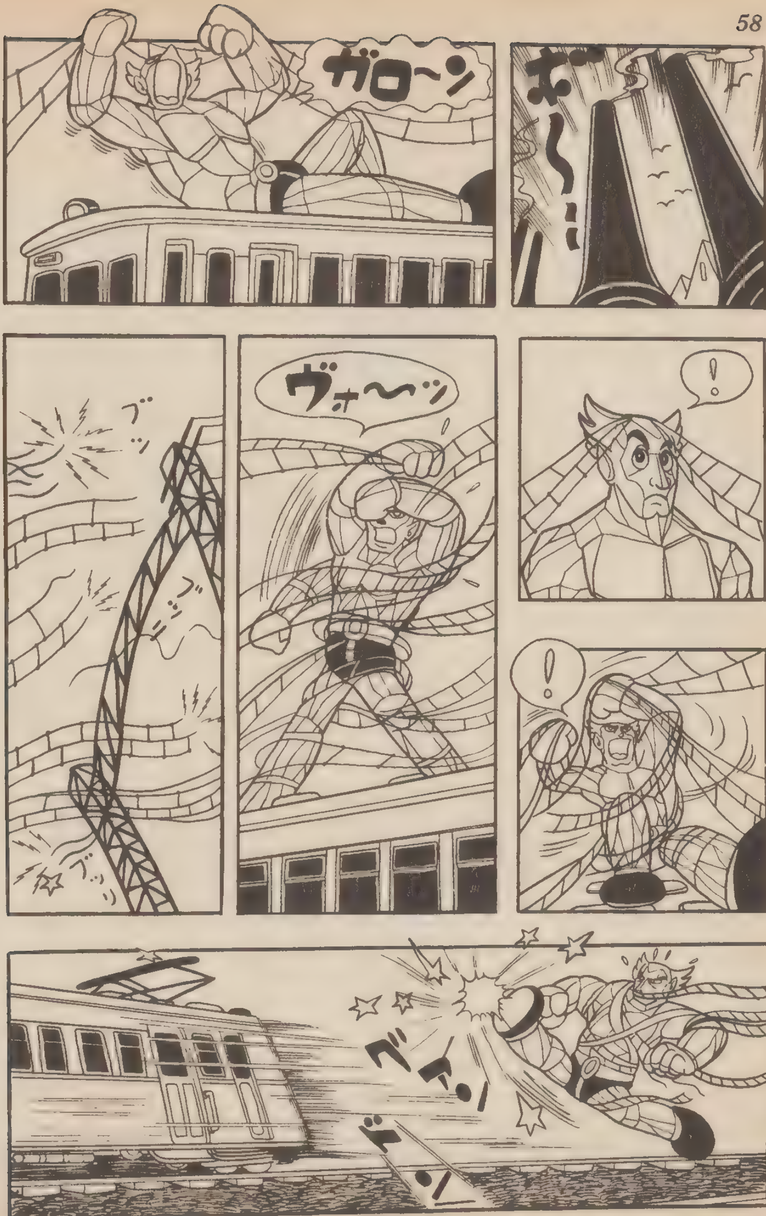

見つかったぞ
俵博士のかいたガロンの動かしかただ
頭の突起へコードをつなげとかいてある
まるでパーマネントだな
Aのスイッチを三度まわし電圧計の指針を読んだだけBのダイヤルを左へ……
そっちのスイッチだ
あぶない！みんなどくんだ！
さわるなさわると黒こげになるぞ
ピッククピッククピッククピックク


だれかが ぼくを 呼んでるよ ピック ピック ピックって ……
ええっ ピック だって!?
ピックって 坊やの ことかい?
うん
じゃ きみは ガロンを 知ってる のか!!
ガロンが 動き だしたぞ
しめたっ 書類に かいてあ るとおり だぞっ
ウワウワー 恐ろしい やつだ!!
だいじょう ぶかっ!?
ウ…ウ… ガロン おれたちと いっしょに こいっ
ギャーッ!
グシャ
ヒャ~ッ こいつ 気が へんだぞ
ガキ!
ガクン

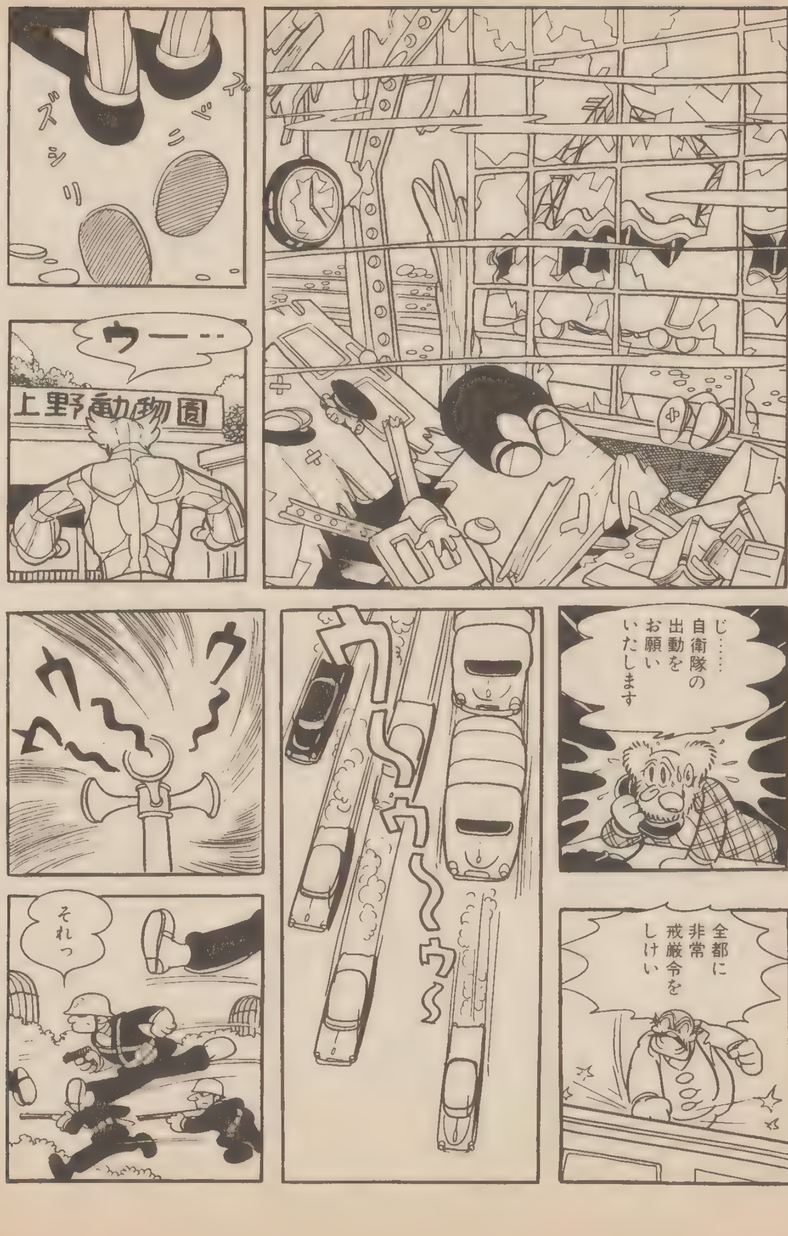

ドカーン
手がつけられないどうしたらいいんだーっ
おれだって知るもんか
ズボッ
ウワワ…わしゃたまげたよ
ガロ〜ン!
ヒャー
アレーッ
羽生屋
オリオン


ワ〜ア そろそろ 始発だよ
ワ〜ア ねむい ねむい ゆうべの マージャンが たたったよ
ほい 時間だ
あいよ 出発 進行ーっ
デ…… デカさーん でか…… じゃない 出たーっ
ヘッヘ その手は くわないぜ
そ…… その手は なんだ!
出たーっ

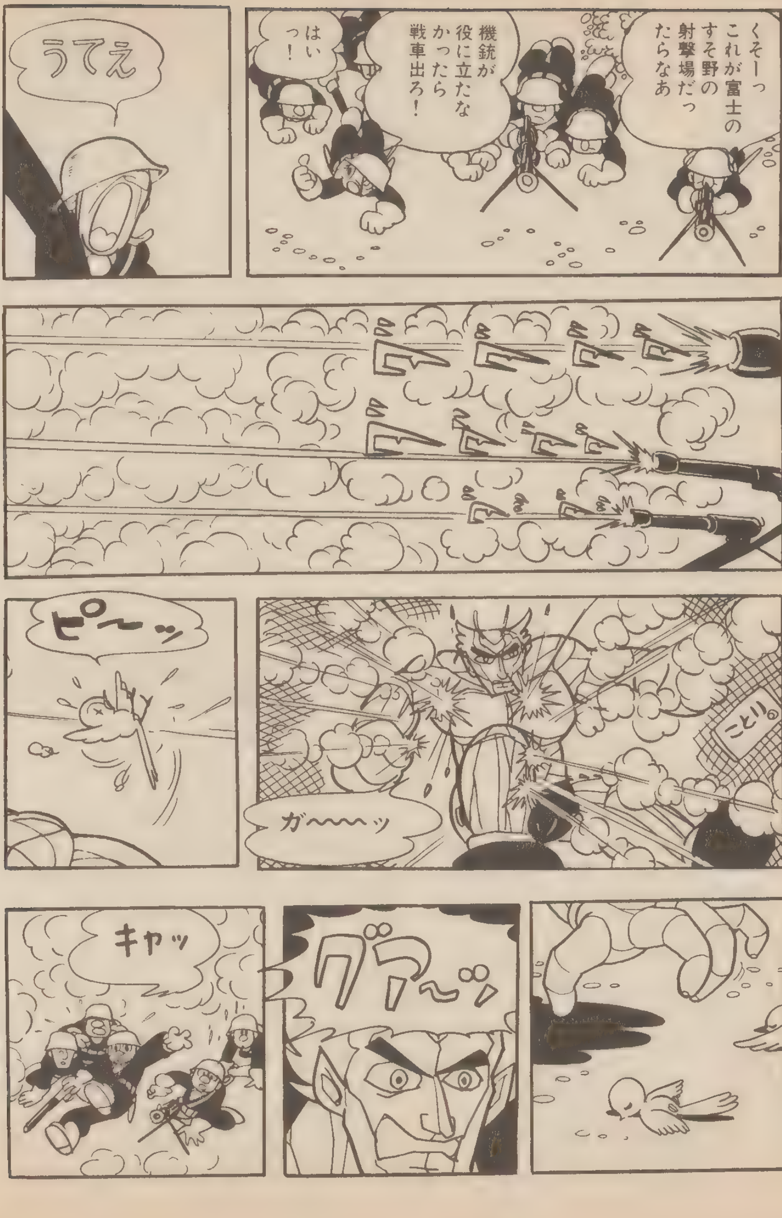

ヒイッ
オ……
オニだーっ
駅長室……
駅長室へ……
そこはトイレ
出たっ
出ましたあ
キャー
うるさいっ!
ブルルブルルブルルッ
なにを朝っぱらから騒いどるんだ
ヒイッ!

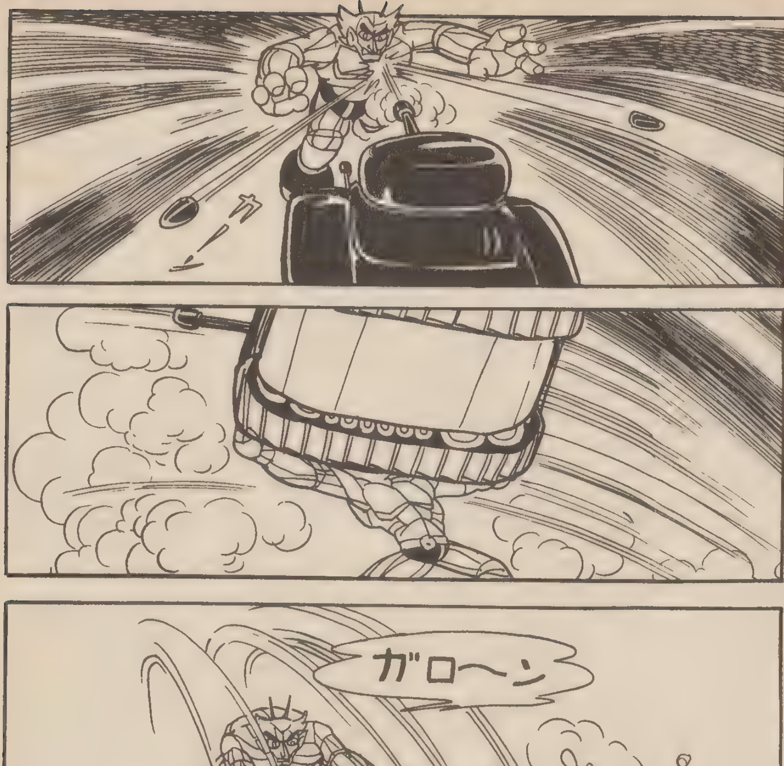

ガロ〜ン
ブッ
ブッ
ヴォ〜ッ
!
!

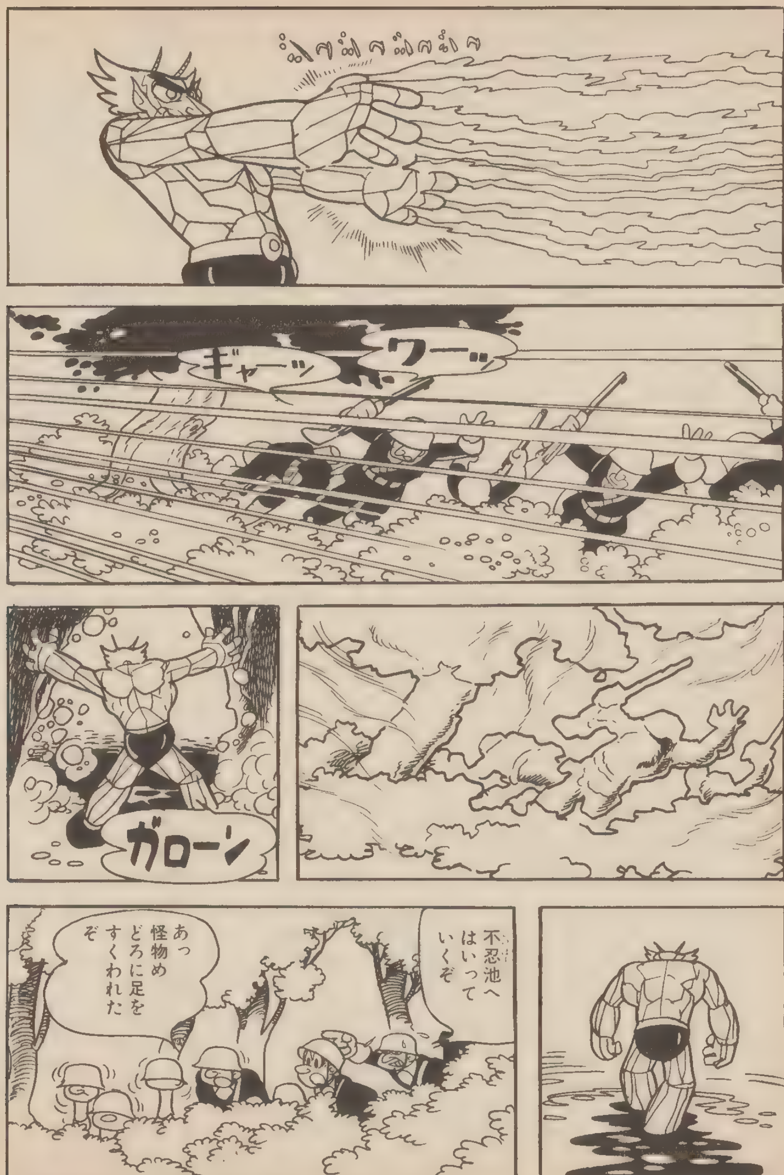

手…手…手がつけられませんせん
機動部隊の出動を願います
どうもわからないねえ……鉄道公安官の手におえないって？たかが酔っぱらいがあばれているのを……
酔っぱらいじゃないですみ…身のたけ五メートルの仁王さまが…
ふざけたことをいうなもう一度顔を洗って電話したまえ
東大からです
ニャニーッ東大の校庭に大穴が………！
○○町のビルの壁もこわされたって？爆発でもしたのか
もしもし上野操車場もしもし……
電話線か切れてるのかもしもしもしもーし


ズシリ
ウーー‥
上野動物園
じ……
自衛隊の出動をお願いいたします
ウ〜〜
ウ〜〜
ウ〜〜ウ〜〜ウ〜
全都に非常戒厳令をしけい
それっ

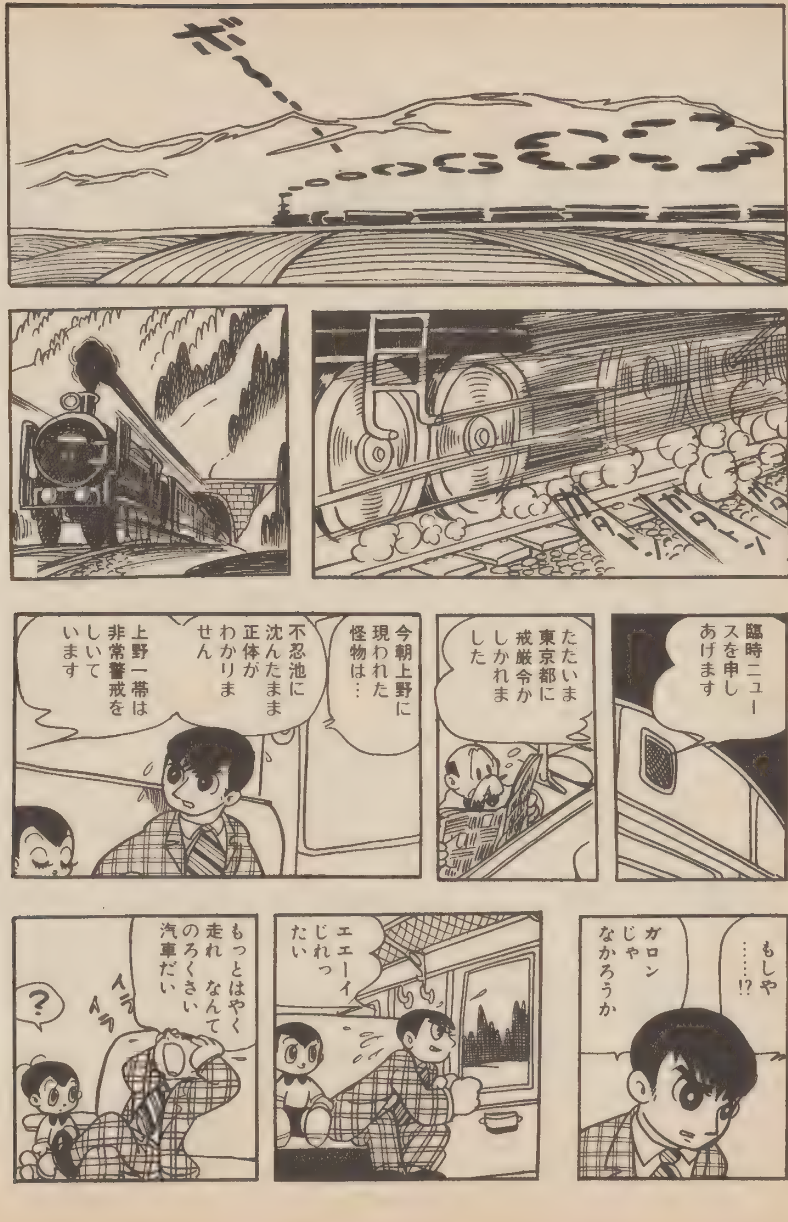

象がひどいめにあってるぞ
あっちで休んでますいまがチャンスです
よし!!
バズーカ砲を使ったら…
民家の集まったところだ機関銃だけを使え
ことり
こっちをむいたぞかまえーっ


くそーっ これが富士のすそ野の射撃場だったらなあ
機銃が役に立たなかったら戦車出ろ！
はいっ！
うてえ
ピ〜ッ
ガ〜〜ッ
ことり
キャッ
グア〜ッ


ガロ〜ン

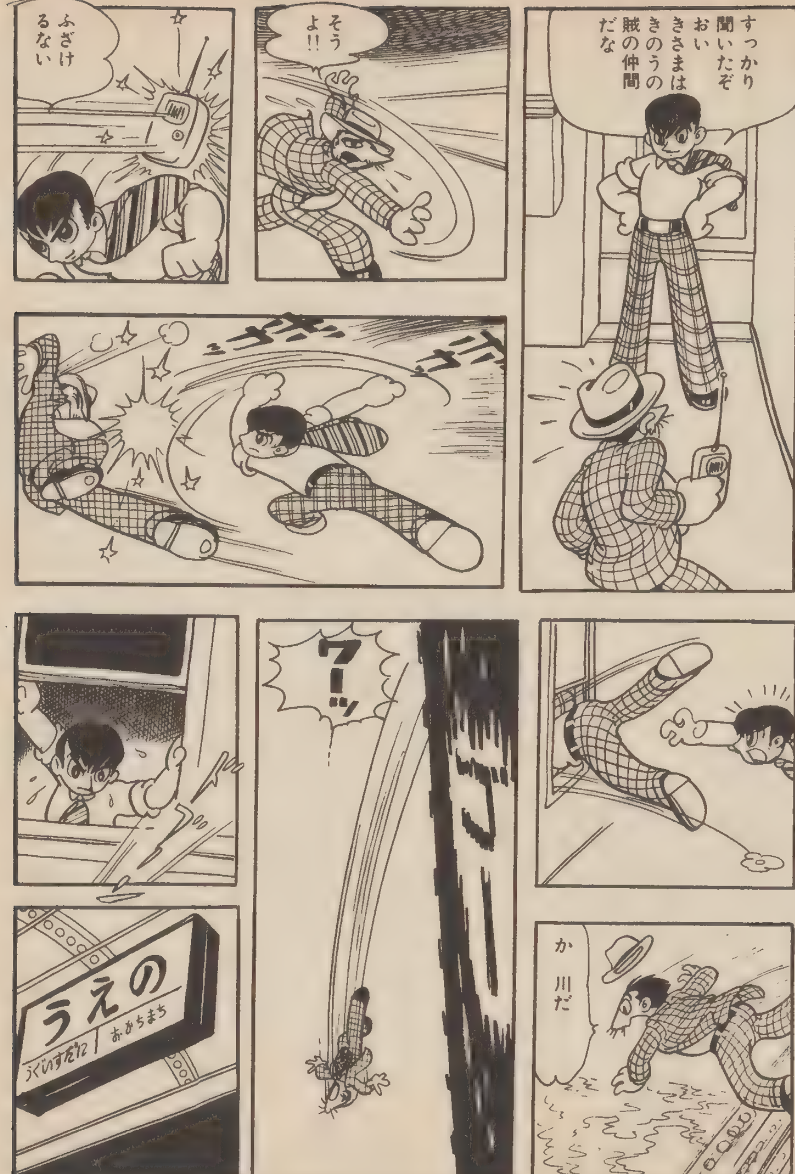

ワーッ
ギャーッ
ガローン
不忍池へはいっていくぞ
あっ怪物めどろに足をすくわれたぞ


ザブリ
ザブリ
重みで沈んでいく
ピック ピック ピック ピック
アハハーイ
ざまあみろドザエモンだーい
このバチアタリ あれは不忍池の弁天さまのお使いじゃ いま お帰りになるところじゃ
べらぼうめ! 弁天さまが家をぶっこわしたり あばれたりするかいっ
……
すっかり沈みました
船を出して調べようか?
近よると危険ですぞ
ウム しばらくまとう
都民のみなさん 不忍池の近くに立ち入らないでください!!


臨時ニュースを申しあげます
たたいま東京都に戒厳令がしかれました
今朝上野に現われた怪物は…
不忍池に沈んだままま正体がわかりません
上野一帯は非常警戒をしいています
もしや……!?
ガロンじゃなかろうか
エエーイじれったい
もっとはやく走れ なんてのろくさい汽車だい
?
イライラ

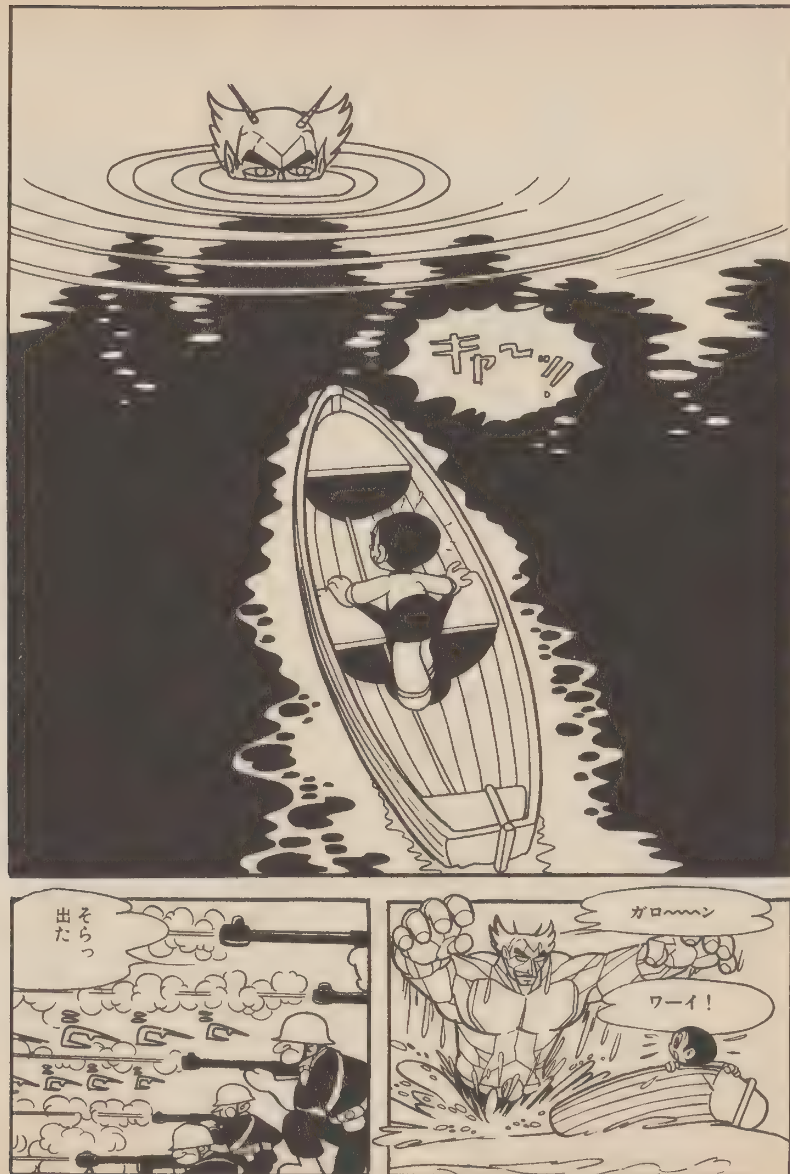

敷島さん なにを そんなに いらだって おるんかね ?
東京に 何が 起こって いるのか 心配です
今朝までの 新聞には べつだん 何も のっとらんよ
みなさんに わざわざ 東京へ きていただいて ありがたい な
ウン
東京見物 できる から いいや なあ ピック
ピック!!
そうだ ピックちゃん の身の上を お聞きするん でしたねえ 先生
ピックは ですな ゆうべも 話した ように ほんとうの わしの子 じゃないん です
十三年前 何か隕石 みたいなものが 山へ落ちてきて その穴の中で ひろった子です
フー ヘーエ
ところが 何年 育てても ちっとも 大きく ならな いんで…
こりゃあ ただの子 じゃないと 思ってた とこですよ


ところでピックとはいったいなんですかいな
なんだかわかりませんが東京であるものを見せてピックがどう出るかが問題です
どうでるってどういうわけですかい
二等
XW－八〇八XW－八〇八首領へ…こちら二十八号……
首領ですか……敷島のやつが生きてますぜ
はいこの列車にのっています
二等
やつは東京へいきますよかたづけますかね……
まてやつはだれといっしょだ
へんないなかの親子づれとです
フームやつの出かたを見よう敷島には手を出すないまのところ…
わかりました見はります
見はる必要もなさそうだな

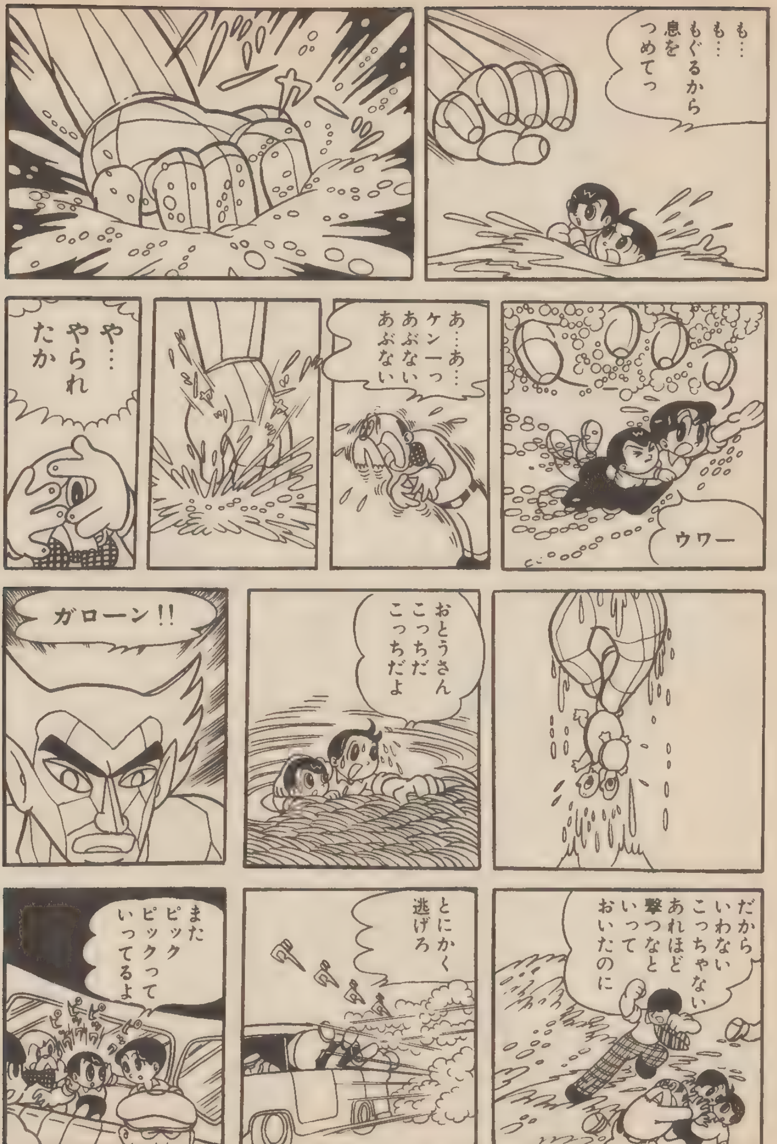

すっかり聞いたぞ
おい
きさまはきのうの賊の仲間だな
そうよ!!
ふざけるない
ワーッ
か 川だ
うえの
うぐいすだに
おかちまち

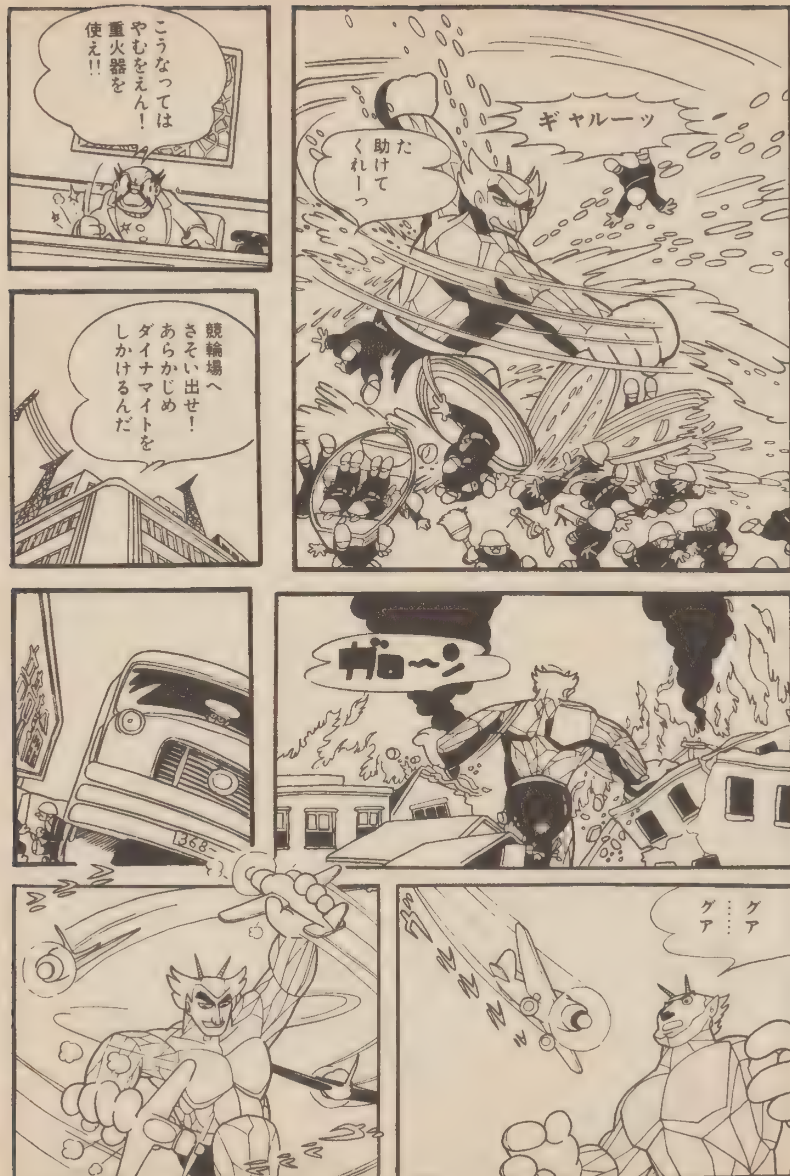

おっ上野だ！ぐずぐずしてはいられないぞ
さあ早くいこう……
警戒線を突破してくれ
かんべんしてくださいよ
戒厳令がしかれてるんですよムチャだよだんなは……
たのむよこのとおりだ……
百万円もらったっていやですねあたしゃ……
ええいかんべんしろよ
車がきます
調べろっ
こまりますな通行は禁止されてるのに……
東大の敷島博士です
私は怪物の正体を知っている……ガロンといって宇宙からきた怪物です
ええっ
くわしく話すときりがありません怪物はどこに……？

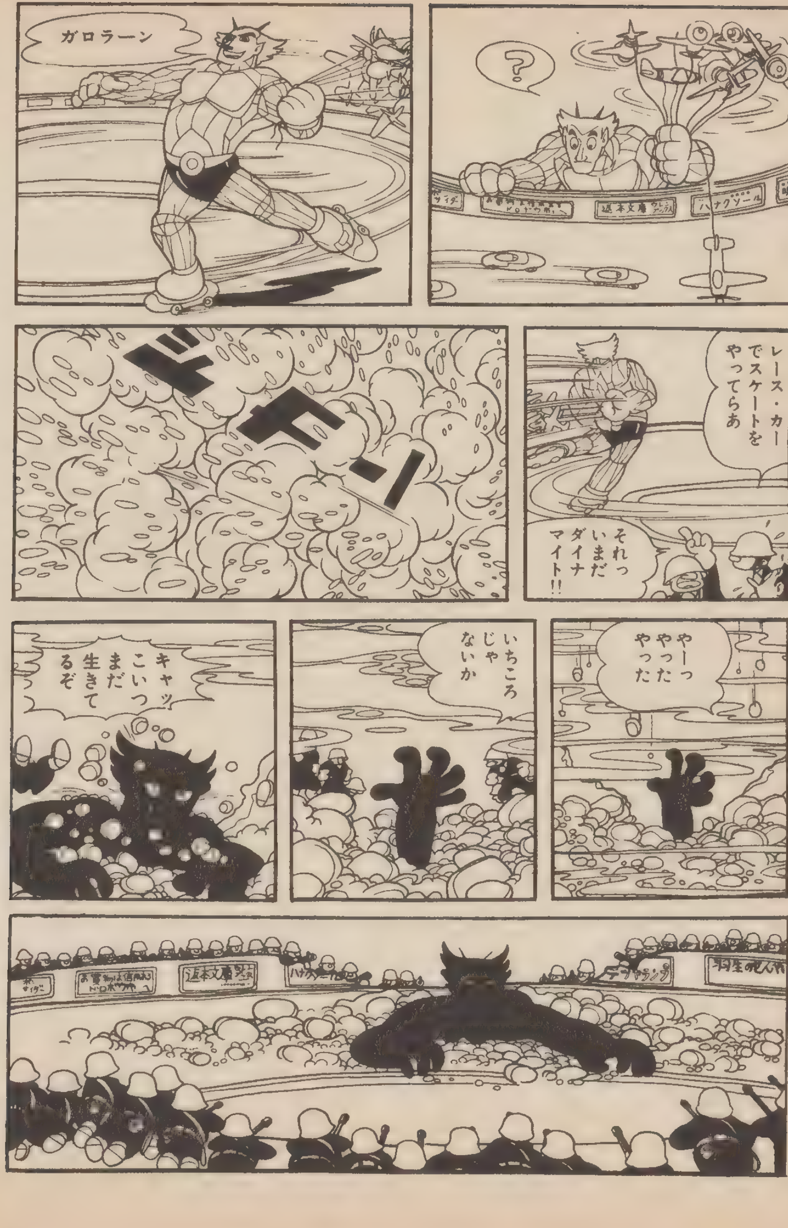

あそこに沈んでいるんだが……
ピック呼び声がしないか
もしかしたら またピックってきみを呼ぶ声が聞こえるかもしれないよ そしたら教えてくれ
あんりゃあの子の頭にへんな字みたいなものがうき出たぞ
するよ してるよ かすかに……
そうかっ どっちで…
あっちのほうだい
よし ピック そっちのほうへいってみろ
あぶないっ こんな子どもに！
ぼくにまかせてください
さあ ピック いくんだ
さあ いけっ


キャ〜ッ!!
ガロ〜〜ン
ワーイ!
そらっ出た


うわっ だめだっ ガロンを いま 撃っちゃ だめだっ
撃たないで くださいっ
ばかっ きみは あの怪物の 恐ろしさを 知らんのだ
だれか とびこめっ あの子を 助けて こいっ
だから ピックを いかせました……
あの子かね… あのままにして おくとガロンに 殺されて しまうぞ
ピック ぼくに つかまるのだ
おにいちゃーん


も…
も…
もぐるから
息を
つめてっ
ウワー
あ…あ…
ケンーっ
あぶない
あぶない
や…
やられ
たか
おとうさん
こっちだ
こっちだよ
ガローン!!
だから
いわない
こっちゃない
あれほど
撃つなと
いって
おいたのに
とにかく
逃げろ
また
ピック
ピックって
いってるよ


ギャルーッ
た助けてくれーっ
こうなってはやむをえん！重火器を使え!!
競輪場へさそい出せ！あらかじめダイナマイトをしかけるんだ
ガロ〜ン
1368-
グア……グア

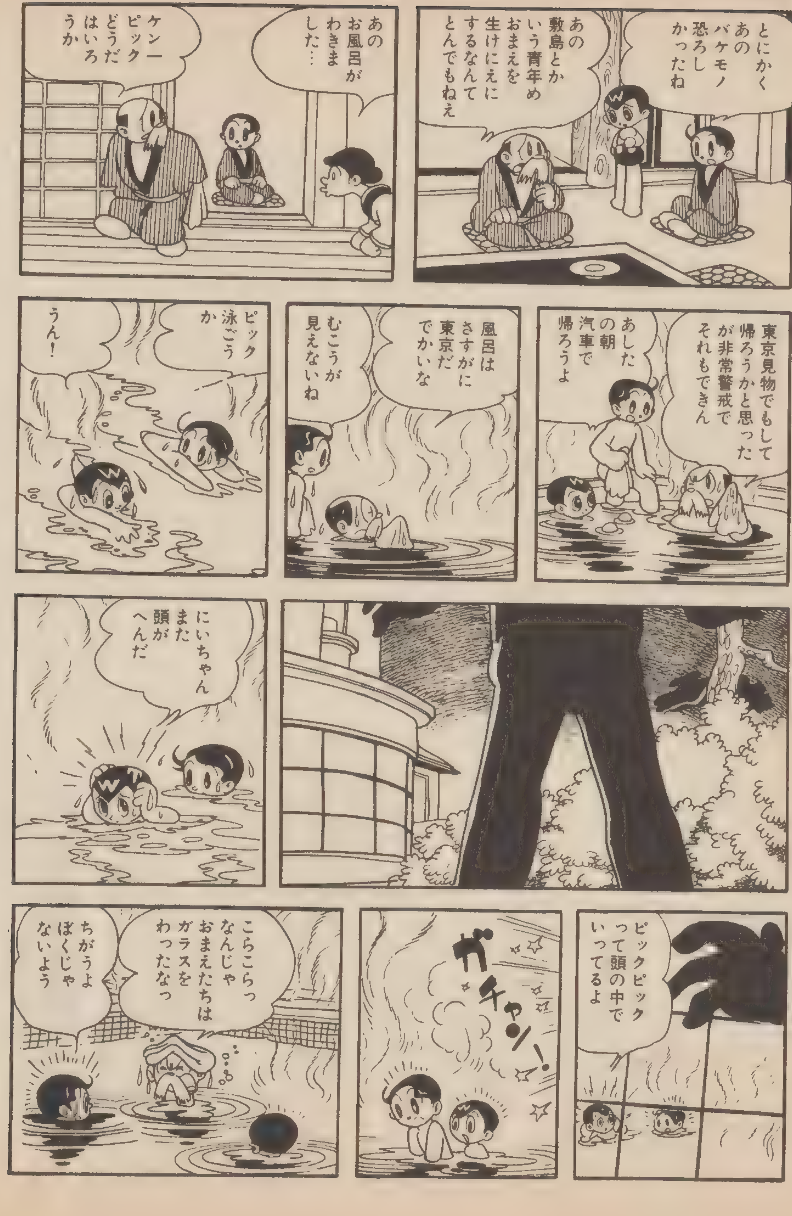

?
ガロラーン
レース・カーでスケートをやってらあ
それっいまだダイナマイト!!
やーっやったやった
いちころじゃないか
キャッこいつまだ生きてるぞ

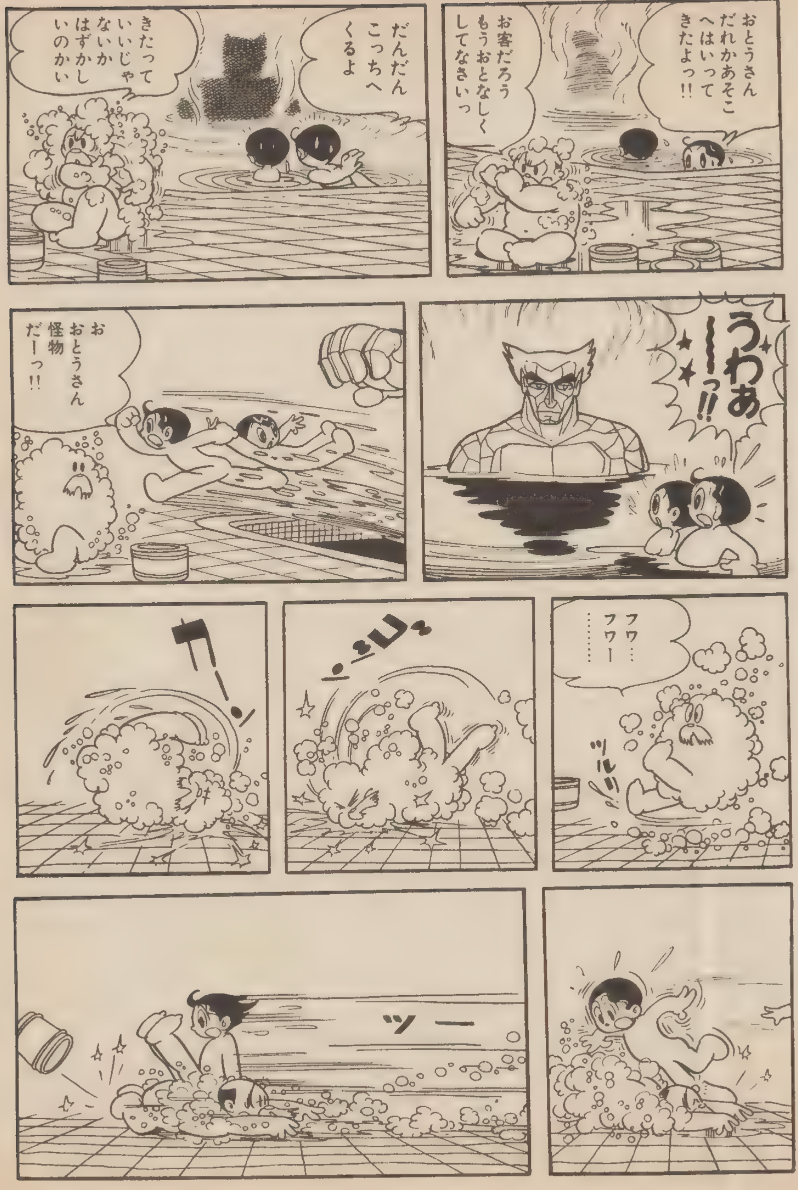

おかしいじゃないかビクッとも動かないぞ
死んでるんじゃないか
いま何時だい?
ま夜中だい
あんなやつのためにひと晩じゅうおもりか
射撃命令が出りゃいいのに…
あっ動いていますぞかすかに…かすかに…手…手が…
あぶないっふせろ
ウワーッ
ギャッ



ガ〜ガロ〜ン
ガロ〜ン
ガロンは宇宙からきたのです
いままでかくしていたのは悪かったと思いますが俵教授が絶対秘密を守れといいました
ぼくは教授の命令にしたがうほかなかったのです……
きみ…どうして秘密にしなけりゃならなかったんだ?
悪人にガロンをねらわれていたからです
タランテラという怪人がつけねらっていました……ぼくもおそわれ……
この東大の中にもスパイがいるんです
信じられん
ガヤガヤ
そんなバカな
どうだか
きみっきみは警察力を信じないのかね?
信じるの信じないの問題じゃありません!


ガロンが悪いことをすると…宇宙人が地球をせめてくるんだ
なにをいっとるんだあれな
しかし…
いみがわからん
だがかんがえかたによると…
コレじゃないか?
とにかくきみ俵教授の記録ってのを聞こうじゃないか
はい
な…な…ないないぞへんだぞ
だれかがぼくの留守中にひっかきまわしてとっていったらしい
先生精神科の部屋があいてますか
だれを入れるんですか?あなたですか
では…あの怪物の前へ無理やり子どもを押しだしたのはどういうわけだね
それは…つまり……ピックがガロンの一部だから…
なにをするんだっぼくは狂ってなんかいないぞーっ
ぼくの話はほんとうなんだっ
信じてくれーい
し……信じてくださいトホホ……

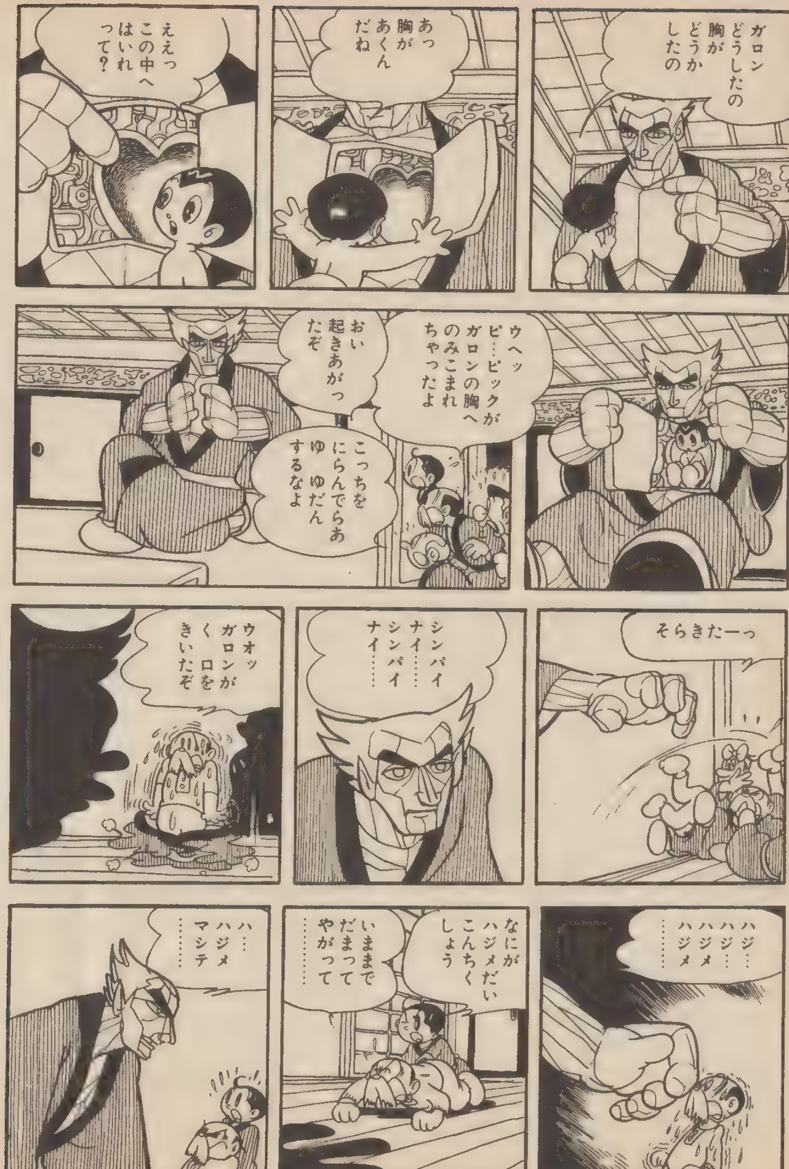

とにかくあのバケモノ恐ろしかったね
あの敷島とかいう青年めおまえを生けにえにするなんてとんでもねえ
あのお風呂がわきました…
ケンーピックどうだはいろうか
東京見物でもしてして帰ろうかと思ったが非常警戒でそれもできん
あしたの朝汽車で帰ろうよ
風呂はさすがに東京だでかいな
むこうが見えないね
ピック泳ごうか
うん!
にいちゃんまた頭がへんだ
ピックピックって頭の中でいってるよ
ガチャン!
こらこらっなんじゃおまえたちはガラスをわったなっ
ちがうよぼくじゃないよう


おとうさん だれかあそこへはいってきたよっ!!
お客だろう もうおとなしくしてなさいっ
だんだんこっちへくるよ
きたっていいじゃないか はずかしいのかい
うわぁーーっ!!
お おとうさん 怪物だーっ!!
カー!
フワ… フワー……
ツルッ!!
ツー


おーい だれか きて くださーい
あっ ピックがいないぞ ピック！
ギュウ
ガローン
ピック ピック ピック ピック
？
わーっ おろしてよーっ
おい 覚悟はいいか 命がけで ピックをとりかえすんだ
ピックーっ!!
ヒエッ
ぼく平気だよ ガロンはやさしいんだい……ほらね
ねえ おにいさん ガロンはぼくに友だちになってくれってさ



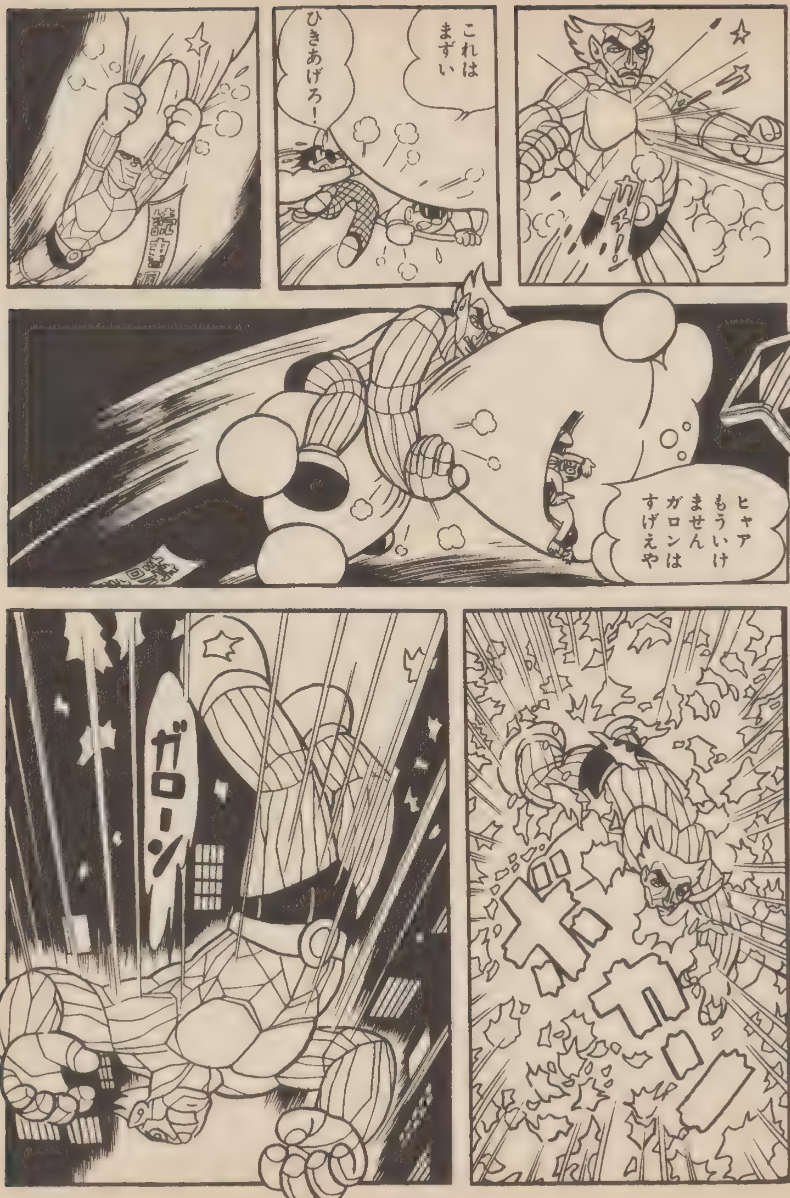
と……とんでもないっこのバケモノめ
エーイあいてて……
ガ〜〜ッ！
ウワッおこった
ガロンをにくまないでくださいガロンはなんにも知らないのです
ガロン…みんなにあやまるんだよ……
立つんじゃないすわってすわって……
だめだなあガロンは赤ん坊みたいだ……
静かにお歩きよ……ガロン……
もしもしこっちは…ヘイ観光旅館の成田屋で…ヘイガロンさまがいまおとまりで……ヘイ
こりゃ……きみたいしたもんだなわしのピックは博士のいったとおりだ ガロンとつながりがあるのかなからだの一部とか……
えらいこっちゃこうしちゃいられねえ
とにかくバケモノに着せるものをつくらなきゃ
ヒャッ

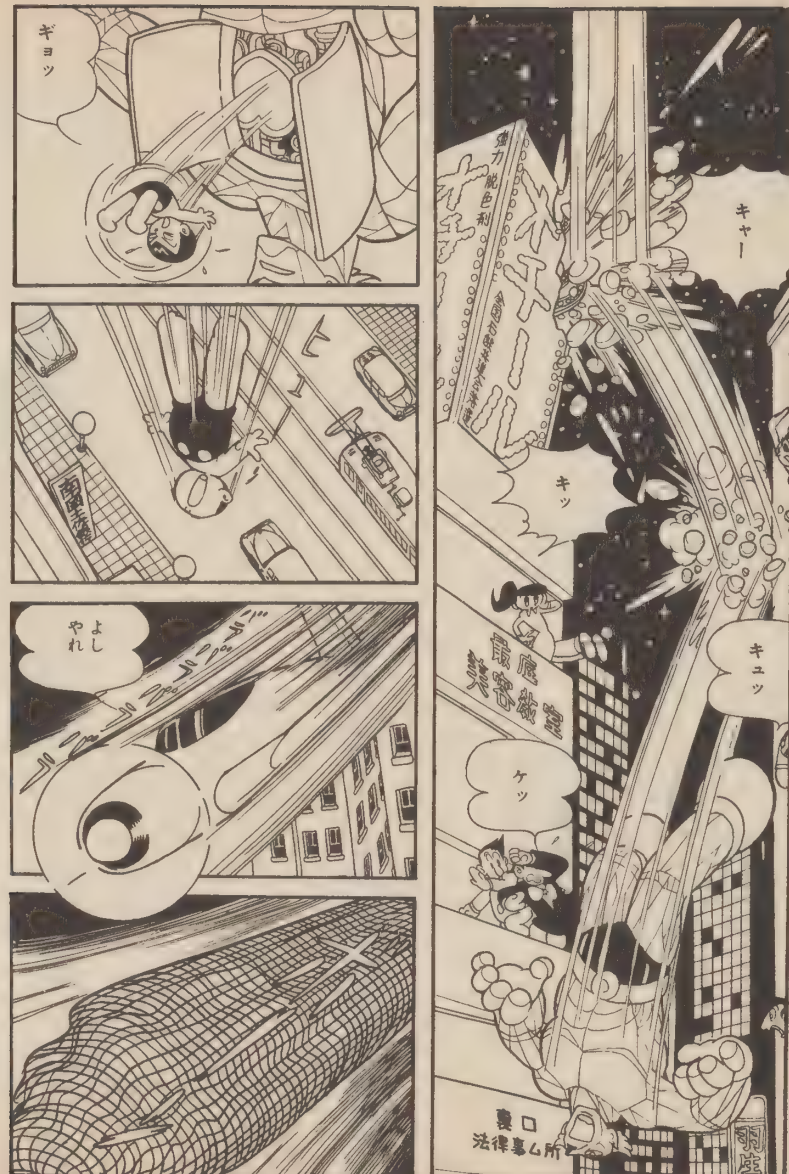

ガロン どうしたの 胸が どうか したの
あっ 胸が あくん だね
ええっ この中へ はいれ って？
ウヘッ ピ…ピックが ガロンの胸へ のみこまれ ちゃったよ
おい 起きあがっ たぞ
こっちを にらんでらあ ゆ ゆだん するなよ
そらきたーっ
シンパイ ナイ…… シンパイ ナイ……
ウオッ ガロンが く 口を きいたぞ
ハジ… ハジ… ハジメ ハジメ……
なにが ハジメだい こんちく しょう
いままで だまって やがって……
ハ… ハジメ マシテ……


日本語をしゃべるじゃないか
ピックココニハイル…ナンデモハナセル
ナンデモデキル…
なんていってるんだね
なんでもできるっていってるんですよ
よしためしてみる
ガロンあの車をあっちへ運べこわすなよ
ほ…ほんとうにいうとおりに運んだっどうです
すごいぞーっ
ピック出ておいで
ハーイ
XQ—八六八 XQ—八六八
首領ですかたいへんですガロンが……
なにっガロンが命令どおりに動くって!?
どういうわけなんだそれは
ピック? フーム
KAPONE
そうかそのこぞうがガロンを動かすカギだったのか



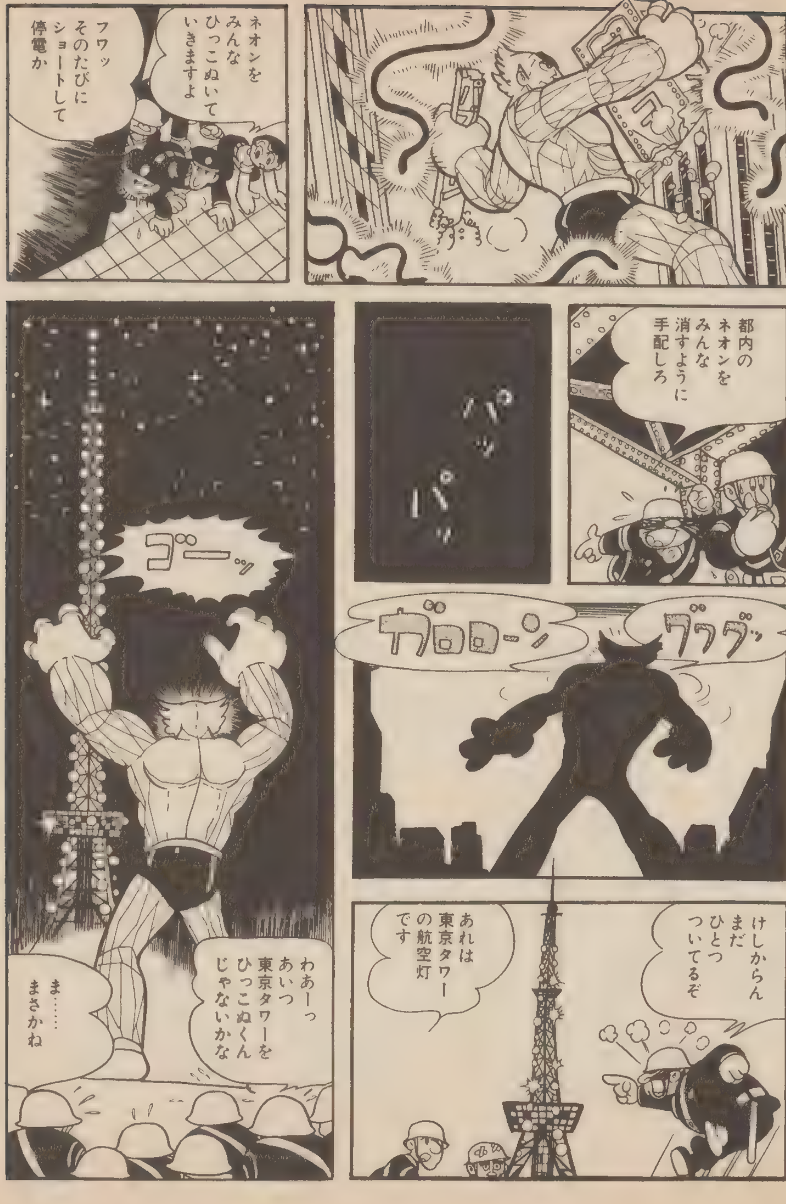
よし わかった そのピックってやつを さらうんだ 方法は まかせるぞ
旅館のまわりは 警戒が 厳重だな
よしっ 奥庭へ 落とそう
ようし 風がふいて きたぞ アドバルーンを あげろ
これが 人さらいの 道具とは わかるまい
そら!!
シュー…
うまく 奥庭へ 着いたぞ
おい ピック 静かにしろ おれたちと いっしょに くるんだ
つかまえろっ
しまった ガロンの中へ はいった
ピューー


カチ!
これはまずい
ひきあげろ!
ヒャアもういけませんガロンはすげえや
ガローン
ボカ!

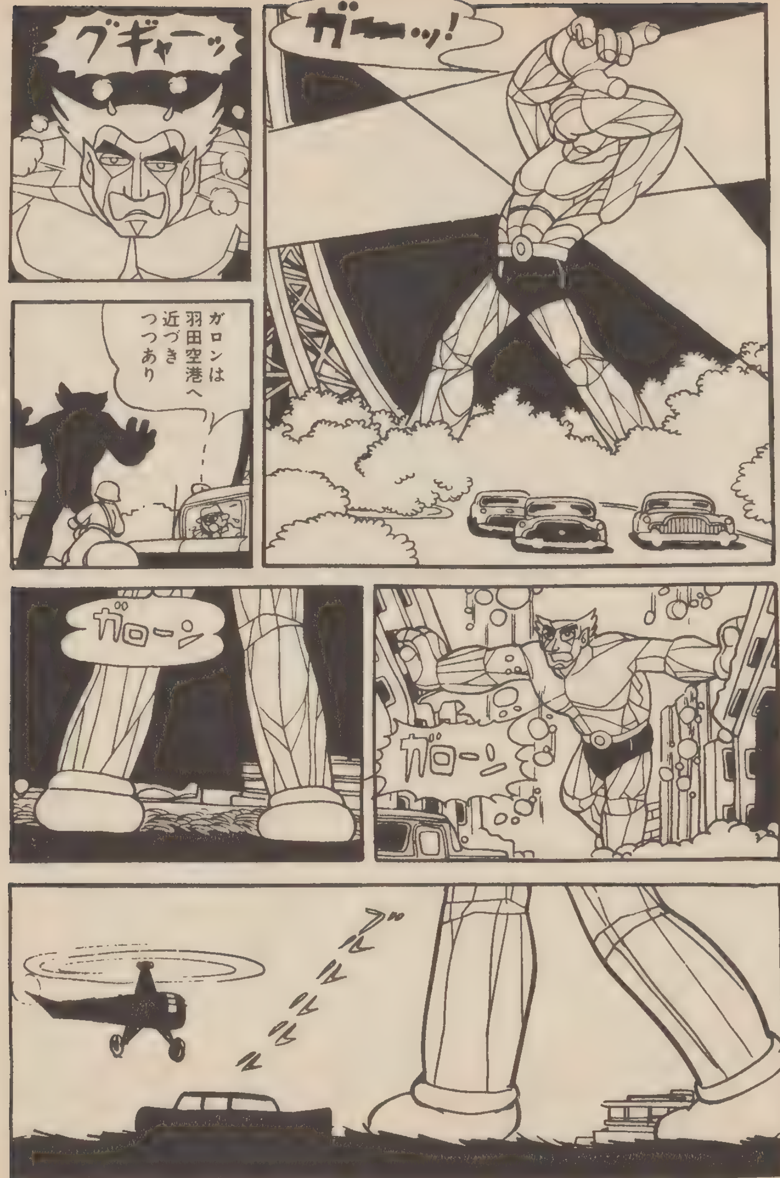

キャー
キッ
キュッ
ケッ
裏口
法律事ム所
ギョッ
ヒュ
よし
やれ

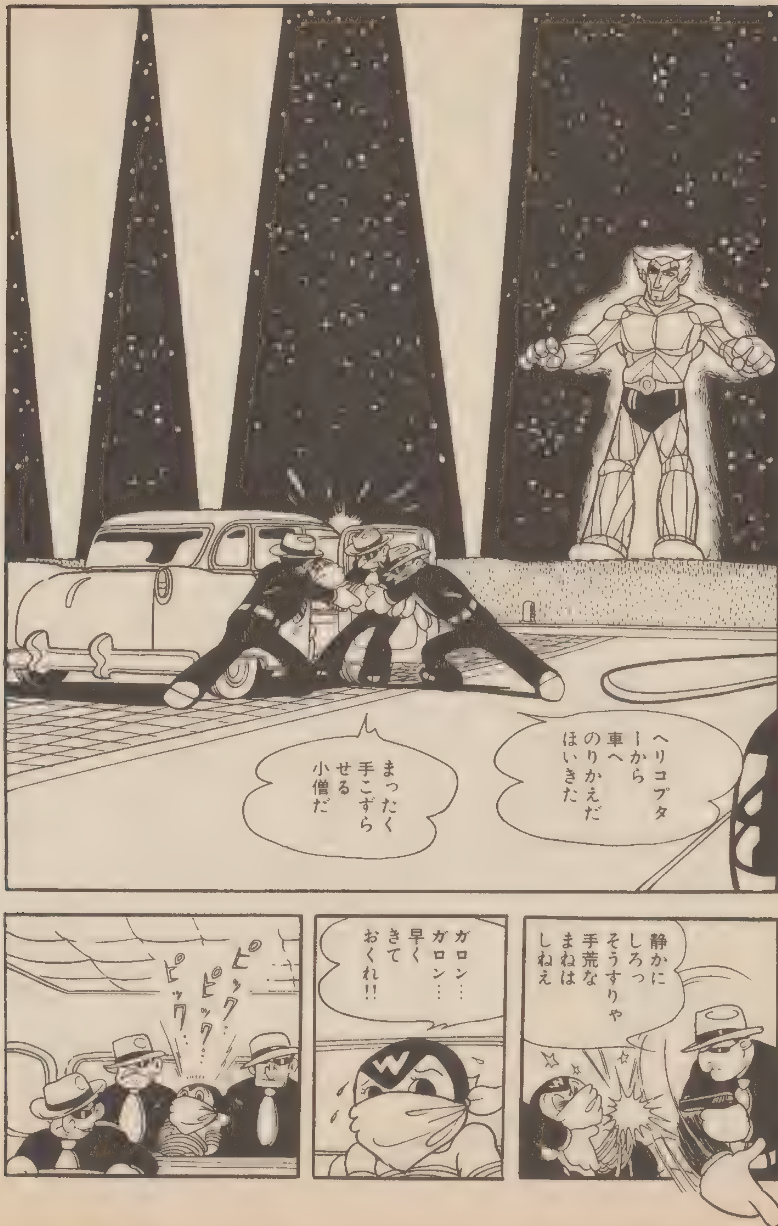

なんだって…ガロンが銀座四丁目のどまん中に落っこちたって?
銀座四丁目だと?
いこうたいへんだ
ピックは無事かなあ
無事だろうガロンのからだの中なら
だがケン一やえらいことになったのう
わしゃ今朝から目がまわりそうじゃ

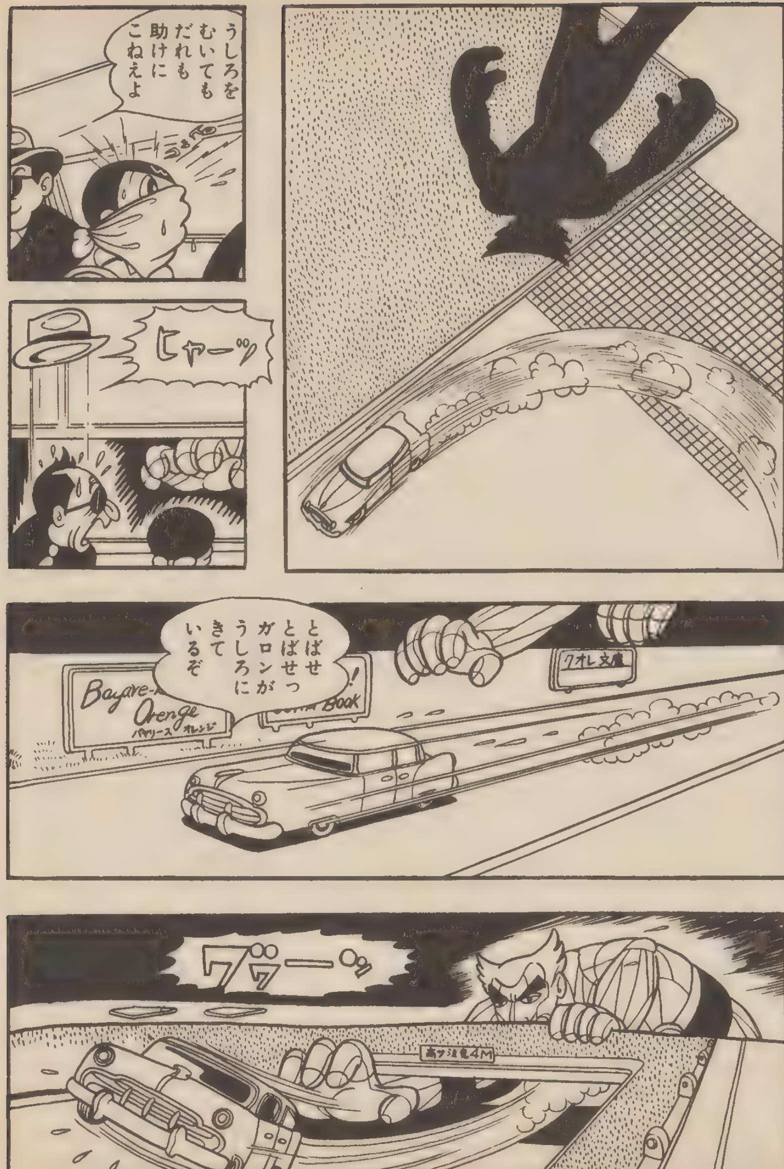

ピックどこへいったかピックやーい
おーいピック
ガロンがムズムズ動き始めましたぞ
ガロンが……?
よわったなあ ピ ピックがいなけりゃ また ガロンは何をするかわからないよ
とにかくピックをさがしましょう ピックやーい
みんな逃げてくださあい
た…退避一っ
立ちあがってネオンをつかんだぞ


ネオンをみんなひっこぬいていきますよ
フワッそのたびにショートして停電か
都内のネオンをみんな消すように手配しろ
パッ
パッ
ゴーッ
ブロローン
ブブブッ
わあーっあいつ東京タワーをひっこぬくんじゃないかな
ま……まさかね
けしからんまだひとつついてるぞ
あれは東京タワーの航空灯です


ウーム ガロンなら やりかねんぞ
東京タワーへ 早く知らせなきゃあ……
東京タワーを暗くするには羽田空港の許しがいるのです
えっ
東京タワーは飛行機がとびたつとちょうどまっ正面なんです
ネオンをつけてないと正面衝突するおそれがあるのです
しかし……なんとかしてくださいよ東京タワーを倒されると芝方面は大被害を起こしますぞ ほんとうに…
そうだ 空港から探照灯でガロンの目をくらまそう…………
ピカ!
ピカ
オーケー ライトをつけろ!!
ピカッ
ガウッ

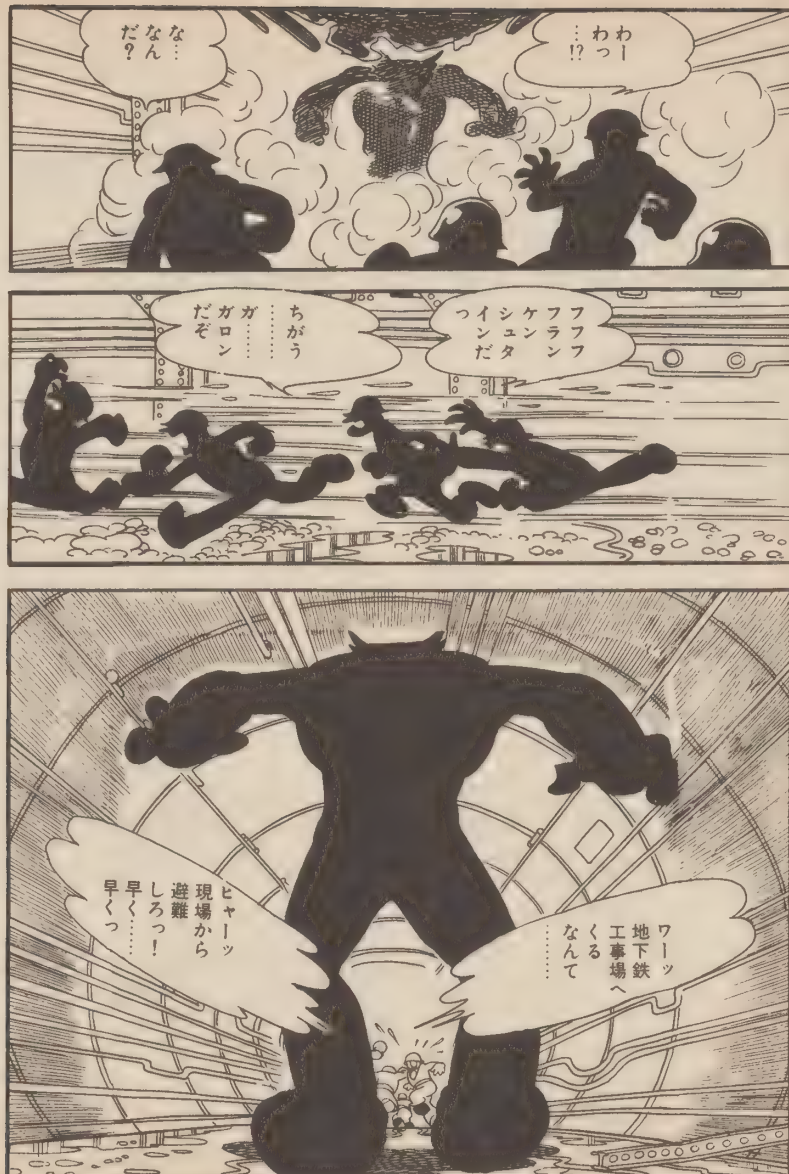

ガーッ!
グギャーッ
ガロンは羽田空港へ近づきつつあり
ガローン
ガローン
ブルルルルル


ヘリコプターから車へのりかえだほいきた
まったく手こずらせる小僧だ
静かにしろっそうすりゃ手荒なまねはしねえ
ガロン…ガロン…早くきておくれ!!
ピック…ピック…ピック…


うしろをむいてもだれも助けにこねえよ
ヒャーッ
とばせとばせっガロンがうしろにきているぞ
クオレ文庫
バヤリース オレンジ
ワ゛ヴーーッ
高サ注意4M

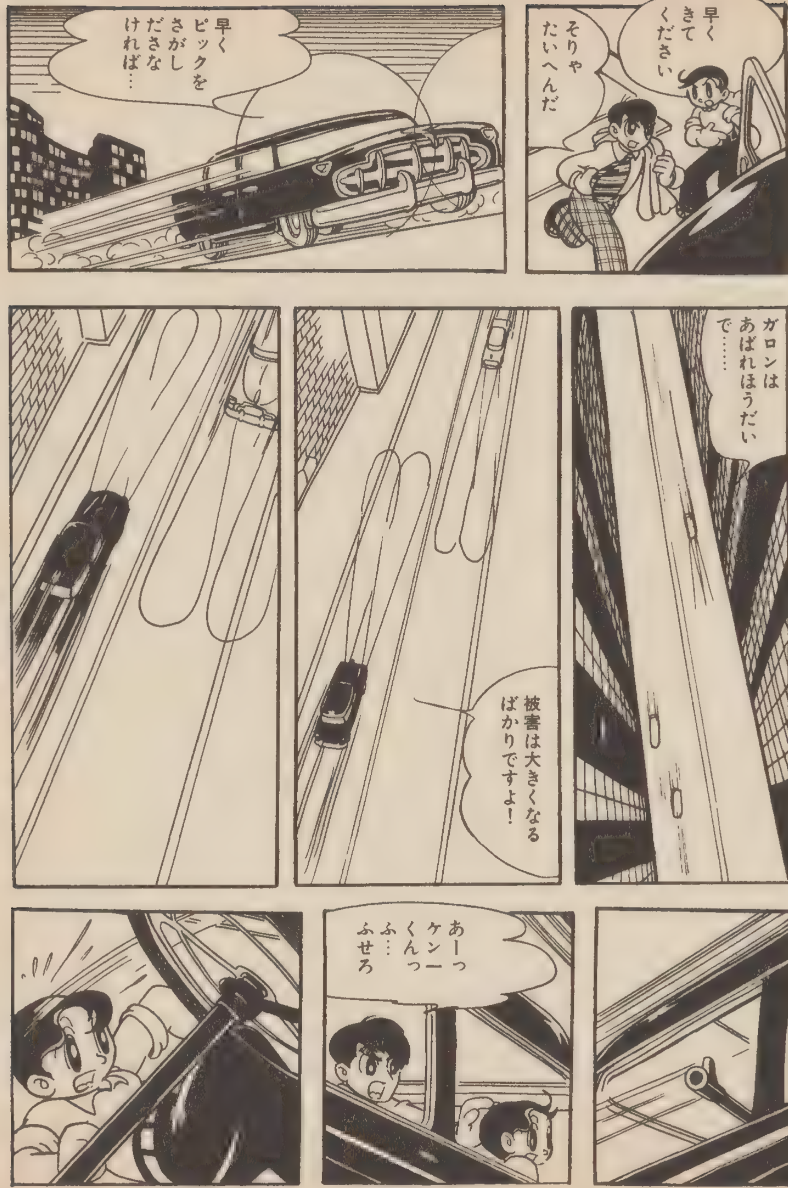

ガ〜ガロ〜ン
ガガ〜〜
ピクッ
ピクッ
ピクッ
ピクッ
?
?

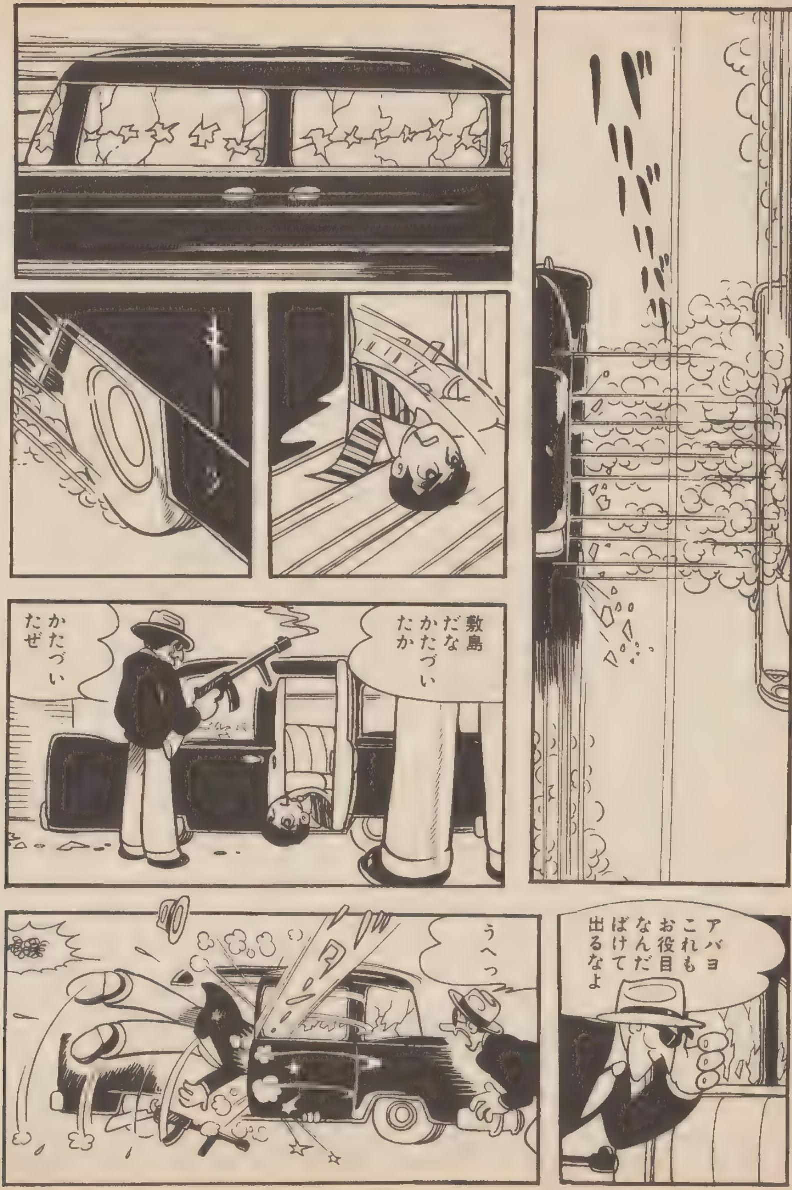

ガロンがきたーっ
逃げろ逃げろ……
ガロ〜ン
地下鉄工事中
キケン


わーわっ…!?
な…なんだ?
フフフフランケンシュタインだっ
ちがう……ガ……ガロンだぞ
ワーッ地下鉄工事場へくるなんて……
ヒャーッ現場から避難しろっ!早く……早くっ


ワァーッ! 地下鉄に侵入したって? かなわんねえ
ちょうどこのあたりへはいったのです
もうこのうえなすすべがありません
ガロンにたちむかえるものは原子力兵器だけだと思います
敷島博士あなたが知っているガロンの秘密をもっとわれわれに聞かせてください
ハハ… 精神病院からとたんにつれもどされましたね
そ…それをいいなさんなあのときはほんとうにきみは気が狂ったと思ったもんでね
無理もありませんぼくも俵教授の遺書を読んだときは信じませんでした
ガロンがピックによっておとなしくなるってのはほんとうですか?
いままでごらんのようにたしかです…といいますのは……
ピックはガロンの一部なのです…いやガロンの頭脳といったほうがいい
ピックによってはじめてただしく動くんですよ


それじゃ そのピックという子も分解して調べてみよう
分解するですって…ピックを…？
そうだ ガロンもピックも怪物だ かたづけてしまうのがいい
だれか反対の人はいないんですか みんな同じ考えなんですか
…………
…………
よろしい もう ぼくは わからずやのあなたがたにはいっさい協力しません
ピックを分解するなんて……とんでもないことだっ
やっ ケン一くんじゃないか
あっ おじさん!!
えっ ピックがどうしたって？
いないんです さらわれたらしいです


早くきてください
そりゃたいへんだ
早くピックをさがしださなければ…
ガロンはあばれほうだいで……
被害は大きくなるばかりですよ!
あーっケンーくんっふ…ふせろ


バリバリバリ
キーッ
敷島だなかたづいたか
かたづいたぜ
アバヨこれもお役目なんだばけて出るなよ
うへっ


フフ くやみを いうのは まだ 早いぜ
………
ケン一くん 出ておいで こいつらの 武器を とりあげろっ
おじさん 撃たれたかと 思ったよ
読者 だって そう思った だろうさ
万年筆の 赤インクを 口の中へ つぎこんだ のさ
こいつらは タランテラの 一味なんだ ほら ぼくが 村でひどいめ にあってる
そのせつは お世話さま だったな ええい この 人殺しめ！
よしな さいよ 乱暴は…… いくら悪い やつでも ね……
こいつらは いってきか せても改心 するやつ じゃない
どっちに しろ ここで 殺す



だめだよ そんなこと…
ケン一くん きみは ひっこんでろっ…
さあ タマを しゃぶるのは どっちからだ
わーっ た… 助けて くれーっ
ピックの行方は……?
主犯のアネゴだ アネゴのところに……
そのアネゴとは?
バー ミケネコのアネゴだ
よし 一時間ほど 天国へ いってろっ
ハハッ ケン一くん ごめんよ はじめから 気絶させるつもり だったんだよ
こいつらは ひとすじなわじゃいかない やつらだから …… まともに かくれがを 聞いても ウソばかり いうだろう
だけどね 人間というものは 死ぬときになると たいてい ほんとうのことを しゃべるものさ
それで おどかしてやったら すっかり ドロをはいた


だから
殺すって
おどかしたん
だね
うん
あのとき
やつらの
いった
ことばは
ウソじゃ
なさそうだ
警視庁
捜査一課へ
これを
とどけて
ください
おいっ!?
待ち
たまえ
き きみ
は…?
バー
ミケ
ネコを
さがそう
博士
警察に
なぜ
知らせない
のですか?
知らせる
のはいやだ
ぼくひとり
でやる
ムチャだ
知らせると
えらいこと
になるよ
ぼく
知らせ
ます
ケンー
くん


だめだーっ 警察に 知らせたら おしまい だぞ
ケンー くーん
バー
警察の手に ピックとガロンが わたったら ふたりとも 分解されて しまうんだぞっ
チェッ ………
BAR
おいしい ジュース どう
ホホホ こわがってる のね おねえちゃんが いるから 安心よ
ウフフ かわいい 坊やね


おねえちゃんのお友だちになってくれない あ……そうそう あなたはガロンともお友だちなんでしょう
ガロンはなんでもあなたのいうことをきくのね
うん
ね…仲よしになりましょうね……ね…ね…
いやだ
おまちっ!
いやだい…悪人のいうことをきくのは…
いまにガロンがきたらやっつけちゃうから
いわせておけばこのあくたれ小僧っ
フーッ
アネゴへんな野郎がきてますぜ

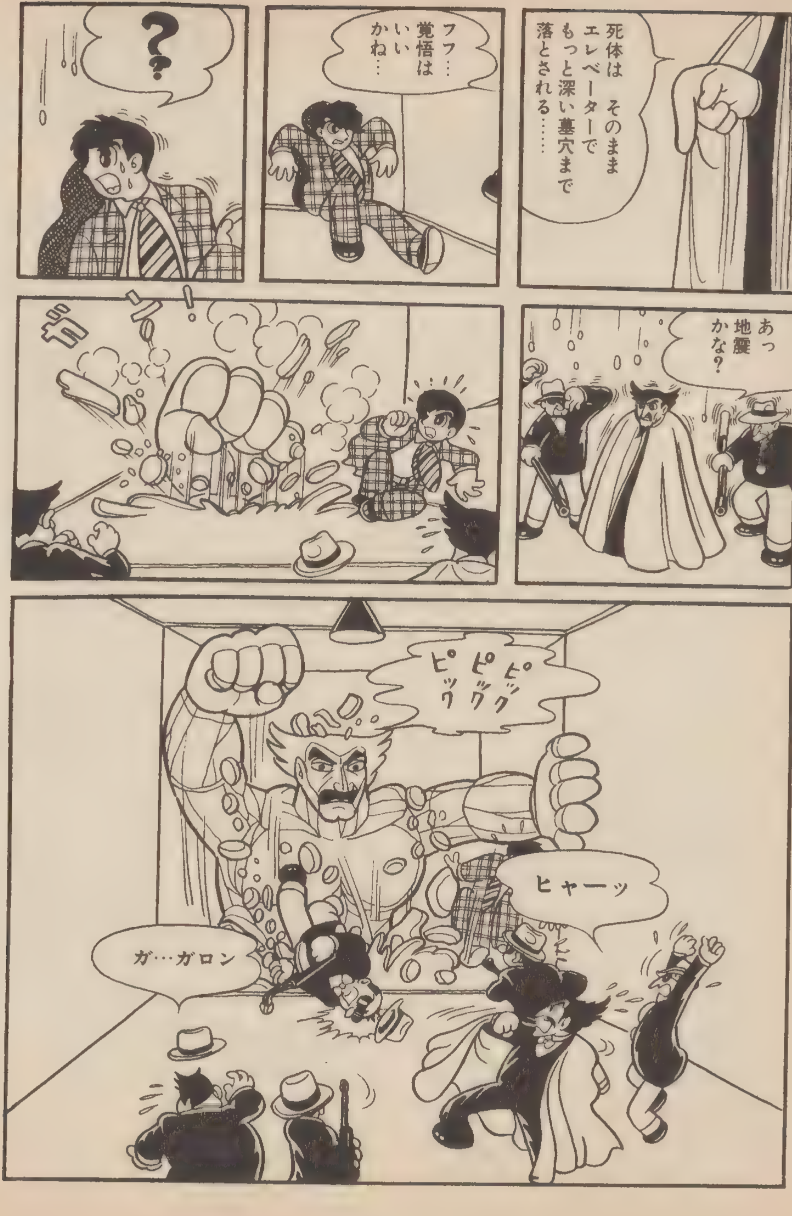

サツのイヌ
じゃねえかな
……?
へい
ゴニョ……
ゴニョ……
やい
何を
するんだ
きみが
勝手に
ころんだん
じゃないか
いいがかりを
つけるのか
オウ
何して
やんでい
顔を
貸せよ
青二才


ダダダダダ
ジャー!
ギ~
おみそれしました あなたはどなた?
ぼくは敷島博士 この店にかくまわれているピックを返してほしいのだ
ピックですって? ホホホ そんなへんな子どもはいないわ 出なおしていらっしゃいな
子どもといったな どうして子どもとわかった! やっぱり知っているんだろう!
タランテラにたのまれてあずかっているはずだ
ピックがいないとガロンがあばれてえらいことになる
それにガロンはきっとここへやってくるぞ
ガロンとピックはいつも呼び合っているんだ

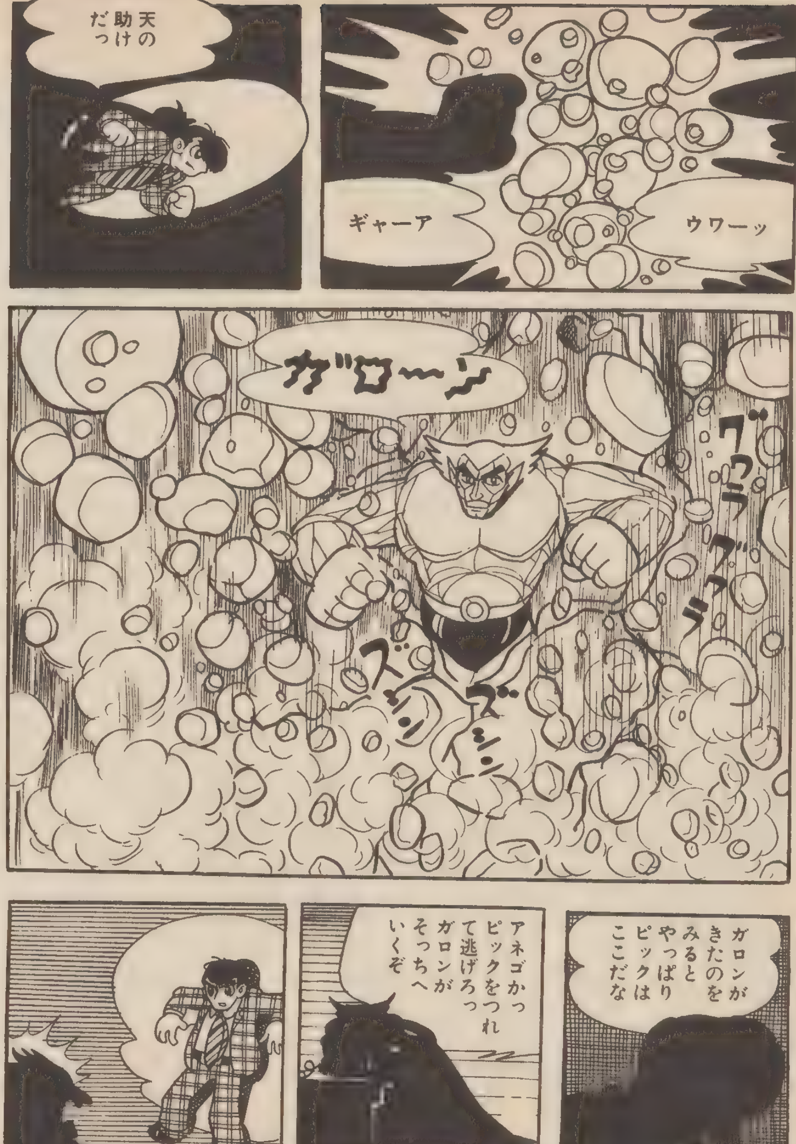


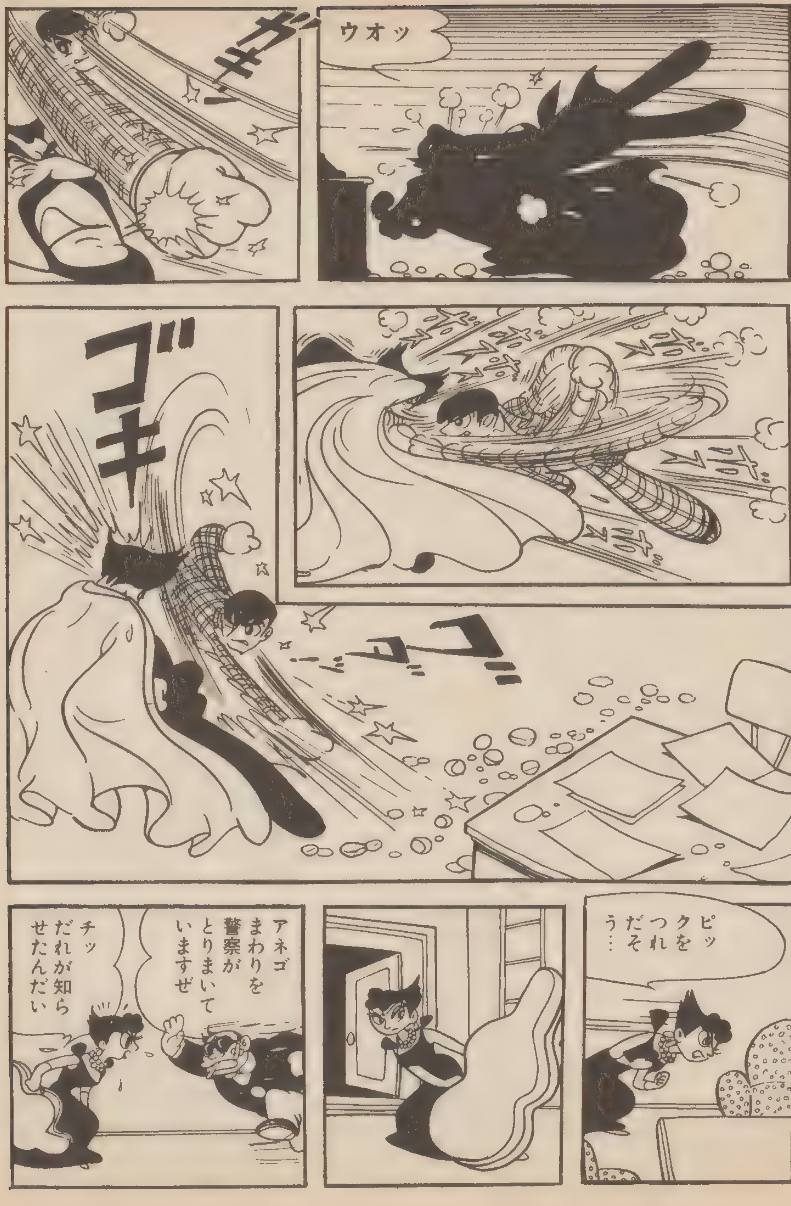
あなたの熱心さには負けたわよ
どうぞおさがしなさいな
ピックっ
ピックーッ
ピックーッ
出てきたまえーっ
やいバケネコめっピックをどこへかくした
だからいったわそんなものいないって……
くそっ!
今度は私の番よ
ジー
ガクン
ワァッ


なんだこりゃエレベーターじゃないか
どうやら図星だな敷島……
あっ！タランテラきさまやっぱりここにいたなっ
いままで何度もおれはきみを殺そうと苦労してきたが……
だが……そのたびにきみはきりぬけてきたつつしんでお祝い申しあげるぜ ワッハハハ
しかしそれは死刑台のエレベーターでな
タランテラの気に入らぬ人間はみんなそこで死ぬことになっておる

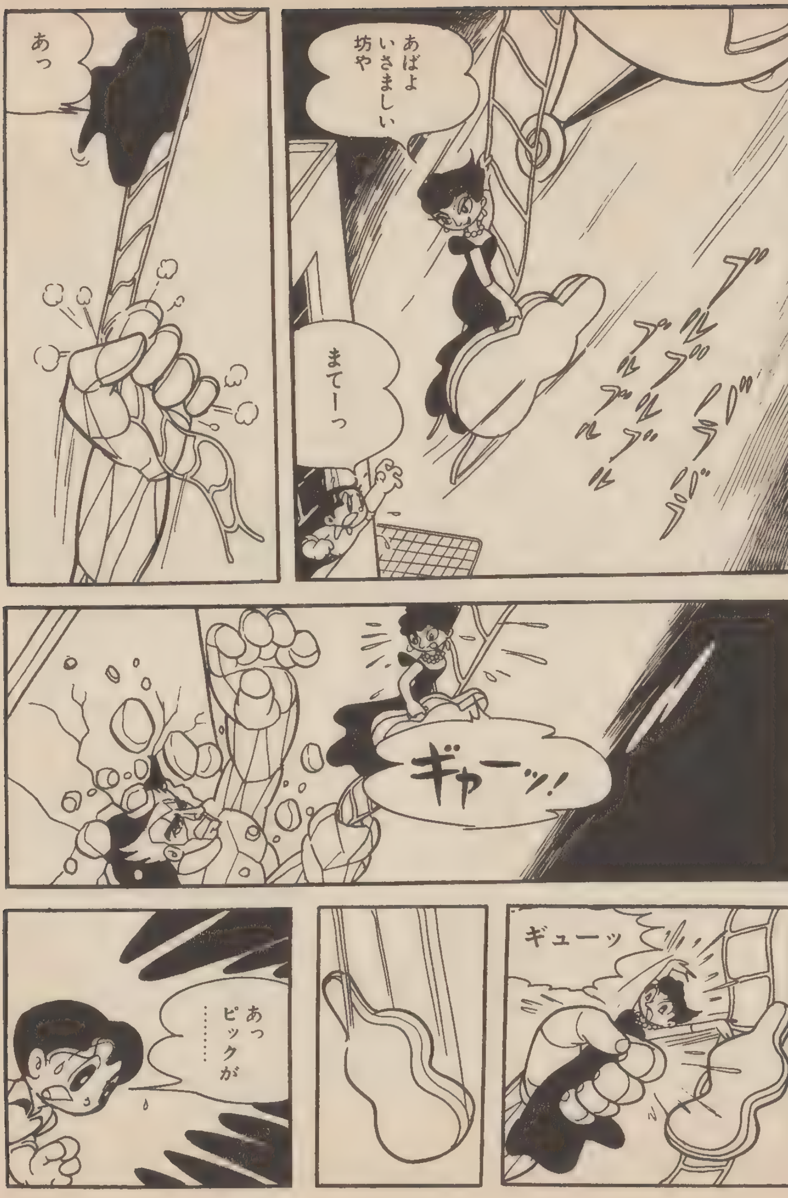

死体は　そのまま
エレベーターで
もっと深い墓穴まで
落とされる……
フフ…
覚悟は
いい
かね…
?
あっ
地震
かな?
ガン!
ピクピクピク
ヒャーッ
ガ…ガロン


ガロンが出たーっ
ギャァアアァ
ワーッ停電だぞっ
ガロンが電線をひきちぎったぞ
ガローン

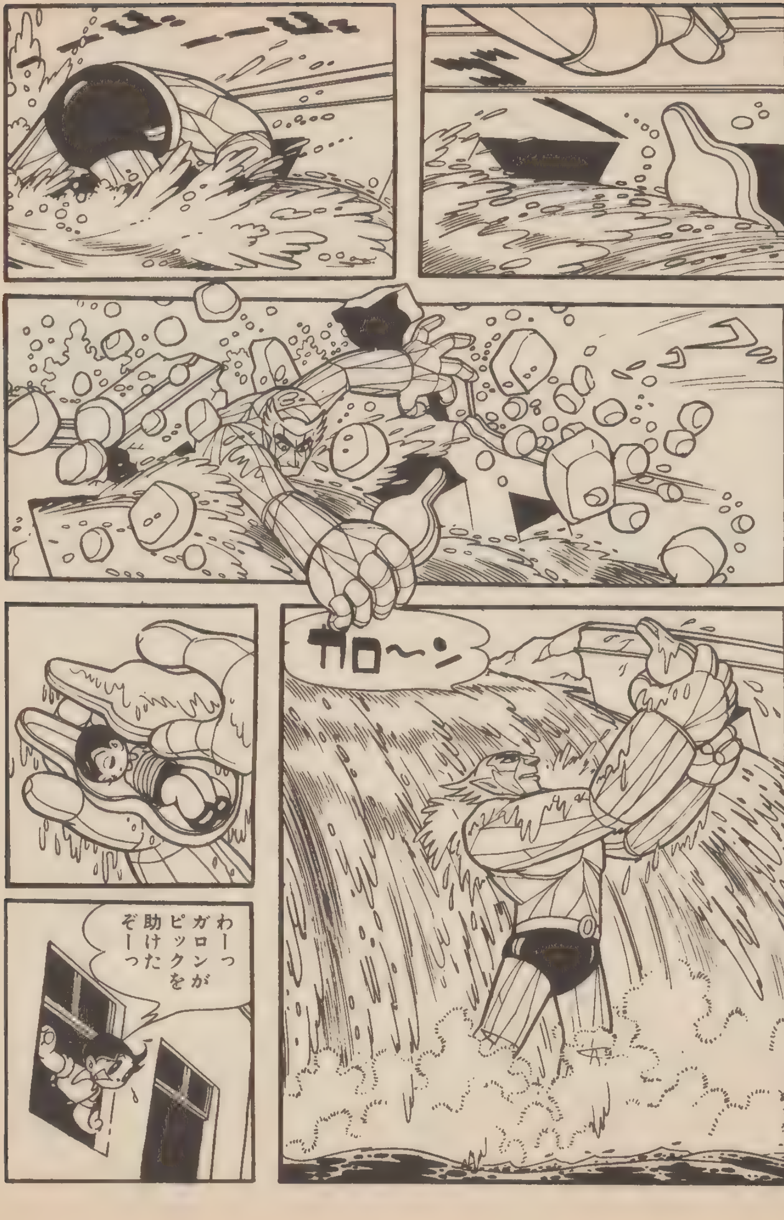

ウワーッ
ギャーア
天の助けだっ
ガローン
グワラグワラ
ズシンズシン
ガロンがきたのをみるとやっぱりピックはここだな
アネゴかっピックをつれて逃げろっガロンがそっちへいくぞ


ウオッ
ガキ
ゴキ
ピックをつれだそう…
アネゴ まわりを警察がとりまいていますぜ
チッ だれが知らせたんだい


ぼくだよ
そのコントラバスケースの中身を見たいねえ
……
ヒラリ
タッタッタッ
ヒエッ
そこを動くんじゃないよ坊や…あたしが逃げるあいだは
うぬっ空へ逃げる気だな

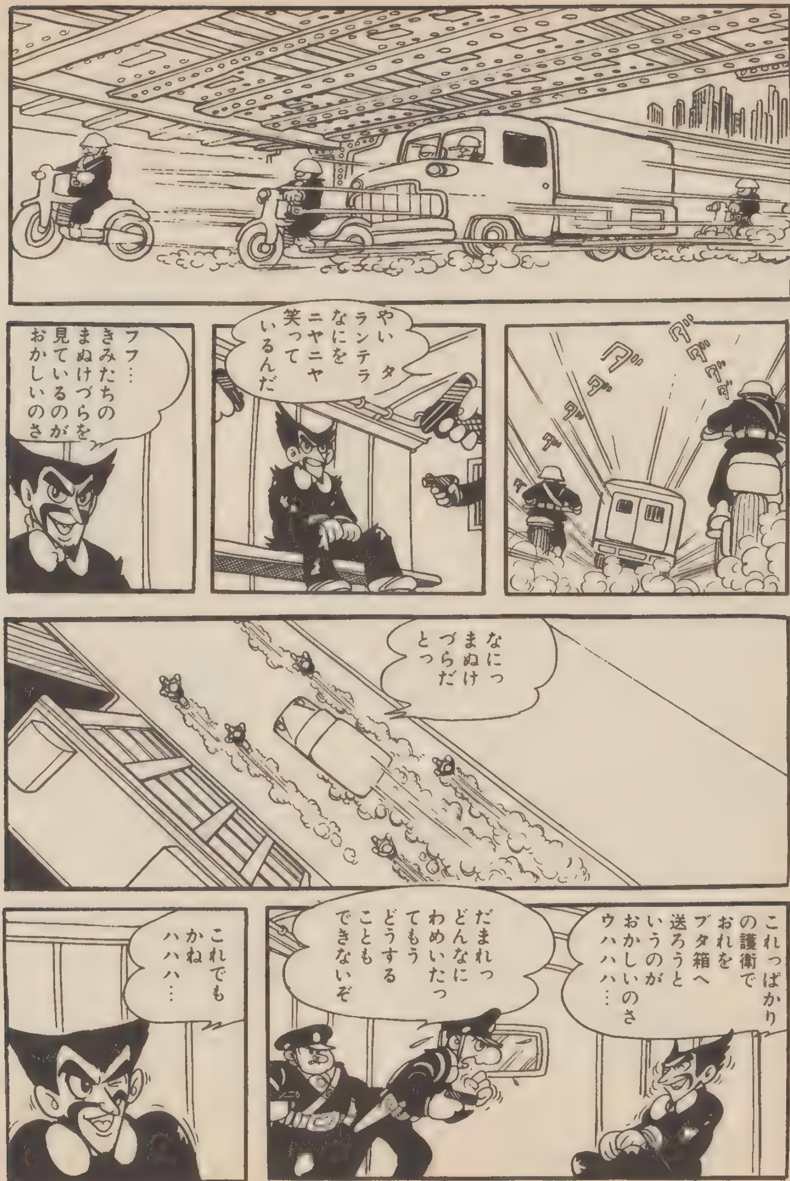

あばよ いさましい 坊や
ブルルブルルブルル
バラバラ
まてーっ
あっ
ギャーッ!
ギューッ
あっ ピックが……


ジャーッ
ガアーッ


ガロ〜ン
わーっ ガロンが ピックを 助けた ぞーっ

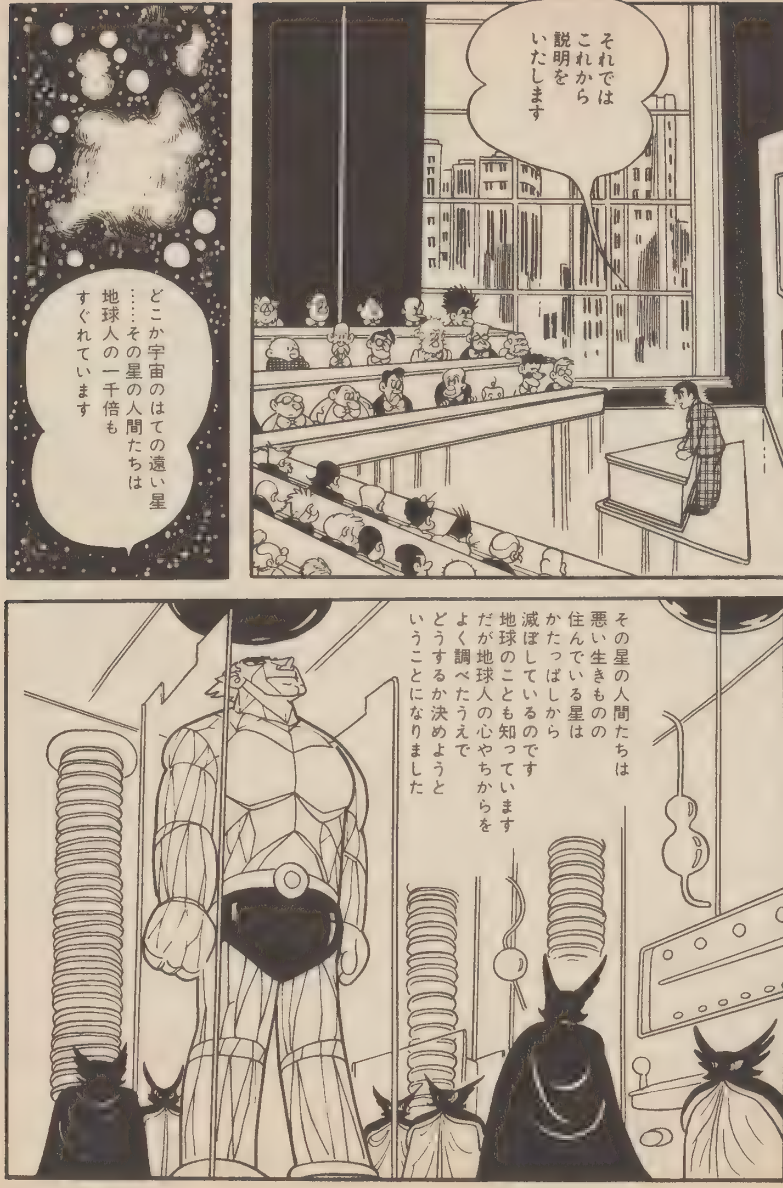

よーっ ガロンが 人助けを したー
バン ザーイ
ガロン バンザーイ
えらいぞ バケモノ…
なんだい… ほめてるの かい… けなしてるの かい
わっ ピック しっかり しろっ
医者へ つれて いこう
ガーッ!
ウヒャア おこった おこった
医者を つれて くるほう がいいよ
いやだよ わたしゃ 手の上へ のるのは いやです
大仏の手 へのった つもりで どうか…

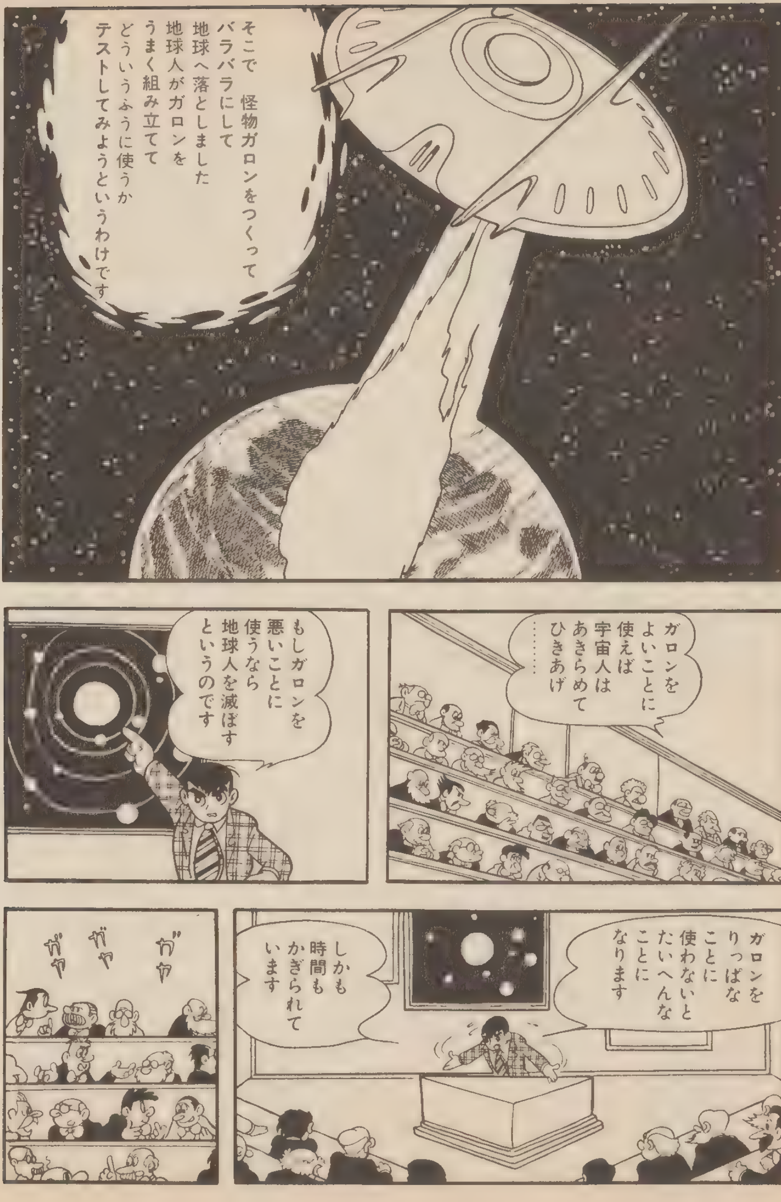

ガ…ガ…ガロンの手の上でか…か…患者をみるのははじめてだ
どうかわ…私をにぎりつぶさないでくれっ
わっあわてて自分の手に注射しちまった
あっピックが気がつきましたよっ
お……おとうちゃん
おおっ！助かったかーありがとうヤブ医者ありがとう
悪人タランテラですおひきわたしします
やあどうも……
おいっさっさと車にのるんだ
くれぐれも気をつけてくださいよ
そいつはしたたか者ですどんなことをして逃げるかわかりませんから……
なあにだいじょうぶです


ダダダダ
ダダダダダ
やいタランテラ なにをニヤニヤ笑っているんだ
フフ… きみたちのまぬけづらを見ているのがおかしいのさ
なにっ まぬけづらだとっ
これっぱかりの護衛でおれをブタ箱へ送ろうというのがおかしいのさ ウハハハ…
だまれっ どんなにわめいたってもうどうすることもできないぞ
これでもかね ハハハ…

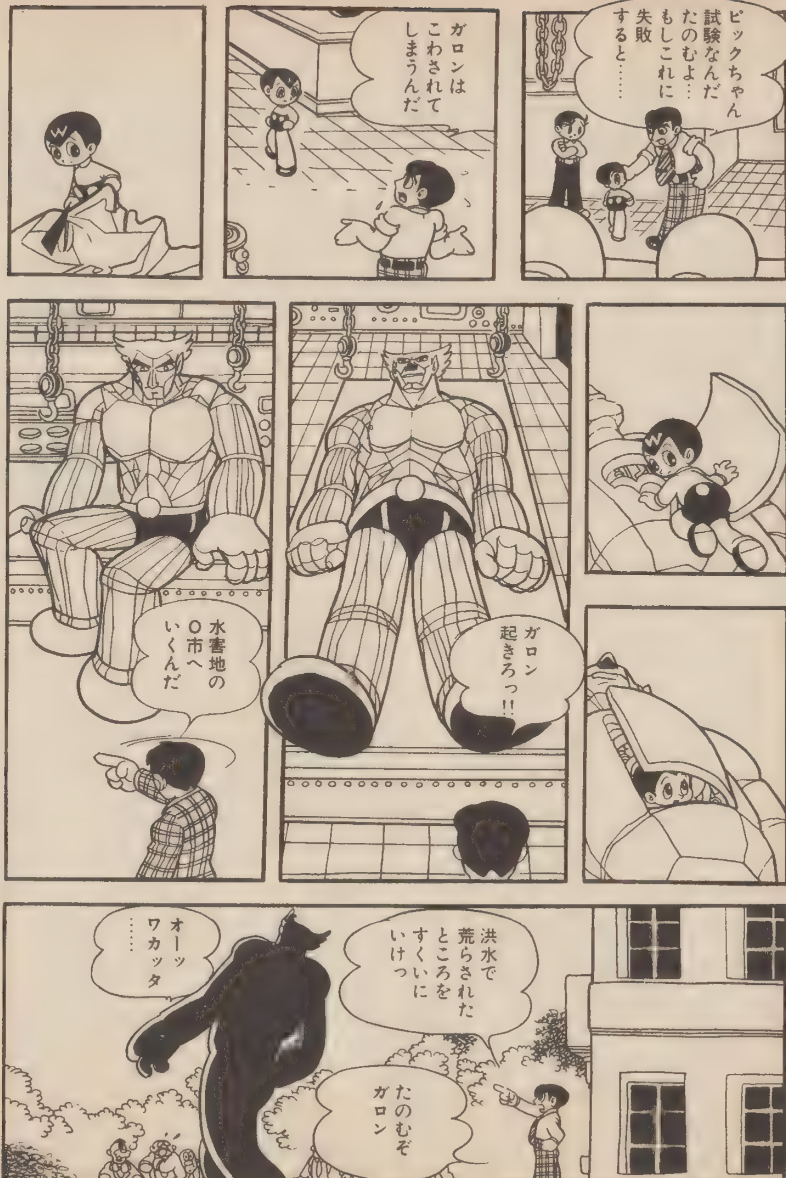

わーっ
ヒャーッ!
どこを見てるんだ こっちだ こっちだ
ヒ…ヒ…ヒ
ヒャーッ あぶないっ
キーッ
ヒ…ヒ…ヒ


ワッ
ズボッ!
ガーッ
ちょいと
こんなもんだ
タランテラ
をなめると
どうなるか
……
おぼえて
おけよ
いまは
ひっこんで
やるが……
どうせ
ガロンは
そっくり
いただくぞ
見ておれ
……


それではこれから説明をいたします
どこか宇宙のはての遠い星……その星の人間たちは地球人の一千倍もすぐれています
その星の人間たちは悪い生きものの住んでいる星はかたっぱしから滅ぼしているのです地球のことも知っていますだが地球人の心やちからをよく調べたうえでどうするか決めようということになりました


そこで 怪物ガロンをつくって バラバラにして 地球へ落としました 地球人がガロンを うまく組み立てて どういうふうに使うか テストしてみようというわけです
ガロンを よいことに 使えば 宇宙人は あきらめて ひきあげ……
もしガロンを 悪いことに 使うなら 地球人を滅ぼす というのです
ガロンを りっぱな ことに 使わないと たいへんな ことに なります
しかも 時間も かぎられて います
ガヤ ガヤ ガヤ


今度こそ ぼくの話を 信じてもらえるでしょうね……
フーム どうも
信じられんね 手塚治虫とかいうまんが家のかきそうなこった
なんて あんたがたは わからずやなんだ!!
でも これだけは わかるでしょう
ガロンを いいことに 使いましょう きっと 世界じゅうが しあわせに なりますよ
ンだ
ンだ
分解は やめて ください
だめだ ピックは ともかく ガロンは どうしても 分解するんだ!
約束 してください ガロンと ピックを 分解しないって!!
なぜ いかんのかね あんな怪物を ほったらかしておくのが ソモソモまちがっとるっ
いや それよりも ですな いちおう 試験をしてみたらどうでしょう


ピックちゃん
試験なんだ
たのむよ…
もしこれに
失敗
すると……
ガロンは
こわされて
しまうんだ
ガロン
起きろっ!!
水害地の
O市へ
いくんだ
洪水で
荒らされた
ところを
すくいに
いけっ
オーッ
ワカッタ
……
たのむぞ
ガロン


ガロ〜〜ン〜〜
どうか試験がうまくいきますように
たのむぜピックちゃん
敷島博士にことづけです
だれからだい
あっタランテラめ逃げたのかっ
タランテラはまだ
降参はせぬぞ まだ
まだ
ガロンとピックは
きっといただく いずれ
よけいなまねをして ほえ
づらかくな
青二才
ガロンのまわりを護衛してくださいことにピックをさらわれないように守ってください
ああ悪いことが起きなけりゃあいいが
ガローン‥


O市だっ洪水のあとがそのまま残ってるぞ
おいおいなんだかばけものみたいなのがやってきたぞ
ヒャ！ガロンだありゃあ東京の怪物だっ
たいへんなときに怪物がきたな…
きたーっ助けてくれーっ
市民のみなさんいまO市内にガロンが現われていますが害をしません洪水のあとかたづけにきたのです安心してください
BARBER


わーっ 水が ひいたぞ
すごいっ どんどん ひいて いくよ
ガロンはいま 防波堤を つくっています すごいちからです 防波堤は どんどんできて いきます……
ワーワーワー
バンザーイ
フレーフレー
おっかさん よかったなあ 水がひいて
ほんに わたしゃ ガロンを 見なおしたわい な
ガロン さまさま じゃ
ニャー
ニャーゴ
ニャー
ニャゴ


ガロンはやさしいなねっおねえさん
そうね
どうですみなさんガロンはりっぱにいいことをやってのけたでしょう
けん一おつぎはいよいよわしの村の番じゃよ
わしの村へガロンをつれてきて道をよくしたり橋をつくらせたりするのじゃガロンならできるぞ
それよりピックがいつまでもガロンの中じゃかわいそうだよ
あっそうかおなかもすいたろう
ピックちょっとお休み
出ておいでよ
ごはんたべようよ………
ガロンの胸から小さな坊やがとびだしました
群衆はガロンに気をとられていて坊やに気がつきません
ごくろうさま……ピック
運転手さんどっかにうまいごちそうをたべさせるとこないかね
へいあります


ここは
O市一
でさあ
いらっ
しゃい
まーし
?
三人さん
ご案内
ギロリ
ガロンの
ために
かんぱいっ
おとうさん
ぼくたち
お酒
のめないよ
じゃあ
食いねえ
食いねえ
江戸っ子
だ
ウーッ
くく
苦しい
……
ウオッ…
く…く…
…く…
苦しいっ
あっ
きさまは
タランテラ
ウ…フ…フ
フ…フ…
キャーッ
ピックだけ
つれて
いけっ
し
しまった!!
ピックーっ


ピック
ピック
ピック
おや ガロンが 仕事を やめて ポーッと してるよ
また 水だ 水だ
ガアーッ
ガア〜ッ
ガロンが また水を 入れたんです
くそーっ そんなこった と思った ガロンのばかめ
しまった! ピックにまた 何かあった らしいぞ
早く ガロンを とめて くださいっ
台風より ひどいな
敷島くん! こりゃ きみの 責任だぞ
わかりました なんとか 死んでも とめてみます

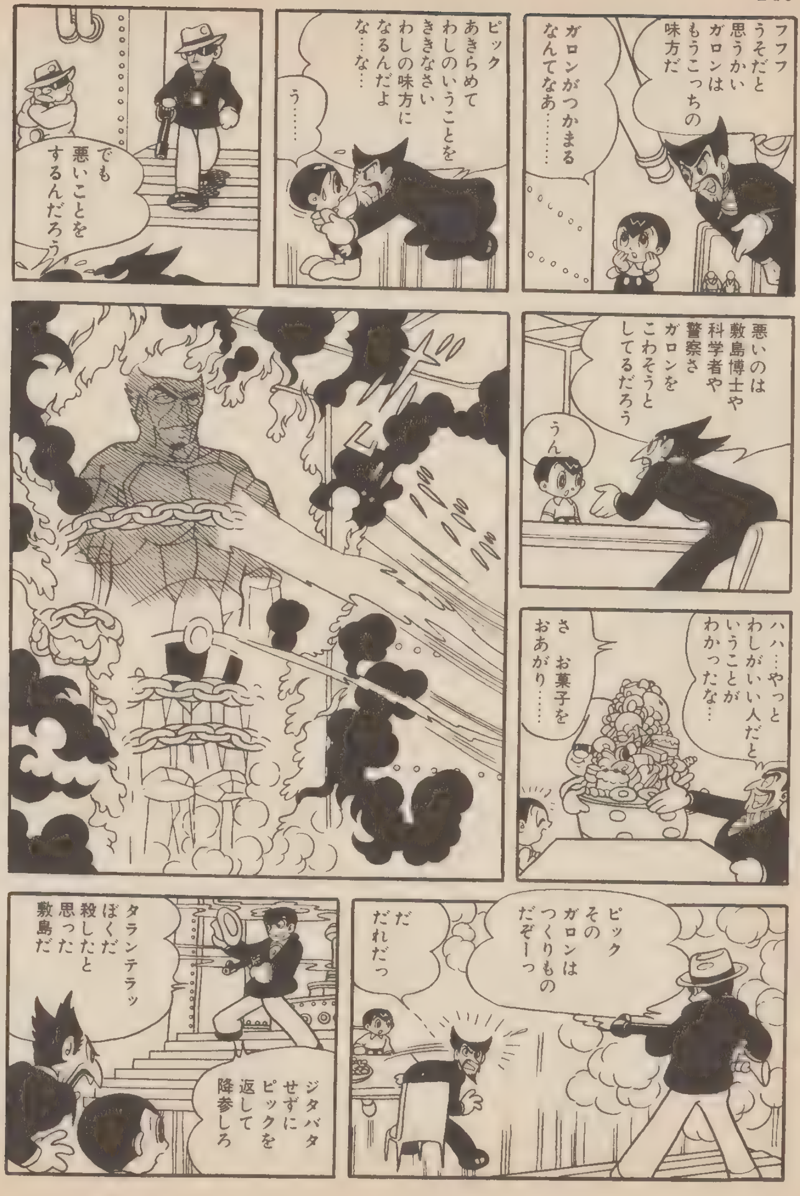

ガロン
やめろ
ーっ
ピックに
何かまた
変わったことが
あったのか
ピックを
すぐさがして
やるから
乱暴は
するなっ
あぶ
ないーっ
ガーッ
ギャアーッ
ズブズブ
ズブズブ
水の中へ
もぐった
ぞ
ズブ


ゴボゴボ
か…怪物は？
ドロの中へ もぐりました
そうですか ここらでは埋め立て地でドロが深いんです
前にも東京の不忍池でドロの中へもぐったんだが
すぐまた出てきますよ ガロンはピックがいないと何をするかわからないんだ
ぼくはいまのうちにピックをさがします！
ウム われわれも手配しましょう
これ これの人相の子をさがせ 市外へ出る車はいっせい検問だっ
こんな子を見かけませんか………
協力
市民のみなさーん ご協力くださーい!!
たずね人
ご用 ご用
どうもピックはまだ市内にいるらしいぞ…
くさいやつはひっかからんですね
うわーっ くさいのがきた


おやっ?
待てっ きさま くさいぞっ
くさいはずだ これはこえ車だナモ
こえを町にくみにいったのなら帰りの車にはいっぱいはいっているはずだろう これは……
その中のものはなんだ…… うわっ
キャーッ!
敷島のおじさーん!
やーっ ピック……
それっ!


おいっ首領に報告しろ ゆきがけのだちんに敷島をやっつけたとな
もしもし首領ですか 敷島博士を今度こそかたづけました
ここまでくりゃーもうわかるまいへへへ
てまをとらせたぜ……
あっ あれはいつかいなかで見た怪飛行艇だ ウーン こんなダムの中にかくれていたのか
驚いたな ダムのやつらが怪盗タランテラの一味になっているとはな……

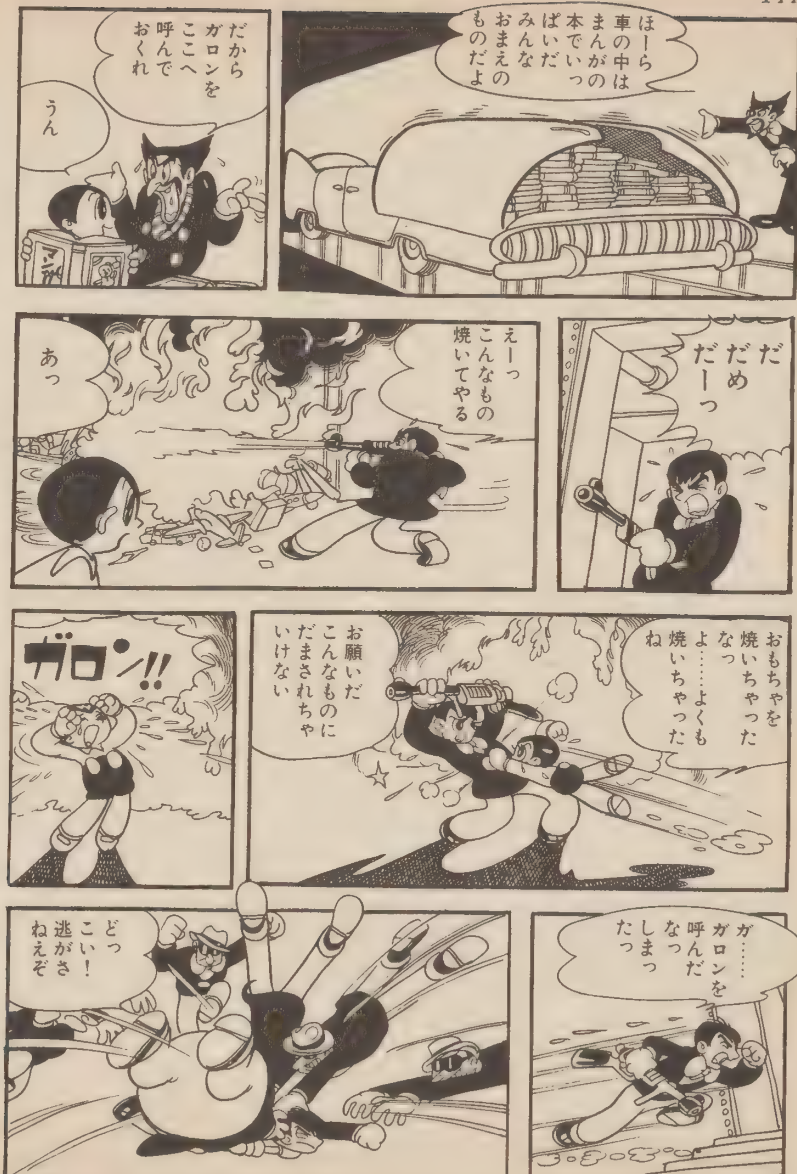

ボゴー
何か いたぞ
カッパで しょう
さあ ピック これをごらん われわれは ガロンも ちゃんと つかまえて いるんだよ
えっ…… ガロンも…？ う うそだあ まさか……
ふざけた やつらだ……


フフフ
うそだと
思うかい
ガロンは
もうこっちの
味方だ
ガロンがつかまる
なんてなあ……
ピック
あきらめて
わしのいうことを
ききなさい
わしの味方に
なるんだよ
な…な…
う……
でも
悪いことを
するんだろう
悪いのは
敷島博士や
科学者や
警察さ
ガロンを
こわそうと
してるだろう
うん
ハハ…やっと
わしがいい人だと
いうことが
わかったな…
さ　お菓子を
おあがり……
ピック
その
ガロンは
つくりもの
だぞーっ
だ
だれだっ
タランテラッ
ぼくだ
殺したと
思った
敷島だ
ジタバタ
せずに
ピックを
返して
降参しろ

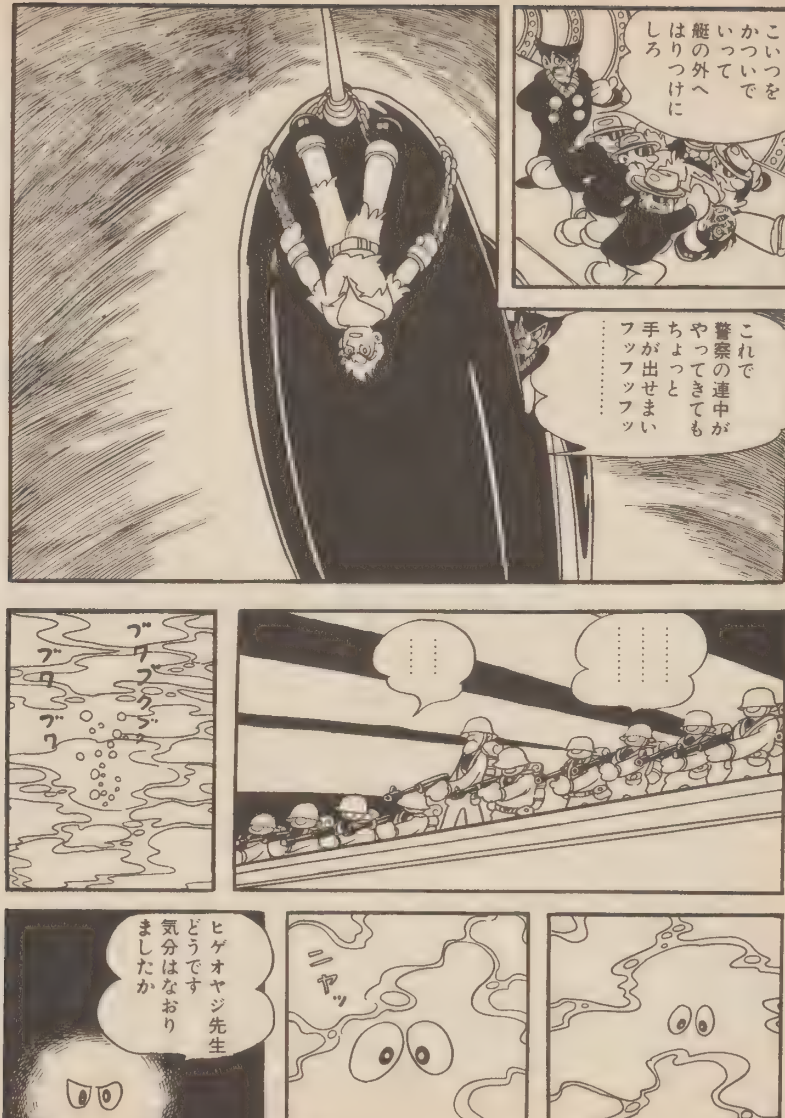

それっ やつを やっちまえっ!!
待てっ!!
ここで撃ち合いをするとこのかわいい坊やにけがをさせることになる
敷島 ここではおたがいに話でケリをつけようどうだ!
フン おまえにしちゃあできすぎたことをいいだしたな!!
ピック 見たまえっ あのガロンはにせのつくりものだぞ
ほら 熱線銃であっさり燃えだしたじゃないか
その男は悪いやつだよ だまされるな……
ピック こっちへおいで いっしょに帰ろう
ピック 帰っちゃいかん あいつこそ悪者だっ


さっきも いったろう あいつたちは ガロンを こわそうと してるのだよ
うそだい ね おじちゃん うそだろう…
う……
たしかに… ガロンを 分解すると……
学者連中は いってるが… ぼくは 反対なんだ
ほら なっ
えっ!
そればかり じゃないよ おまえまで 殺してしまう んだってさ
あいつらは おまえまで ガロンと おんなじ ような怪物 だと思って るんだよ
うそだ! ぼくは 人間だっ!!
ねっ おじちゃん ぼく…… 人間だろ 怪物じゃ ないねっ
………
おじちゃん どうして だまってるの!! ねえったら
ばか ばかっ ぼく… 人間だ
よし よし


このおじさんが味方になってあげる
ここは坊やの天国だよ!!
そらっ
こっちのボタンを押すと
このおもちゃはみんなおまえのもんだね　いいだろう……ここにいると好きなことができるよ
二番めのボタンを押すとおまえの自家用車が出る


ほーら車の中はまんがの本でいっぱいだみんなおまえのものだよ
だからガロンをここへ呼んでおくれ
うん
だ　だめ　だーっ
えーっこんなもの焼いてやる
あっ
おもちゃを焼いちゃったなっ
よ……よくも焼いちゃったね
お願いだこんなものにだまされちゃいけない
ガロン!!
ガ……ガロンを呼んだなっ
しまったっ
どっこい！逃がさねえぞ


どけーっ!
どうだ悪人どもめっ
目つぶしだ!!
さっきはよくも服をはいだな
もうそのくらいでやめてやれ殺す前に死なすのはおしいからなあ
ハハハハ………ぼくを殺しても…もう おそいぞ……ここへのりこむまえにダムの電話で検察庁へ知らせておいたよ
うぬっこの野郎っ
ガキ!
まあ待ていい考えがある

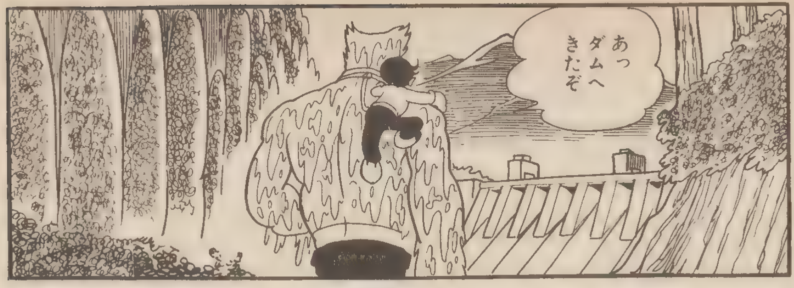

こいつを
かついで
いって
艇の外へ
はりつけに
しろ
これで
警察の連中が
やってきても
ちょっと
手が出せまい
フッフッフッ
……………
……
ブクブク
ブク
ブクブク
ブク
ヒゲオヤジ先生
どうです
気分はなおり
ましたか
ニャッ

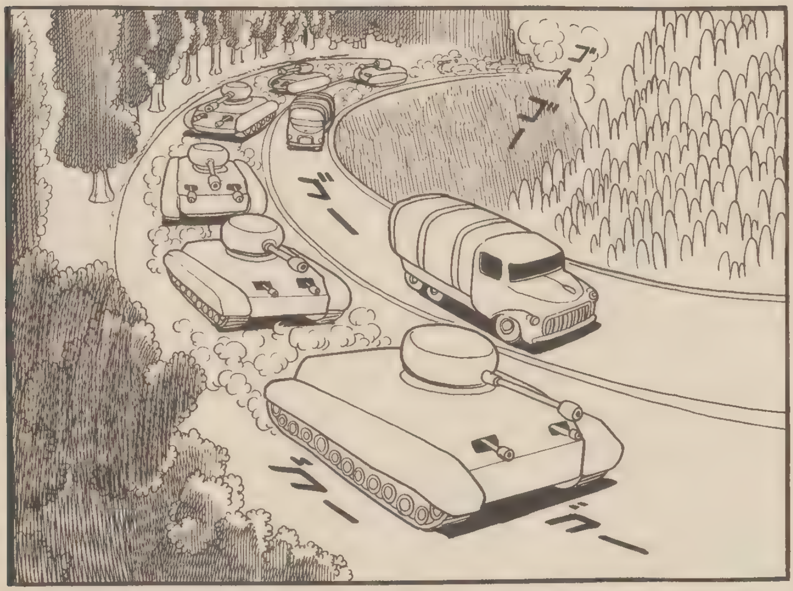

いや………わしのとんだ不覚でしたまさか毒入りの料理を食わせられようとは思わなかったもんで
ピックの行方はその後わからないんですかっ
いやわかりました
わかりましたってどこですっ
さっき敷島博士から電話があって……
自衛隊が現場に直行しました
自衛隊ですとっ
部長っ
なにーっ!
なにっガロンが動きだしたって……
はいっへんな音をたてて……
ピックピックピックピック
………
フーッ
ホッ
ピシャッ


ズズズ
ドドドドド
出てくるぞ
わあっ
出たーっ撃てーっ
ガブガブ
うわー
おとうさんガロンだ


おとうさん ガロンはやみくもに歩いてるんじゃないよ ほら まっすぐに進んでる
ウーム さてはピックがどっかからガロンを呼んでるな
ぼく ガロンにとびついて行く先をたしかめます
ケケケ ケン一っ そんな むむ むちゃを しちゃいかんっ
えいっ!
いなかにいたおかげで……
馬なら おてのもんだ
馬公 たのむぞ


うまい
ヒヒーン
ガローン
つかまったか
ヒヒヒーン
プルルルッ
かんにんしろよな おかげで そのすきに ガロンへ のれたよ
ゆ
ニュー
ボリボリ
フーッ


あっ
ダムへ
きたぞ


ゴー
ゴー
ゴー
ゴー
ゴー

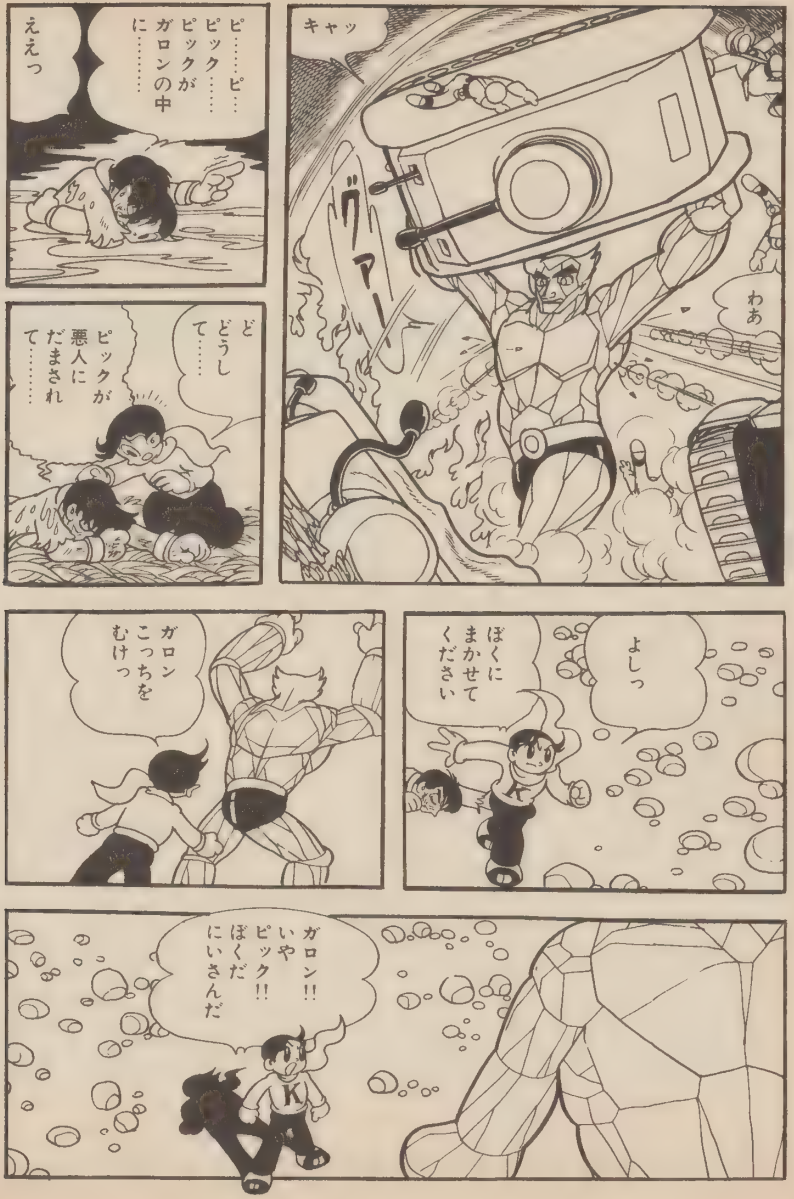


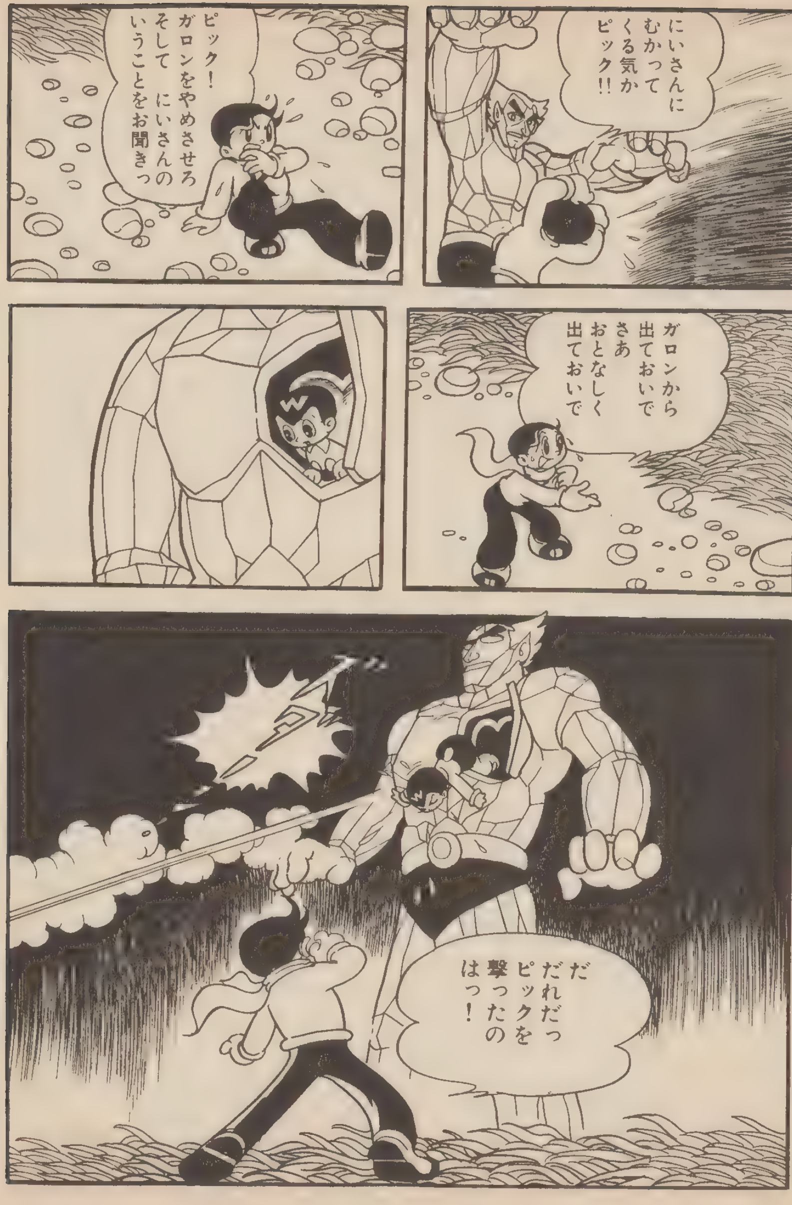

マイク こっちへ
おい タランテラ 聞いとるか
われわれは すっかり かこんだぞ もう 逃げも かくれも できないぞ
ピックを すなおに 返して 降参しろ 返事を 待ってるぞ
返事が なければ 総力を あげて 攻撃に うつるぞ
攻撃に うつるって… おいおいっ 目をよくあけ てこっちを 見るがいいぜ 艇のまっ 正面をな！
あっ？
？


たいへんだ
敷島博士がはりつけになってる
これでも砲弾を撃ちこむ気かね? ワハハハ…
こいつはしまったぞ
なんとか助けられないでしょうか
まともに助けにいったらねらい撃ちだぞ
隊長どのっ ガロンがきました
ええっ ガロンっ な なんのためにきたんじゃ……?
ズシリ
ズシリ
なんのためにきたかわかるまではそっとしとけ 撃つな……
はっ
あっ


隊長どのっ
ガロンの背中に
ケン一少年が
のっていますぞ
おおっ
艇へとび
うつったぞ
敷島博士
ぼくです
博士……
ウーン
……
しっかり
つかまってて
くださいよ
ピックっ
ガロンが
きたぞ
さあ
ガロンに
のりうつって
あいつらを
やっつけて
くれ
うん
ガロン
はいるよ


ガーッ!
ガロンがまともに攻撃してきましたっ
う撃てっ
しまった!!
ガロンは敵についたのかっ…


キャッ
ヴァー
わあ
ピ……ピ……ピック……ピックがガロンの中に………
ええっ
ど どうして……
ピックが悪人にだまされて………
よしっ
ぼくにまかせてください
ガロンこっちをむけっ
ガロン!! いやピック!! ぼくだにいさんだ


にいさんに
むかって
くる気か
ピック!!
ピック！
ガロンをやめさせろ
そして　にいさんの
いうことをお聞きっ
ガロンから
出ておいで
さあ
おとなしく
出ておいで
だ
だれだっ
ピックを
撃ったの
はっ！


だれだ
だれだっ
だれだっ
だれだっ
ピック!
うわっ
うう
撃つな
また
ピックに
あたる
ピックを
だいて
くぞ
どこへ
……

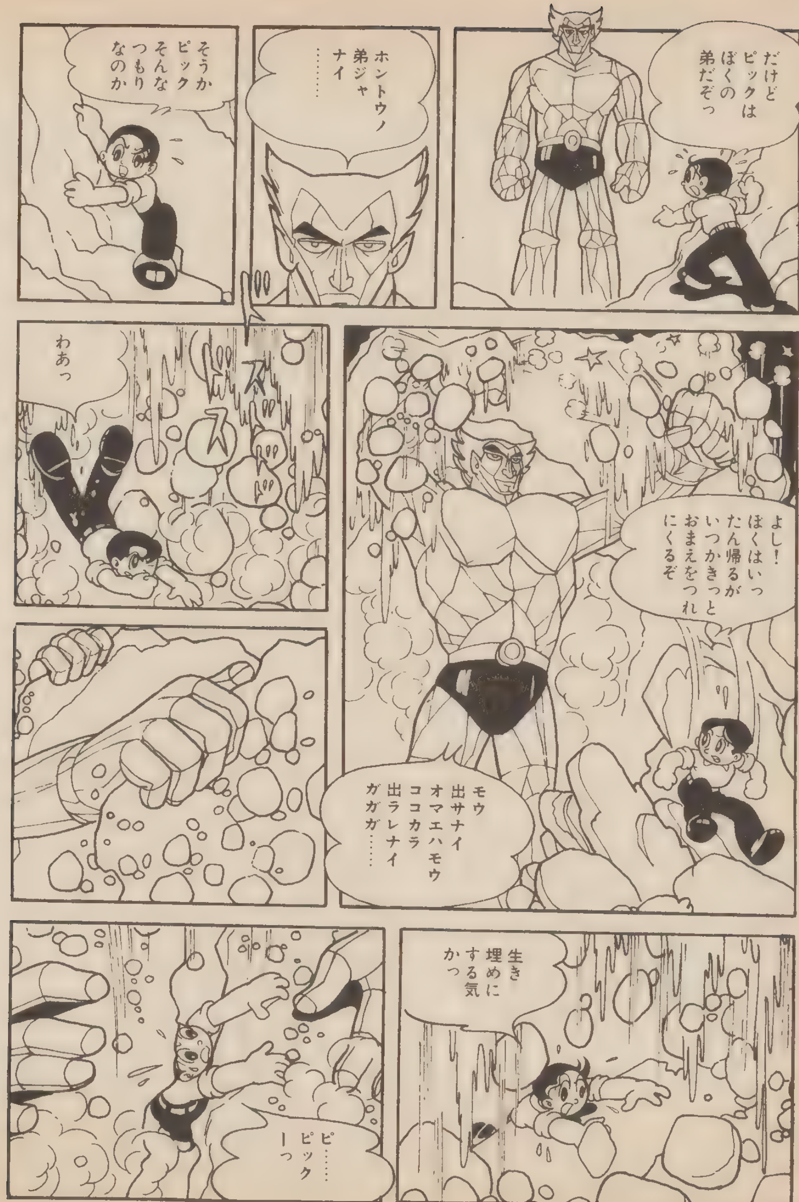

大勢で追いかけてはだめです ぼくひとりで追います
う…たのむぞケン一くん
よーしっ ガロンよりまずあのタランテラにインドウをわたせ
撃てーっ
首領っ ガロンがいなくなって敷島が奪い返されたらとたんに集中射撃です
ちくしょう
しかたがない 煙幕をはって退却しろ
ズボッ!


ゴホン
ゴホン
しまった
がけだっ
ヒャーッ
うわー
何も
かも
落ちる
ぞーっ
撃てっ
逃がすな
むやみ
やたら
だ
グワン
まぬけめーっ
味方を撃つ
やつがあるか
どうせ
アメリカの
はらいさげの
安物ですよ……
スポン!
でも
けっこう
あたり
ますなあ
ダムに
あたっ
ちゃった!

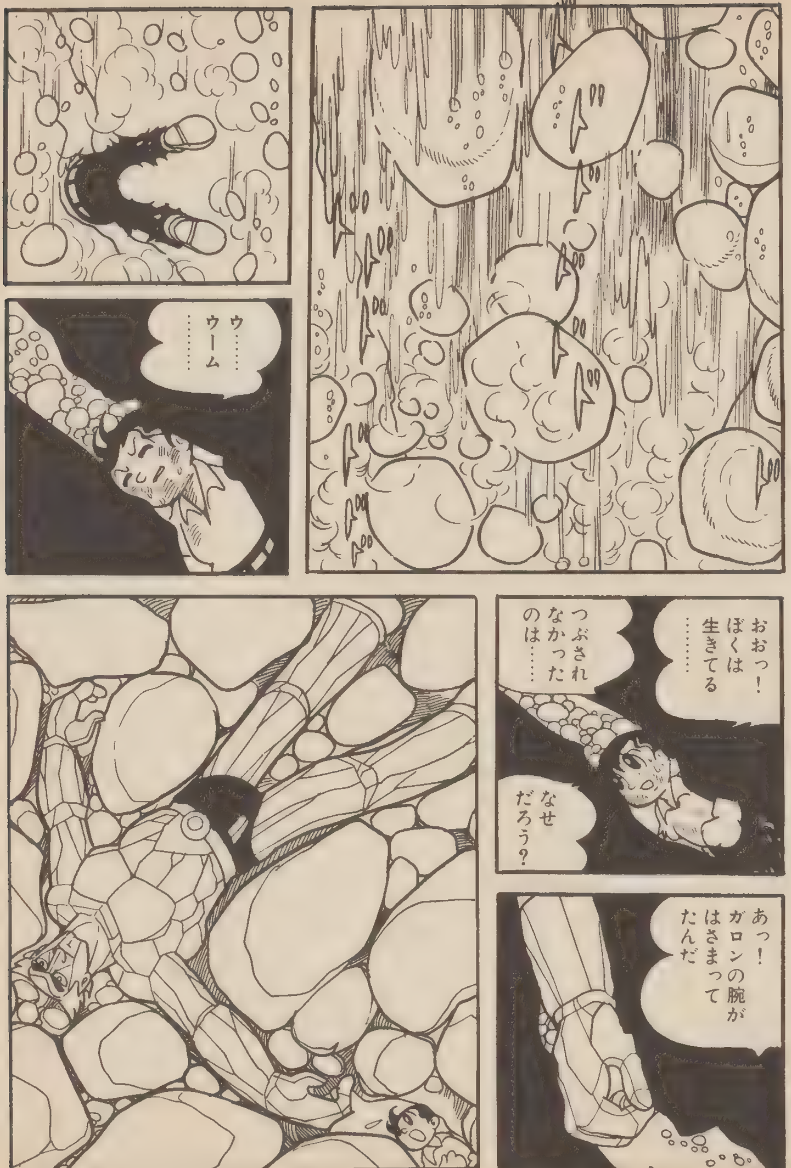

ハッハッハ 諸君 こくろうさま
タノン テラは ひとます おさらはた けっこうな おもてなし ありかとう
いすれ カロンは 手に入れ てみせる からな
ては 諸君 さよう なら… ハハハ
フーン ガロンめ 谷川を わたっ たな
ガ…… ガロン……
ガローン…


シュー
シュー！
ジュウ
ジュウ
おっ！あそこにほら穴があるぞ
こりゃ大むかしのお墓らしい
ガロンはたしかにここへはいったんだ
おっと……すべるぞ
あっ　いたガロンがあんなところにいたっ
だけどピックをどこへかくしたんだろう


ギー…
あっ ピック!
きずが なおってるぞ
ピック にいさんだ ぼくだよ 出て おいで
かくれ なくても いいよ!
ピックハ 一度 死ンダ… カラダヲ 分解シテ……
生マレ 変ワラ セタノ ダ
なんだって……?
そんな ばかな ことが できる もんか
ピック 出ておいで ぼくと いっしょに 帰ろう
帰って きずの 手当てで もしよう よ
ピック! なぜだまっ てるんだい
ピックハモウ 人間ヲ 信ジナイ オマエタチノ イウコトモ キカナイ

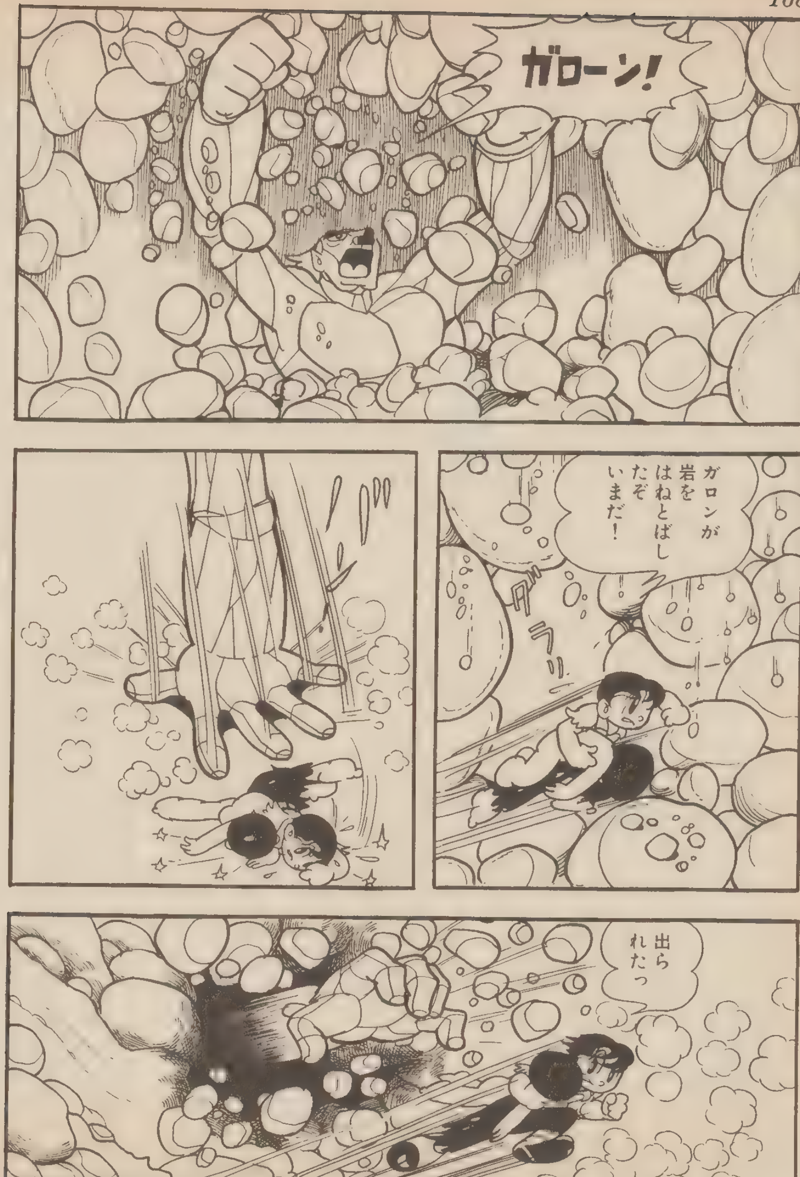


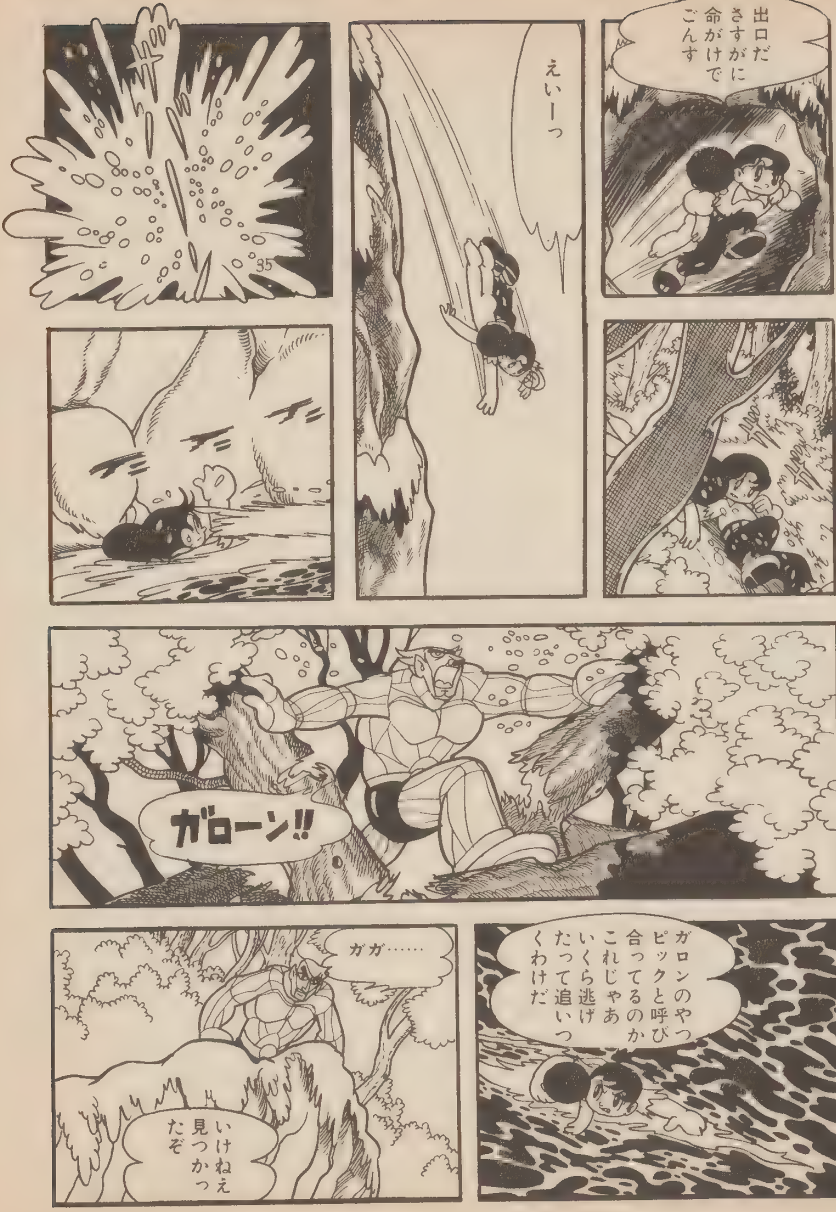
だけど ピックは ぼくの 弟だぞっ
ホントウノ 弟ジャ ナイ……
そうか ピック そんな つもり なのか
よし! ぼくはいったん帰るが いつかきっと おまえをつれにくるぞ
わあっ
モウ 出サナイ オマエハモウ ココカラ 出ラレナイ ガガガ……
生き埋めに する気かっ
ピ…… ピックーっ

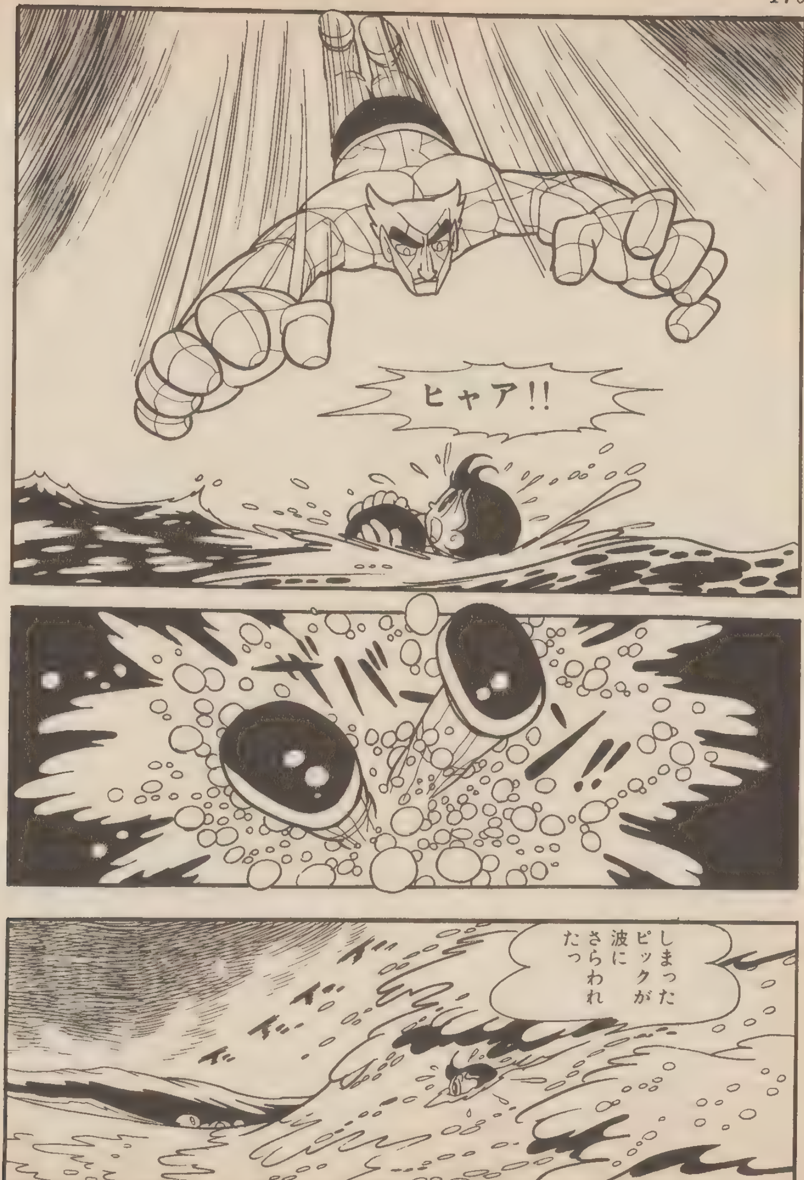

ウ……ウーム……
おおっ！ぼくは生きてる……
つぶされなかったのは……
なぜだろう？
あっ！ガロンの腕がはさまってたんだ

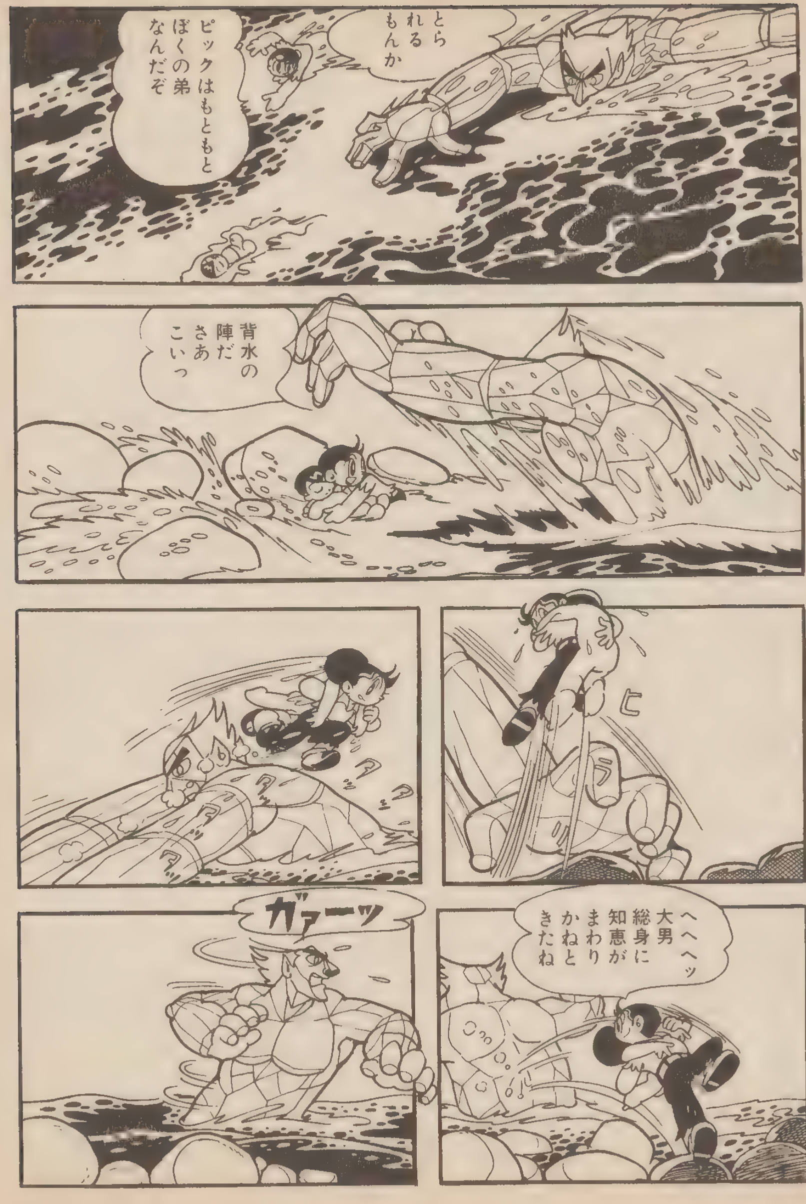

とにかく出なければ……
こんなところにいたら……
命が……
いくつ……
あったってたりやしないよ……
のぼりなのかくだりなのかわからないぞ
また岩壁だ……
四方八方ふさがって結局生き埋めってわけか
死んでたまるものか絶対ぬけ出すぞ
ワッ
チェッ！またガロンのところへもどってきちゃったぞ！

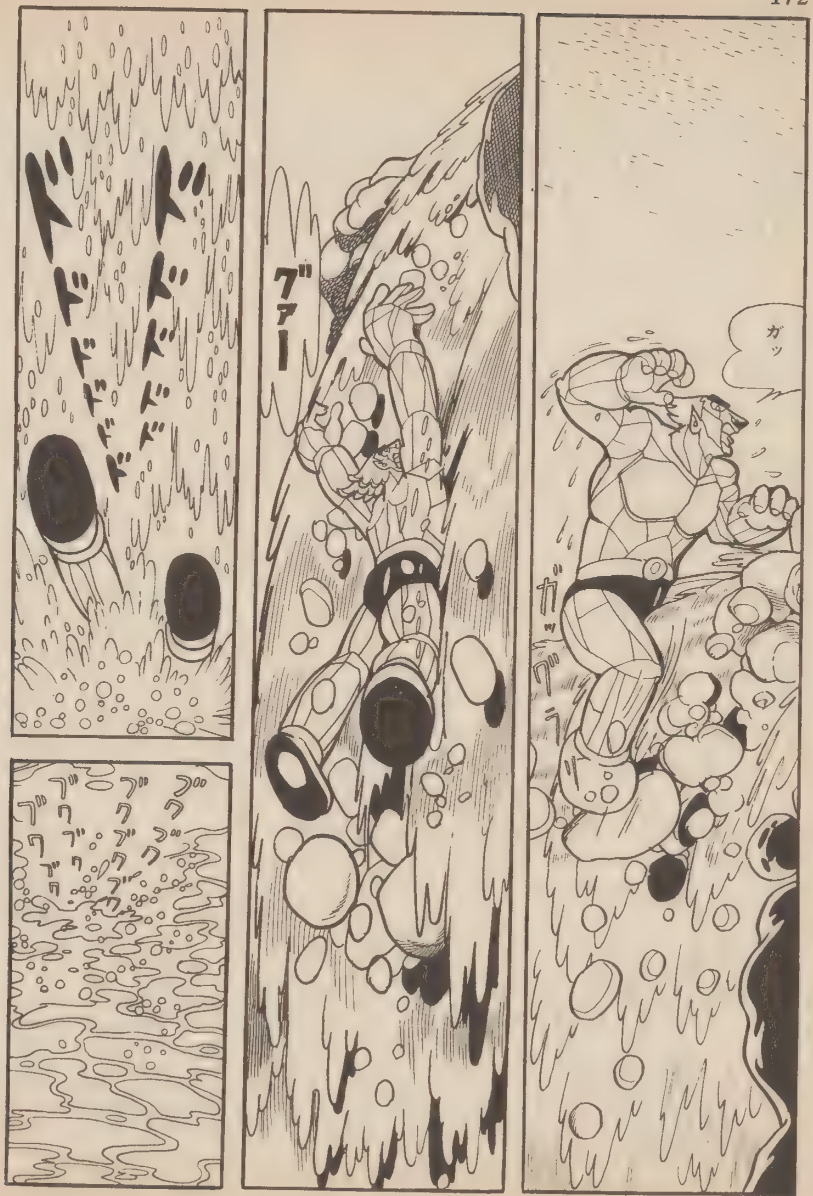

そうだ！ガロンをうまく利用してぬけだせるかもしれないぞ
うまいぐあいにガロンはノビてるな
ピック……
……
ピック！にいさんを許してくれっ
キャッ
気絶させといてひっさらおう！
ガロンがおこってあばれだすぞ
ピック
ピック
ガローン！


ガローン!
ガロンが岩をはねとばしたぞ いまだ!
ダラリ
出られたっ


出口だ さすがに 命がけで ごんす
えいーっ
ガローン!!
ガロンのやつ ピックと呼び合ってるのか これじゃあいくら逃げたって追いっくわけだ
ガガ……
いけねえ 見つかったぞ


ヒャア!!
しまった
ピックが
波にさらわれ
たっ

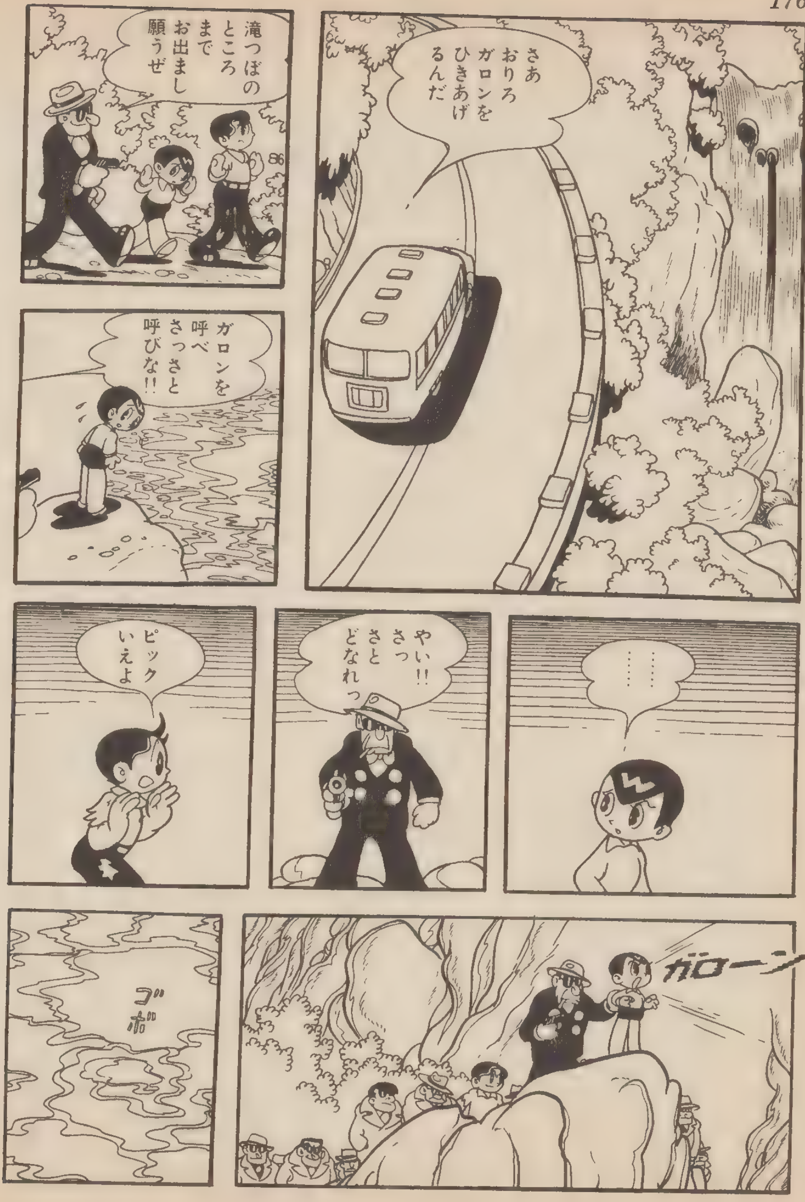

とられるもんか
ピックはもともとぼくの弟なんだぞ
背水の陣だ さあこいっ
ヒラリ
へへヘッ 大男総身に知恵がまわりかねときたね
ガァーッ


ガッ
ガッ
グラ
グァー
ドドドドドド
ドドドドドド
ブクブク
ゴクゴク

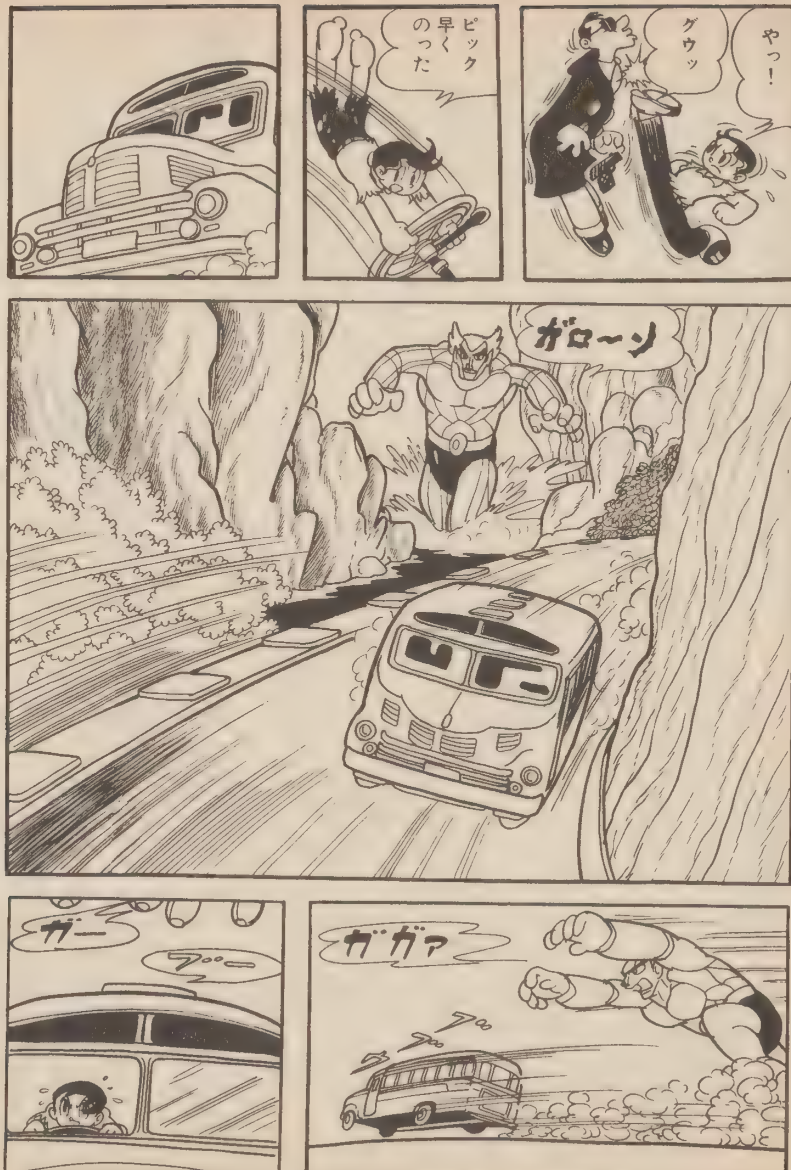

ここはカンテンほし場だよ
ふたりともずぶぬれになって…かわいそうにどこの谷へ落ちただ
おばさん助かりましたありがとう!
おいピックあたんなよもっとよっといでよ
……
ピックにいさんのいうことをおききっ
にいさんじゃないやっ
ぼくにはにいさんなんてないんだぼくは宇宙からきたんだもの
ど どうでもいいじゃないかとにかく生まれたときから兄弟できたんじゃないか
やだっやだっ兄弟じゃないーっ
そらあ おまえが変わってるのは知ってるさ……ガロンの中へはいったり撃たれて死んだと思ったら生き返ったり
でもなあ ピックぼくらが東京さえ出なけりゃこんなことにならなかったんだぜ
いなかにひっこんでいればガロンもタランテラもおまえのことを知らずにぼくたちはたのしくくらせたのに

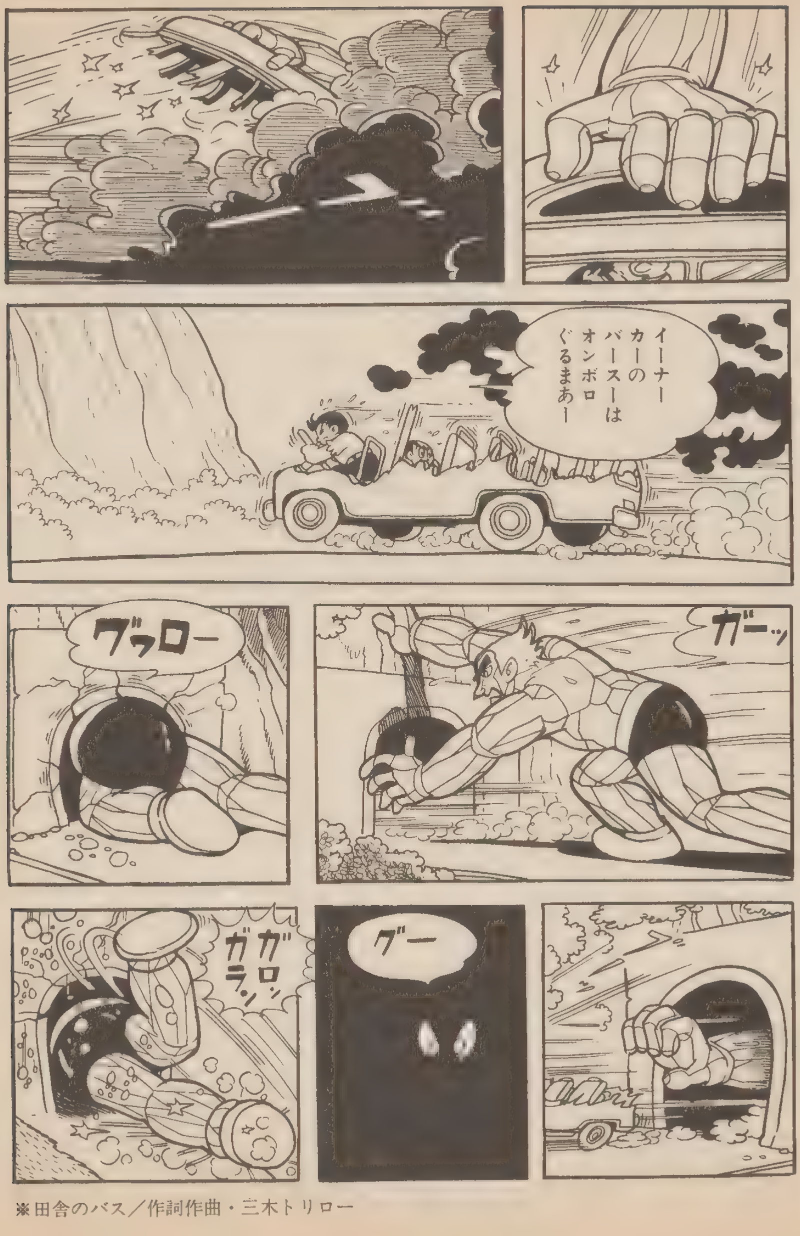

そうだっ いなかへ 帰らないか
えっ
このまま まっすぐ いなかへ 帰ろう
いやだーい！
ピック うんと いえっ
いやだっ いやだっ いやーっ
みんな きらいだ 大きらいだーっ
なんですねえ さっそく兄弟げんかかね？
ピック 思いだしてごらん おにいさんと 竹とりにいったことを
う…… うん？ ……
ほら おにいさんの顔を よーく見て ごらんよ
アハハ…… ハハ…… アハハ


フフ 笑ったな その元気 さあ出かけようぜ
おばさん お世話になりました
もういくだかね あそこにバスがとおるだ
兄弟仲よくしなよーっ さいならー
おばさん きがえの服ありがとう!!
な まっしぐらに くにへ帰ろう
うん
あっ オンボロバスがきたよ
お早く おのりください
やっと落ち着いたね
つぎはガロンの落ちた滝つぼでございまあす
フフフ いっしょにおりるかい小僧
ハッ
あっ ワナにかかったのか


さあ
おりろ
ガロンを
ひきあげるんだ
滝つぼのところまでお出まし願うぜ
ガロンを呼べ
さっさと呼びな!!
……
やい!!
さっさとどなれっ
ピックいえよ
ガローン
ゴボ


………
ザザ
うわっ ガロンが出たぞっ
あぶねえ かくれろっ!
えいっ!
ギャーッ
それっ ピックバスへもどるんだっ
バスをぶんどるんだっ
逃げやがったな……
ガローン
急げっ バスを占領するんだっ


やっ！
グウッ
ピック
早く
のった
ガロ〜ン
ガガァ
ガー
ブー



※田舎のバス／作詞作曲・三木トリロー

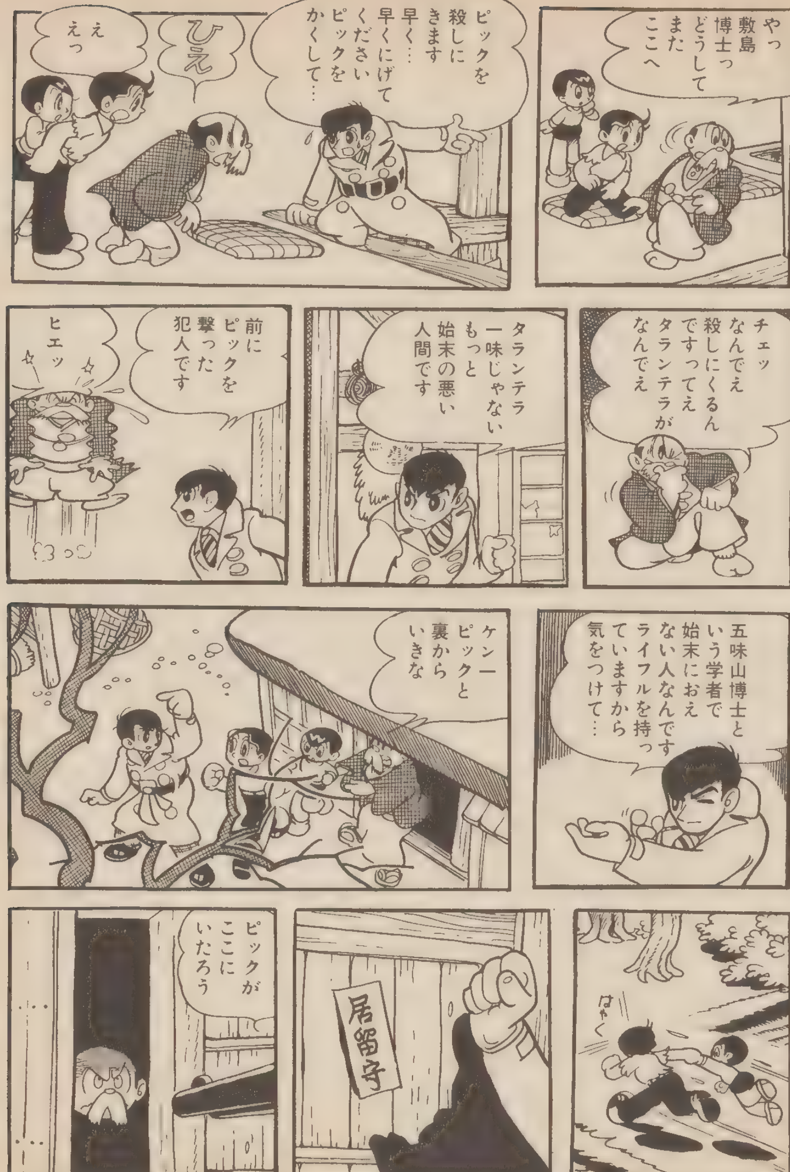

ズシーン
ズシーン
ズシーン
ドドドド
ガロン対策会ギ
国立東京大学
敷島博士 朝刊に ガロンの ことが 出ており ますよ
ほう ほう 南アルプスに ガロンがねえ 出ましたか
二・三日の 情報から 調べると ガロンの 進む 方角は こう なります
ジグザグ 行進ですね デモ みたいだ
何かを さがして いるみたい ですなあ 追いかけて いるんで しょうか
追いかけて いるとすると 何を 追いかけて るんだろう


もしやピックじゃないかな
ピックは撃たれて死んだはずですがね
そうそうそのことできょうはきたんです
撃った犯人がわかりましたよ
五味山博士です
五味山博士!!
宇宙人研究の大家っ
いかにもわしがピックを撃ったのです敷島さん
ピックを撃つなんてかわいそうになんて残酷なことをしたんです
人間ならかわいそうですがね
ピックは人間じゃありません
ピックは宇宙人だばけものです
わしはガロンもピックもしとめて
アルコールづけの標本にするんじゃ

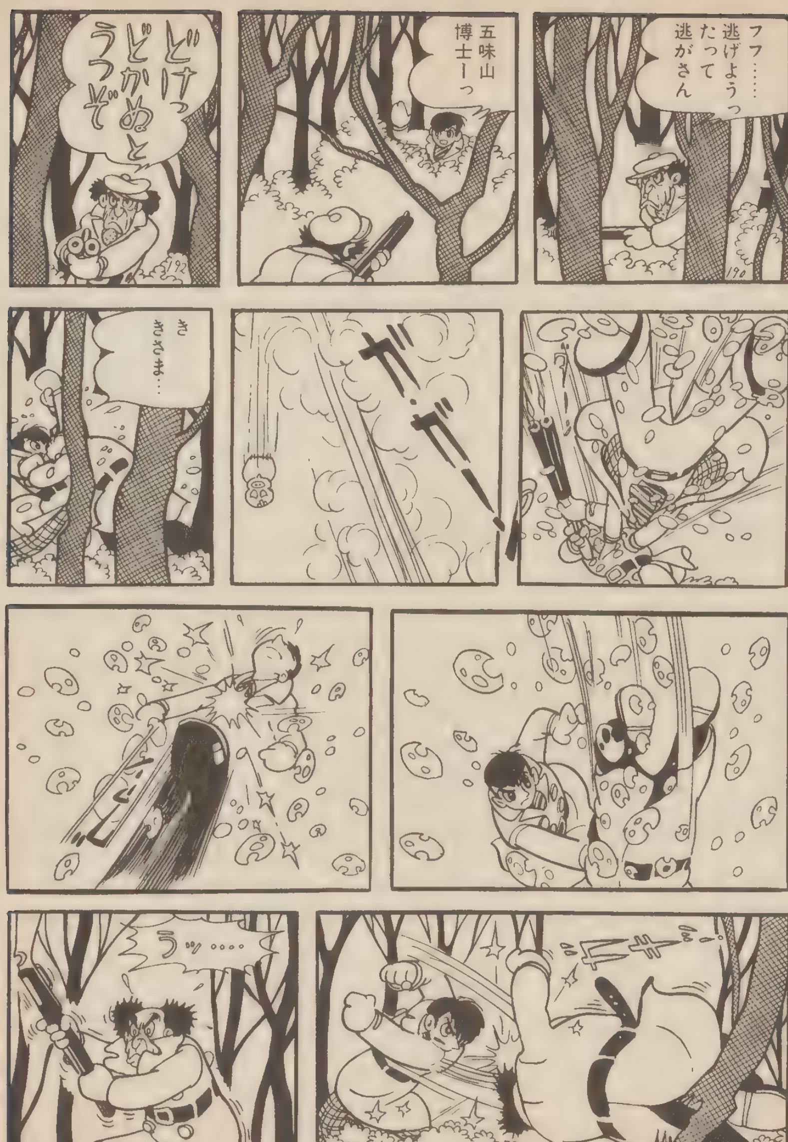

そ そんなむちゃくちゃな!!
どっちがむちゃくちゃですかな あんなやつをのさばらしておくことがむちゃですぞ
とにかくピックは見つけしだいしとめます
ジジーン
なにーっ ピックが? フム フム
見かけましたか えっ 車の中に! ありがとう
ピックが?
場所はどこですか?
無一文村の裏山だ
ええっ
むいちもんむら
無一文村
むーいーちーもんむらーア
だめです!
いけません! ピックを撃つのはいけませんよ
きみはまだそんなことをいっとるのか


ピックを撃ったら宇宙人が
宇宙人が地球人をにくんでせめてくるんです
なんだって？
俵教授の報告です信じてください　博士…
きみ！もうついてくるなっ
きみの顔は見あきたよ
かえりたまえっ！
おーい！
無一文村のピックのところへやってくれ急いで

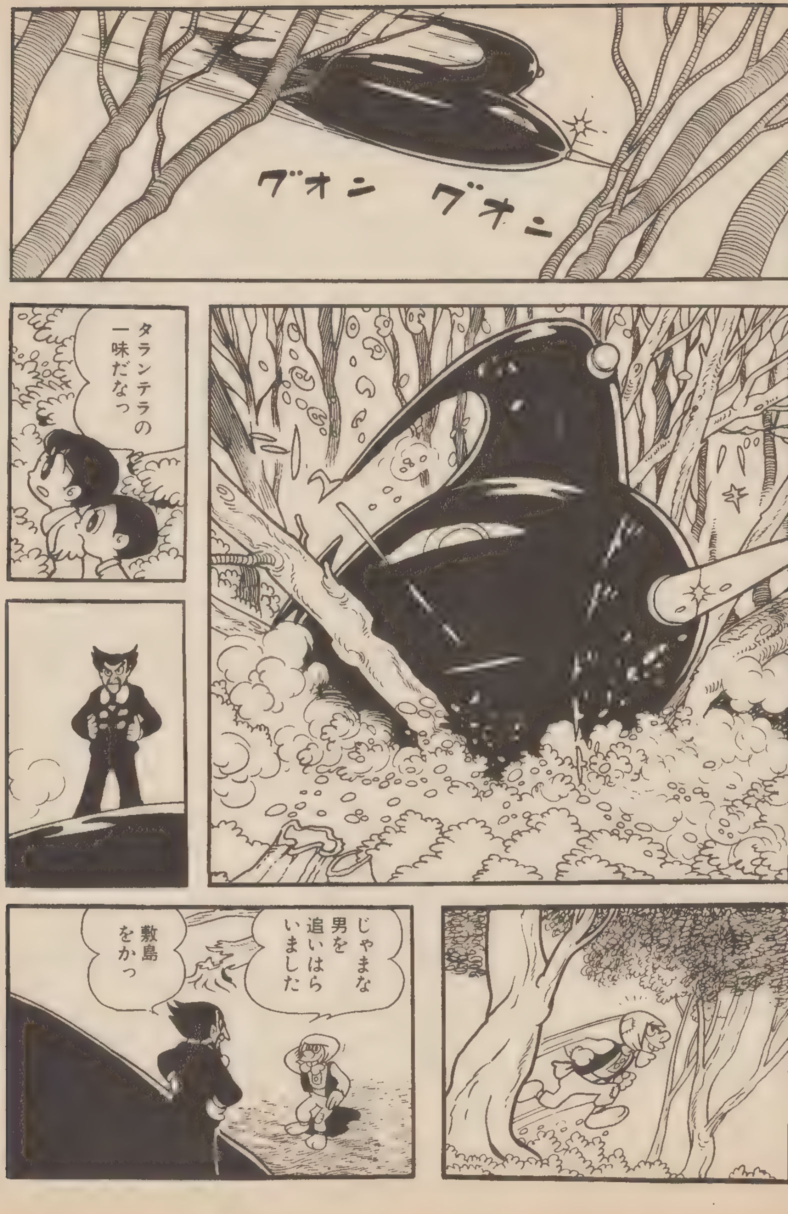

やーっ ピックと ケン一じゃ ないか
ピック ーっ
おとうさんは もう心配して 心配してな
てっきり 死んだと 思って
ほら 線香たてて 祈ってたんだ
フーン そりゃあ ふたりとも たいへんだったな！
ピック 何を考え てるんだい
ガロンや いろんな こと……
よせよ もう そんなもの 考える のは……
ガロンは ほくのことで さみしがって いるだろうな
ガラッ！
どこに いるの かなあ

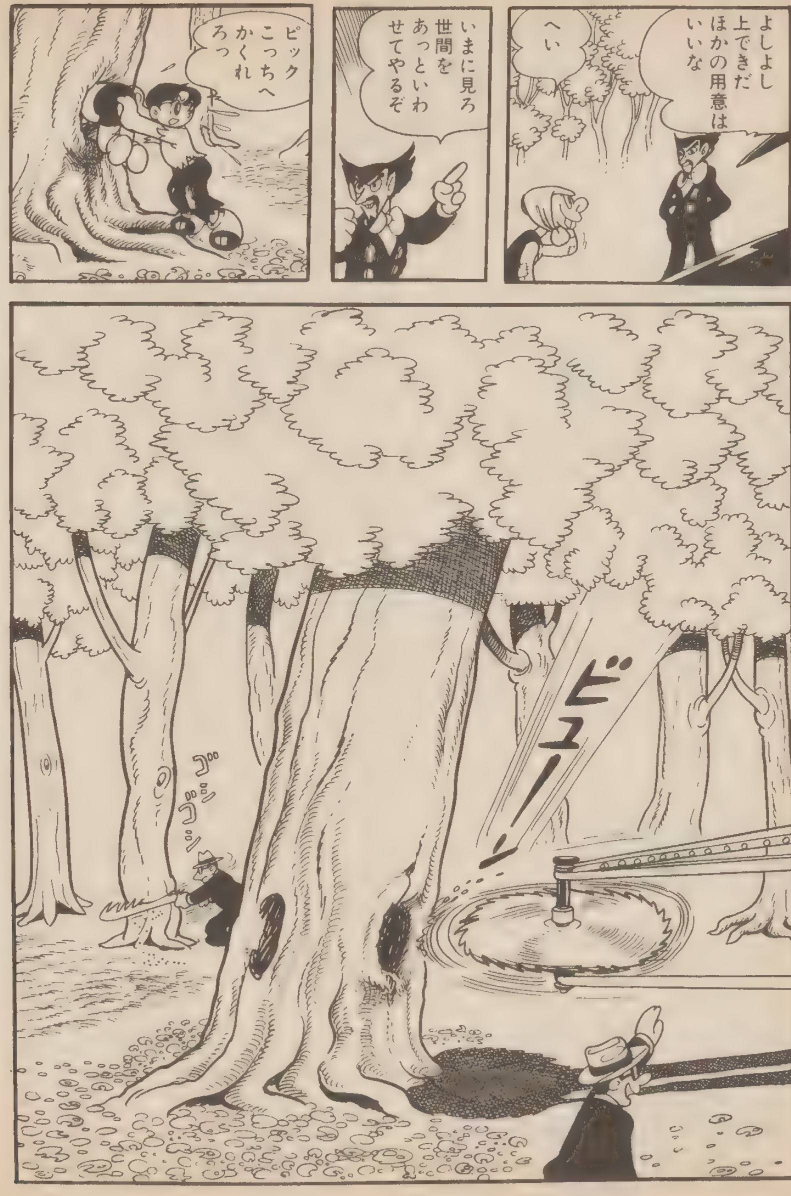

やっ敷島博士っどうしてまたここへ
ピックを殺しにきます早く…早くにげてくださいピックをかくして…
ひえ
ええっ
チェッなんでぇ殺しにくるんですってぇタランテラがなんでぇ
タランテラ一味じゃないもっと始末の悪い人間です
前にピックを撃った犯人です
ヒエッ
五味山博士という学者で始末におえない人なんですライフルを持っていますから気をつけて…
ケン一ピックと裏からいきな
ピックがここにいたろう
居留守
はやく


やっ きさま
先まわりして 逃がしたなっ
ええ 逃がしましたとも!!
どっちへ逃がした
そんなこと知っちゃいません
いまいましいっ
いたぞ
あっ!
待てーっ


フフ……
逃げようっ
たって
逃がさん
五味山
博士ーっ
どけっ
どかぬと
うつぞ
き
きさま…
うッ……


バタ!!
五味山博士ーっ
ウーム 死んでる
あーっ しまったっ!!
ちがうーっ 犯人はぼくではないぞーっ
ぼくじゃないっ ぼくの前にだれかがここにいて……
警察まできてくれたまえっ
ちがう ぼくじゃないったら
ヒャア あぶない
なんだい あの音は……


グオン　グオン
タランテラの一味だなっ
じゃまな男を追いはらいました
敷島をかっ


よしよし
上できだ
ほかの用意は
いいな
へい
いまに見ろ
世間を
あっといわ
せてやるぞ
ピック
こっちへ
かくれ
ろっ
ゴシゴシ
ビュー


飛行艇をかくすのだ木を切り倒して飛行艇にかぶせろっ
へーい
ゴリゴリ
ゴリゴリゴリゴリ
ピック!! 頭があぶない
なんだ枯れ木かぁ……
なんだいこれは……
おがくずで埋まってらハチのすかな

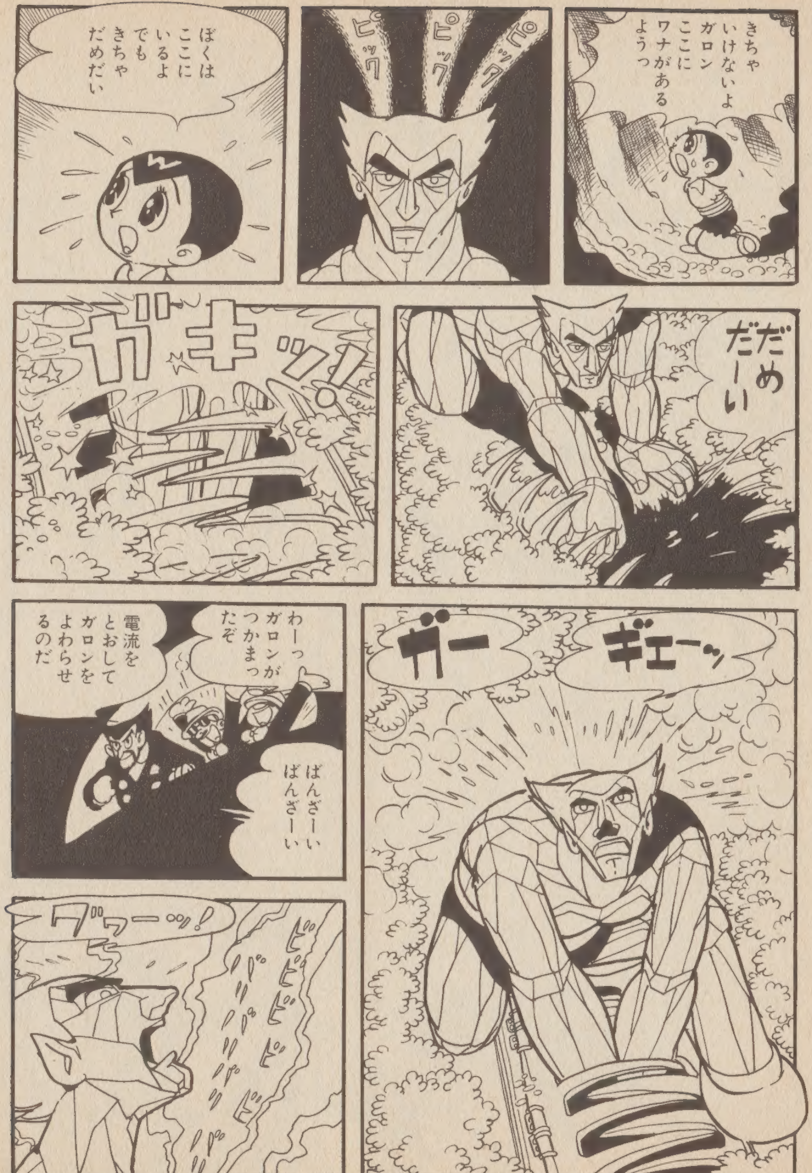

うわっ
ハチに
さされた
いや
なぐられた
ピック
逃げろ
な
なにっ
ピック
だって
RINO VENTULLA
きき
きさま
たちは……
はあ……
はあ……
はあ……
はあ……
ハックシコン
ハーックション
うぬ


ばかーっ どうして木をこんなにかぶせたんだっ
首領がいいつけたくせに
とこへ逃げやがったんたっ
いないぞいないぞ
いないたとっ それでもきさまたちはおれの部下か
いいえ手下で……
なぜ毒ガスを使わんのだ
じゃあ殺しちゃうんですか
残酷だなあ
笑いガスをまくんだ笑い声で場所がわかるだろう
ハ！ニャアルホト


ウフフフ
フッフッフッ
ハハハハハ
それっ
あそこだっ
あわて
ものめ
マスクも
かけずに
とびこむ
やつが
あるかっ
ワッハハ
ヒッヒッヒ
ヘヘヘッヘ
ハハハッ
ホホホー
ゲラゲラゲラ
いよお
親玉っ
ばかものっ！
フフフ
小僧……
てこすら
せたな
なぜ
つかま
えたか
わかるか
ガロンが
もうすぐ
ここへ
くるが……
おまえたちに
ワナのエサに
なってもらう
のさ！
首領っ
ガロン
が　こっちへ
やってくる
そうです
いよいよ
くるなっ
よし　ワナの
用意をして
おけっ
なにっ
フフ……
このエサ
なら
ガロンも
とびつく
ウフフ……



今度こそ ガロンを つかまえる ぞっ!
にいちゃん どうしよう
ウム……
なんだか ぼくを 呼んでるよ だんだん 近くなる
ガロンだ ガロンが きたんだ
首領 ガロンが 現われ ました
ガロンが 現われたぞ


きちゃいけないよガロンここにワナがあるようっ
ピック
ピック
ピック
ぼくはここにいるよでもきちゃだめだい
だめだーい
ガキッ!!
ギエーッ
ガー
わーっガロンがつかまったぞ
電流をとおしてガロンをよわらせるのだ
ばんざーいばんざーい
ワヮーッ!
ビビビビビ


あっ
ガロンが
ワナを
やぶりま
したっ
ウーム
恐ろしい
ちからだっ
ピックを
さらわせるな
もともこも
なくなるぞっ
ガロンに
飛行艇を
ぶっつけろっ
早くしろっ

〔魔神ガロン 1〕 完

魔神ガロン①

手塚治虫漫画全集

266

講談社

魔神ガロン 1

手塚治虫漫画全集

MT266

430円

講談社



講談社
定価430円

雑誌 41930-66 ISBN4-06-173266-8 C0379 ¥430E (0)